TOSHIBA
Leading Innovation >>>

REGZA

地上·BS·110度CS
デジタルハイビジョン液晶テレビ
取扱説明書

37Z3500／42Z3500／46Z3500
52Z3500／57Z3500

操作編

:: はじめに 02

:: テレビを見る 08

:: 便利な機能を使う 18

:: 録画·予約をする 28

:: レグザリンクを使う 40

:: インターネットなどを楽しむ 57

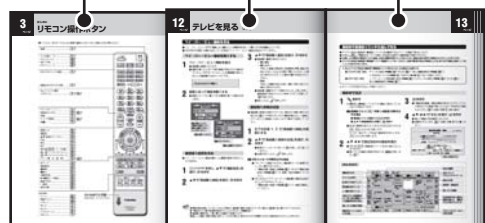
:: お好みや使用状態に合わせて設定する 68

:: その他
困ったときには… 82

：：最初に「準備編」（別冊）をお読みください。
：：本書ではテレビの操作のしかたについて説明しています。
：：映像や音声が出なくなった、操作ができなくなったなどの場合は、「困ったときには…」をご覧ください。

お求めのテレビを安全に正しく使っていただくため、お使いになる前にこの取扱説明書「操作編」と別冊の「準備編」をよくお読みください。
お読みになったあとは、いつも手元に置いてご使用ください。

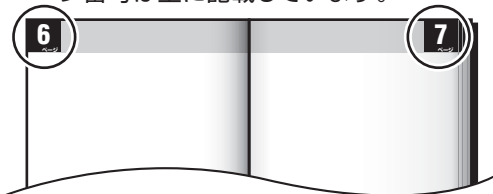
はじめに

操作編もくじ

この取扱説明書の見かた

操作説明のページを開き、リモコンのイラストでボタンの位置を確認しながら操作します。

リモコンのボタンは、説明文中でイラストで示しています。
機能が二つあるボタンでは、次の例のように図示しています。

実物	文章中の表示と意味	
文字 画面表示	文字 画面表示	「文字」ボタンとして使用することを意味します。
	画面表示	「画面表示」ボタンとして使用することを意味します。

ページ番号は上に記載しています。

この取扱説明書内のマークの見かた

参照していただきたい情報が記載されているページの番号を示しています。

取扱上のお願いを記載しています。

取扱上のご注意を記載しています。

機能などの補足説明、参考にしていただきたいこと、制限事項などを記載しています。

はじめに

操作編もくじ ･･････････････････････････ 2
この取扱説明書の見かた ･････････････････････2
この取扱説明書内のマークの見かた ･･････････2
リモコン操作ボタン ････････････････････ 3
各部のなまえと基本の操作 ･･････････････ 4
電源を入れるには ･･････････････････････････4
電源を切るには ････････････････････････････4
音量を調整するには ････････････････････････4
本機の特長 ････････････････････････････ 7

テレビを見る

地上アナログ放送を見る ････････････････ 8
地上デジタル放送を見る ････････････････ 8
BSデジタルや110度CSデジタル放送を見る････ 9
チャンネル番号で選ぶ(デジタル放送とCATVの場合) ･･･9
ラジオやデータ放送を楽しむ ････････････10
ビデオやDVDなどの外部機器を見る･･････11
クイックメニューを使う ････････････････11
ペイ･パー･ビュー番組を見る ････････････12
ペイ･パー･ビュー番組を購入する ･････････ 12
番組表で選んで見る ････････････････････13
番組表で選ぶ ･･････････････････････････ 13
ミニ番組表で選ぶ ･･････････････････････ 16
クイックメニューでできること ･･･････････ 16

便利な機能を使う

番組情報を見る ････････････････････････18
番組説明を見る ････････････････････････18
画面サイズを切り換える ････････････････19
画面の見えかたについて ･････････････････ 20
二画面で見るには ･･････････････････････21
左右の帯をカットして表示する ･･･････････ 22
ヘッドホーンモードを設定する ･･････････22
インターネットを二画面で見る ･･････････23
映像を一時静止する ････････････････････23
音声多重放送を視聴する ････････････････23
映像、音声、データを切り換える ････････24
字幕を見る ････････････････････････････24
降雨対応放送について ･･････････････････24
オフタイマーを使う ････････････････････25
お知らせを見る ････････････････････････25
文字入力をする ････････････････････････26
文字の挿入や削除をするには ･････････････ 27
市販のUSBキーボードを使う ･････････････ 27

● この取扱説明書は、37Z3500、42Z3500、46Z3500、52Z3500、57Z3500で共用です。
使用しているイラストは46Z3500のものです。37Z3500、42Z3500、52Z3500、57Z3500はイメージが多少異なります。

はじめに

リモコン操作ボタン

●イラストは、見やすくするために誇張や省略などをしており、実際とは多少異なります。

各部のなまえと基本の操作

[前面]

[右側面]

※ヘッドホーン端子にモノラルイヤホーンを
つないだ場合は、左音声のみが聞こえます。

●押すたびに放送の種類が右下のように切り換わります。（本機からの録画中などは、このように切り換わらない場合があります）

※切り換えられるのは、テレビ放送のみです。
地上デジタル放送は、受信不可のときは選べない場合があります。

地上アナログ放送 ➡ 地上デジタル放送 ➡ BSデジタル放送 ➡ 110度CSデジタル放送 ➡（地上アナログ放送へ戻る）

電源を入れるには

表示ランプが消えているとき

[表示灯部]　[右側面操作部]

電　源
入-緑/待機-赤

表示ランプが赤色に点灯しているとき
（待機状態のとき）

[表示灯部]　[リモコン]

電　源
入-緑/待機-赤

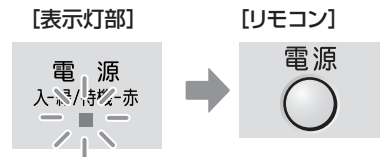
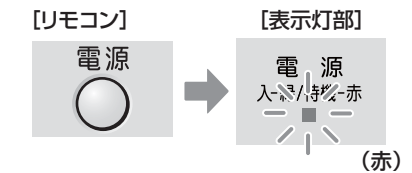
電源を切るには

待機状態にするには

[リモコン]　[表示灯部]

（赤）

電源を切るには

[表示灯部]　[右側面操作部]

音量を調整するには

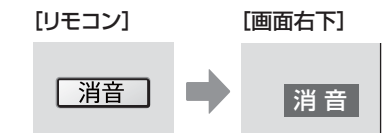
音量を調整するには

[リモコン]　[右側面操作部]

または
●＋を押すと音が大きくなります。（最大100）
－を押すと音が小さくなります。（最小0）

音を一時的に消すには

[リモコン]　[画面右下]

消音

●もう一度押すと、音が出ます。

録画・予約をする

見ている番組を録画する(録画) ………… 29
番組表から録画する(番組指定録画／選局) … 30
番組表から予約する(番組指定予約) ……… 31
連ドラ予約を使う …………………… 32
E メールで録画予約をする……………… 33
日時を指定して予約する(日時指定予約) … 35
録画設定を変更する場合 ……………… 36
予約内容を確認する・予約を取り消す …… 38
予約番組の優先順位について ………… 38
予約設定時にメッセージが表示された場合 … 39
東芝 RD デジタルでの予約(録画)のご注意 … 39
HDMI 連動機能対応東芝レコーダーでの予約(録画)のご注意 … 39
予約の動作について ………………… 39

レグザリンクを使う

はじめに …………………………… 40
レグザリンクのメニューについて ……… 41
録画リストの基本操作～リモコンの操作～ …… 42
録画リストの基本操作～ USB HDD や LAN HDD に録画した番組を見る～……… 43
機器操作中にはこんなこともできます！ …… 44
機器選択画面ではこんなこともできます！ … 44
録画リストではこんなこともできます！ …… 44
録画リストの基本操作～ i.LINK 機器に録画した番組を見る～………………… 48
機器操作中にはこんなこともできます！ …… 49
機器選択画面ではこんなこともできます！ … 49
録画リストではこんなこともできます！ …… 49
HDMI 連動機能対応機器を本機のリモコンで操作する … 51
機器を選択する …………………… 52
機器に録画する …………………… 52
日時を指定して予約する……………… 52
音声を AV アンプ（テレビ）から出す …… 52
機器を操作する …………………… 53
HDMI連動機能対応東芝レコーダーの場合 … 53
HDMI連動機能対応東芝パソコンの場合 …… 53
HDMI 入力拡張切換 ………………… 54
HDMI 連動機能対応機器を使用するときのご注意 … 54
写真をテレビで見る………………… 55

インターネットなどを楽しむ

インターネットを楽しむ ……………… 57
アクトビラを楽しむ ………………… 63
4th MEDIA(フォースメディア)を楽しむ …… 64

お好みや使用状態に合わせて設定する

お好みの映像を選ぶ ………………… 68
お好みの映像に調整する ……………… 68
色を細かく調整する (カラーイメージコントロールプロ) ………… 70
ノイズリダクション(NR)設定 ………… 72
ヒストグラムバックライト制御 ………… 72
モーションクリア …………………… 73
オートファインシネマ設定 …………… 73
画面のスキャンサイズを設定する ……… 74
画面の位置や幅を調整する …………… 74
色空間 ……………………………… 75
明るさセンサー …………………… 75
ドット･クロスカラーリダクション設定 … 75
お好みの音声を選ぶ ………………… 76
音声をより細かく調整する …………… 76
左右のスピーカーバランスを調整する …… 78
自動レベル補正 …………………… 78
ドルビーダイナミックレンジコントロール … 78
省エネ設定 ………………………… 79

その他

B-CAS カード番号表示 ……………… 79
ダウンロードについて ……………… 80
困ったときには … ………………… 82
以下をご確認ください ……………… 82
自然現象や本機の特性に関すること …… 82
基本操作 ………………………… 82
映像 …………………………… 83
音声 …………………………… 83
デジタル放送関係 ………………… 84
録画・再生 ……………………… 87
HDMI 連動機能 ………………… 89
USB 機器関係 …………………… 90
4th MEDIA(フォースメディア)関係 …… 90
インターネット関係 ……………… 90
エラー表示、メッセージ表示について …… 91
メニュー 一覧………………………… 100
Basic Operations ……………… 102
アイコン一覧 ……………………… 104
USB 端子に接続できる機器について … 105
お手入れについて ………………… 105
本機で対応しているHDMI入力/D-sub入力信号フォーマット … 106
さくいん ………………………… 107
仕様 ……………………………… 110
B-CASカードID番号記入欄 ……… 113
保証とアフターサービス …………… 裏表紙

準備編もくじ

※ 以下は別冊のもくじです。(一部省略しています。準備編もよくお読みください。)

準備編(別冊)

ご使用の前に

安全上のご注意
使用上のお願いとご注意
たいせつなお知らせ

設置と基本の接続・設定

各部のなまえ
リモコンの準備
テレビを設置する
B-CAS(ビーキャス)カードを入れる
アンテナの接続
電話回線の接続
LAN端子の接続(1) ～インターネット～
LAN端子の接続(2) ～ 4th MEDIA ～
LAN端子についてのお知らせとお願い
電源を入れる
アンテナの設定と調整
はじめての設定をする

外部機器の接続と設定

本機に接続できる外部機器一覧
ビデオをつなぐ
DVDプレーヤーをつなぐ
東芝RDシリーズ(東芝製ビデオレコーダー)をつなぐ
HDMI端子付の機器をつなぐ
ステレオにつなぐ
ゲーム機をつなぐ
パソコンをつなぐ
外部入力設定
USB機器をつなぐ
USB HDDをつなぐ
LAN HDD、パソコン、DLNA認定サーバーをつなぐ
i.LINK機器をつなぐ

個別に設定をするとき

アンテナ設定
チャンネル設定(自動設定、手動設定など)
データ放送設定(郵便番号と地域の設定など)
通信設定(電話回線設定、通信接続設定など)
メール設定(基本設定、メール録画予約設定)
4th MEDIA(フォースメディア)設定
簡易確認テスト
選局機能設定(キーワード登録など)
視聴制限設定(視聴年齢制限、暗証番号など)

その他

お買い上げ時の状態に戻すには
メニュー 一覧

資料

デジタル放送について
本機で市販のキーボードを使う場合の動作について
地上アナログ放送の自動設定一覧表
地上デジタル放送の放送(予定)一覧表
用語について
東芝デジタルテレビZ3500で使われる
ソフトウェアのライセンス情報
東芝デジタルテレビZ3500で使われるフリー
ソフトウェアコンポーネントに関するエンド
ユーザーライセンスアグリーメント原文(英文)
各種お問い合わせ先
保証とアフターサービス

■ テレビの正しい見かた

■ 部屋の明るさは新聞が読める程度で

● 明るすぎ、暗すぎは目を疲れさせます。
時々、目を休めましょう。

■ 音量は適切に

● 音量は周囲に迷惑にならないように、適切な大きさでお聞きください。特に夜間はご注意ください。

本機の特長

地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル放送受信

※地上デジタル放送で本機が受信できるのは、ご家庭のテレビで受信する固定受信サービスと車などでの受信も考えた移動体受信サービスです。
携帯電話などで受信できる部分受信サービス(ワンセグ)は、受信できません。(準備編 100)
また、地上デジタル音声放送は受信できません。
(「ラジオ放送の特長」準備編 99)

フルHD倍速10ビット広色域パネル搭載

●残像感を抑えた、高画質でクリアなハイビジョン映像をお楽しみいただけます。

レグザリンク搭載

●USB HDDやLAN HDDに、手軽にハイビジョン録画･再生をすることができます。28

●本機と東芝製のHDMI連動機能対応機器(レコーダー、パソコンなど)や東芝推奨のHDMI連動機能対応のAVアンプをHDMIケーブルでつなぐと、本機のリモコンで操作することができます。40 51
※HDMI連動機能を使うには、本機と接続機器それぞれで設定が必要です。(準備編 46)

ブロードバンド対応

●パソコンを使わずにテレビだけでインターネットをお楽しみいただけます。また、携帯電話やパソコンのEメールから録画予約ができます。
※インターネットやEメールを使った録画予約機能を利用するにはブロードバンド環境が必要です。

●さまざまなコンテンツを無料で楽しめるTVネットサービス「アクトビラ」に対応しています。放送番組の情報やニュース、株価、気象情報などをチェックできる「アクトビラベーシック」にも対応しています。63

●4th MEDIA(フォースメディア)に対応し、インターネット回線を利用して多チャンネル放送やビデオなどを楽しむことができます。65
※NTT東日本、またはNTT西日本のフレッツ回線が必要です。

多彩な画質調整機能

●レッド、グリーンなどの基本となる色ごとに色あいや色の濃さを調整することができます。70

●デジタル放送やDVDのノイズを低減する「MPEG NR」や、映像のざらつきやちらつきを低減する「ダイナミックNR」、バックライトを自動調整してメリハリのある映像にする「ヒストグラムバックライト制御」などを搭載しています。72

多彩な音響調整機能

●豊かな低音を再現するパワージェットスピーカーが、前面、背面のスリットから迫力あるサウンドを放出し、サラウンド音響を実現します。

●映像の特性や視聴する部屋の環境、番組のジャンルに合わせて音響を自由に調整できる「DSPサラウンドイコライザーシステム」を搭載しています。76

テレビを見る

地上アナログ放送を見る

1 地デジー地アナ で地上アナログ放送を選ぶ

（すでに地上アナログ放送を見ている場合は押す必要はありません）

1 地アナ1 NHK総合 PM 0:00

2 あ1 ～ 12 または チャンネル で見たいチャンネルを選ぶ

お知らせ

- お買い上げ時の設定ではVHF放送の1～12チャンネルを選ぶことができます。
- 「はじめての設定」（準備編 33ページ）をすれば、お住まいの地域で放送されているチャンネルを選ぶことができるようになります。
- 地上デジタル放送の開始に伴ってチャンネルが変更された場合や、CATV（ケーブルテレビ）放送の設定をする場合は、「手動設定」（準備編 75ページ）をご覧ください。

地上デジタル放送を見る

1 地デジー地アナ で地上デジタル放送を選ぶ

（すでに地上デジタル放送を見ている場合は押す必要はありません）

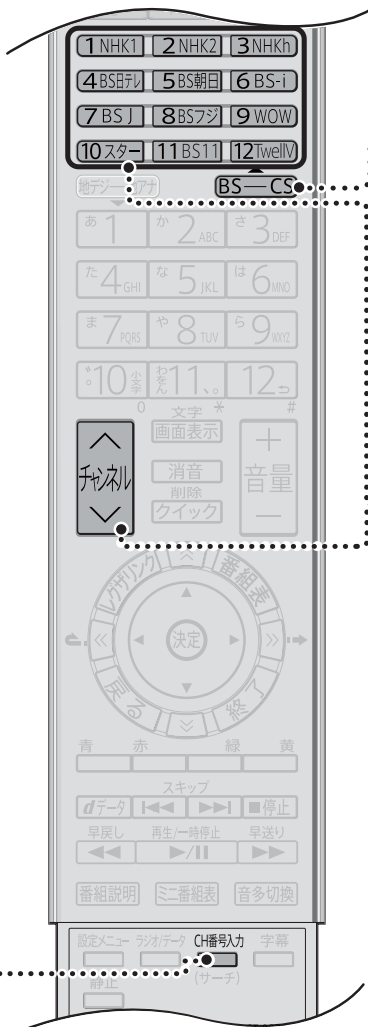
2 あ1 ～ 12 または チャンネル で見たいチャンネルを選ぶ

- あ1 ～ 12 の各ボタンに登録された放送局が複数の番組を放送している場合は、そのボタンを繰り返し押せば番組を順に選ぶことができます。
- 地上デジタル放送では、お住まいの地域以外の放送も受信できている場合に、同じチャンネル番号が重複することがあります。この場合はチャンネル番号の次に付く枝番と呼ばれる番号で区別して選びます。（選びかたは次ページの「チャンネル番号で選ぶ」をご覧ください）

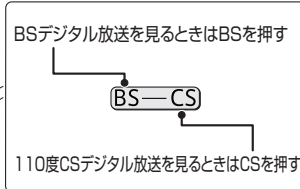
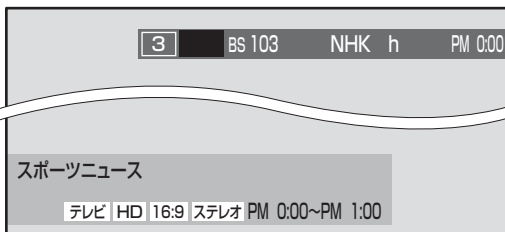
お知らせ

- お買い上げ時の設定では地上デジタル放送は映りません。「はじめての設定」（準備編 33ページ）をすれば、お住まいの地域で視聴できる地上デジタル放送チャンネルを選ぶことができるようになります。
- 視聴できるチャンネルは番組表 13ページ で確認することができます。
- 「自動スキャン」（準備編 74ページ）の機能によって、新たに開局したチャンネルや中継局の新設・変更があった場合にそれらが自動的に設定されます。「自動スキャン」を使わないで、「再スキャン」（準備編 74ページ）で変更することもできます。
- チャンネル で選ぶときのチャンネルの順番は、放送の運用規定に従います。（番号順にならない場合があります）また、一つの放送局が同じ番組を複数のチャンネルで放送しているときは、代表チャンネルだけの選局となります。

■ **BSデジタルや地上デジタル放送の場合**

- 番組情報を取得する前に チャンネル でチャンネルを選ぶと、ハイビジョン番組の場合でも代表チャンネルだけではなく、すべてのチャンネル（例えばBS141、142、143）が選局されます。

BSデジタルや110度CSデジタル放送を見る

1 BS—CS で放送の種類を選ぶ

（チャンネルを変えるだけなら押す必要はありません）

2 1 NHK1 〜 12 TwellV または で見たいチャンネルを選ぶ

- 一つのダイレクト選局ボタンを繰り返し押すと、チャンネルが切り換わる場合もあります。

  例：4 BS日テレ を押すたびに141、142、143の順に選局できます。

お知らせ

- 一部のチャンネルや番組には、受信契約が必要なものや番組ごとに料金がかかるものがあります。未契約のチャンネルや有料番組 12 を選ぶと、画面にメッセージが表示されます。
- 視聴できるチャンネルは番組表 13 で確認することができます。
- ダイレクト選局ボタンに放送メディアの割当てをすれば、そのボタンでラジオ放送やデータ放送も選ぶことができるようになります。
- チャンネルで選ぶ場合、一つの放送局が同じ番組を複数のチャンネルで放送しているときは、代表チャンネルだけの選局となります。（番組情報を取得するまでは、すべてのチャンネルが選局されます）
- BSデジタル放送の場合、お買い上げ時にはリモコンボタン 1 NHK1 〜 10 スター に表示された放送が設定されています。

  11 BS11、12 TwellV には、2007年12月より放送開始予定のBSチャンネルが設定されています。（放送が始まるまでは「該当するチャンネルはありません。」が表示されます）
- 110度CSデジタル放送の場合、お買い上げ時には 1 NHK1 と 2 NHK2 にCSプロモーションCHが設定されています。（ほかのボタンには設定されていません）

チャンネル番号で選ぶ（デジタル放送とCATVの場合）

1 CH番号入力（ふたの中）を押す

- 画面の右上に、BS--- または CS--- または 地デジ--- または CATV C-- が表示されます。（放送の種類はそのときの状況によって変わります）
- 放送の種類を切り換えるには、CH番号入力（ふたの中）を繰り返し押します。

2 1 〜 10 (0)でチャンネル番号を押す

- たとえば103チャンネルを選ぶ場合 ➡ 1 10 3 の順に押す。（10 は「0」として使います）
- ラジオ/データ放送 10 のチャンネルを選ぶこともできます。その場合は、それぞれの放送メディアに切り換わります。

■ 見たいチャンネルの番号がはっきりとわからない場合

- ＊ボタン（11）を使って、次のように選ぶことができます。

  例1：300番台のチャンネルを見たいとき 3 11 の順に押します。

  → 300番台で放送されている一番小さい番号のチャンネルが選ばれます。
  300番台で放送されているチャンネルがない場合は、400番台以降のチャンネルが選ばれます。

  例2：450番台のチャンネルを見たいとき 4 5 11 の順に押します。

  → 450番台で放送されている一番小さい番号のチャンネルが選ばれます。
  450番台で放送されているチャンネルがない場合は、460番台以降のチャンネルが選ばれます。

■ 枝番の付いた放送一覧（右図）が表示された場合

- ▲・▼で選んで 決定 を押すか、10 (0)〜 9 で枝番（カッコ内の数字）を指定して選びます。

- お買い上げ直後や「設定の初期化」（準備編 95）をした直後などに、一部のBSデジタル放送、110度CSデジタル放送チャンネルを3ケタの番号指定で選ぶことができない場合があります。
- 枝番の付いた放送一覧は、地上デジタル放送で隣接地域の同じチャンネル番号の放送が複数受信できたときに表示されます。

テレビを見る つづき

ラジオやデータ放送を楽しむ

● デジタル放送では映像や音声によるテレビ放送以外に、ラジオ放送とデータ放送があります。（地上アナログ放送にはラジオ放送やデータ放送はありません）

■ **ラジオ放送**

● ラジオ放送は、BSデジタル放送と110度CSデジタル放送で行われています。（地上デジタル放送にはラジオ放送はありません。110度CSデジタル放送では、2007年8月現在ラジオ放送は放送されていません）

● 放送内容に連動して画像が楽しめるものと、音声のみのラジオ放送があり、番組によって音楽CD並みの高音質を楽しむことができます。

■ **データ放送**

● 便利な情報やさまざまなニュースを見たり、クイズやゲームなどの双方向サービスを楽しんだりできます。データ放送には以下の2種類があります。操作のしかたは番組によって異なります。画面に表示される操作指示に従って操作をしてください。

◆ **独立データ放送**

・ 番組とは無関係の独立したデータ放送です。

◆ **番組連動データ放送**

・ テレビ放送やラジオ放送の番組に連動して視聴できる放送サービスです。

■ **地上デジタル放送の双方向サービスについて**

● 地上デジタル放送の双方向サービスには、放送番組に連動した通信サービスと、放送番組とは無関係な通信サービスがあります。

ラジオまたは、独立データ放送を楽しむ

1 **デジタル放送を見ているときに、ラジオ/データ（ふたの中）を押す**

● 押すたびに以下のように切り換わります。

テレビ放送 ➡ ラジオ放送 ➡ 独立データ放送（➡ テレビ放送に戻る）

● 地上デジタル放送にはラジオ放送はありません。

● チャンネル∧∨で他のチャンネルに切り換えられます。

● 前ページの操作でチャンネル番号を入力して選ぶこともできます。

番組連動データ放送を楽しむ

1 **デジタル放送を見ているときに画面表示を押す**

● テレビd、ラジオd が表示された場合、データ放送があります。

2 **dデータを押す**

● 番組によっては押す必要がない場合があります。

● 画面に表示される操作指示に従って操作をしてください。

● データ放送を終了するには、クイックを押し、▲･▼で「その他の操作」を選び決定を押し、▲･▼で「データ放送終了」を選び、決定を押します。

● インターネットを利用した双方向サービスでは、お客様の個人情報の入力を要求される場合がありますが、接続先のサイトによってはSSL（準備編 113ﾃﾞ）などによる通信時のセキュリティ対策が行われていない場合があります。

● 双方向サービスを利用する場合は、あらかじめ電話回線やLAN端子の接続と設定（準備編 27ﾃﾞ～30ﾃﾞ、82ﾃﾞ～87ﾃﾞ）をしてください。また、双方向サービス利用に必要な登録の申し込みをしてください。（付属の「ファーストステップガイド」をご覧ください）

● 双方向サービスの通信中は本体の「回線使用中」表示が点灯し、同一回線上の電話機やファクシミリなどは使えません。また、通話料がかかる場合があります。

● 通信に時間がかかり、次の操作がすぐにできないことがあります。

● テレビの動作中に電源プラグを抜かないでください。本機が記憶している双方向サービスでのお客様のポイント情報などが更新されないことがあります。

● 放送データの取得中は、一部の操作ができないことがあります。

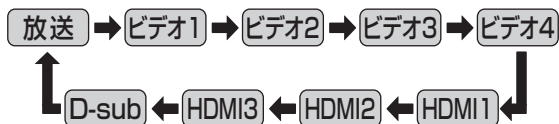
● 画面の操作指示で、dデータ は「データボタン」「データ放送ボタン」などと表示される場合があります。

● 本体の放送切換ボタンとチャンネルボタンでは、データ放送とラジオ放送の選択やチャンネル切換はできません。

● 本機は、ブックマーク機能や登録発呼機能には対応していません。

ビデオやDVDなどの外部機器を見る

1　見たい機器の電源を入れ、機器がつないであるビデオ入力を 入力切換 で選ぶ

- 入力切換 を押すと、画面右上に入力端子一覧が表示され、入力切換 を押すたびに以下のように切り換わります。(切り換えてから映像が出るまでに少し時間がかかります)
  入力切換 を押すと、逆の順に切り換わります。

- お買い上げ時は、ビデオ1からビデオ4までは、外部機器がつながっているかどうかを自動的に検知し、何もつながっていない入力端子をスキップする設定になっています。
  ※「外部入力スキップ設定」(準備編 55)で変更することができます。
- HDMI1からHDMI3、D-subについては、「外部入力スキップ設定」(準備編 55)で設定すると、使わない入力端子をスキップすることができます。

2　接続されている外部機器を操作する

クイックメニューを使う

- クイック を押すと、そのときに使うと便利な機能がメニューとして表示されます。
- クイックメニューの内容は、クイック を押すときの場面によって変わります。以下は、ほかのメニュー操作などをせずにテレビ番組を視聴している場合のものです。
- クイックメニューで選択できる項目は、放送の種類や外部機器の有無などによって変わります。
  この場合、選択できない項目は薄く表示されます。

基本操作

1　クイック を押し、▲·▼ で項目を選んで、決定 を押す

2　選んだ項目に従って操作する

- 詳しくは各項目の該当するページをご覧ください。

項　目			記載ページ
画面サイズ切換			19
映像設定			68～75
音声設定			76～78 準備編 80
予約リスト			38
その他の操作	HDMI 入力拡張切換		54
	オフタイマー		25
	信号切換	映像切換	24
		音声切換	24
		音多切換	23
		データ切換	24
		字幕切換	24
		降雨対応放送切換	24
	データ放送終了		10
	親切ヘッドホーン音量 (二画面表示のとき 副画面ヘッドホーン音量)		22

テレビを見る

お知らせ

■「ビデオやDVDなどの外部機器を見る」について

- 本体の入力切換ボタンは、リモコンの 入力切換 と同じ働きをします。
- 入力切換 を押し、入力端子一覧から ▲·▼ で切り換えたい入力を選び、決定 を押して切り換えることもできます。
- 入力切換時に画面に表示される「DVD」などの機器名を変えることができます。(準備編 55「外部入力表示設定」)
- お買い上げ時は、ビデオ3を選ぶとゲームに適した画質と画面サイズになるように設定されています。ビデオなどをつないで使うときは、ビデオ3を選んでから クイック を押して、「映像設定」68 の「映像メニュー」から「ゲーム」以外を選んでください。

テレビを見る つづき

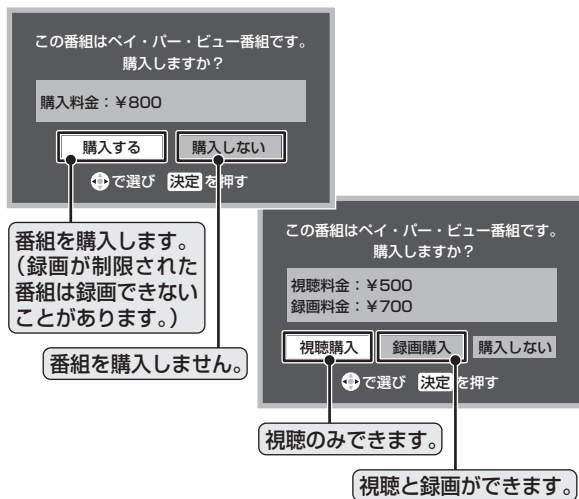
ペイ・パー・ビュー番組を見る

● ペイ・パー・ビュー(PPV)番組とは、番組ごとに視聴料金を払って購入する有料番組のことです。
● 2007年8月現在、本機が対応している放送でペイ・パー・ビュー番組は放送されていません。

ペイ・パー・ビュー番組を購入する

1 ペイ・パー・ビュー番組を選ぶ
● 番組購入画面になります。
● 番組を選んだときに下図の画面が表示された場合はプレビュー中です。プレビューとは番組購入前にしばらくの間視聴できるサービスです。

プレビュー中 決定 で購入

2 画面に従って番組を購入する
● 番組によっては、購入できる種類が選べる場合があります。

番組購入履歴を見る

● ペイ・パー・ビュー番組を購入した履歴を画面で見ることができます。

1 設定メニュー(ふたの中)を押す

2 ▲·▼で「機能設定」を選び、決定を押す

3 ▲·▼で「番組購入情報」を選び、決定を押す

4 ▲·▼で「番組購入履歴」を選び、決定を押す
● 番組購入履歴が表示されます。
- **購入済み**
- **購入エラー**
  予約した番組の開始時に受信障害、停電、番組が放送されなかったなどの理由で購入されなかった場合に表示されます。この場合は購入料金はかかりません。
- **取消**
  予約した録画が始まる前に、購入が取り消された場合に表示されます。

● 番組購入履歴をすべて削除するには、青を押し、確認画面が表示されたら◀·▶で「はい」を選んで、決定を押します。
● 終わったら、終了を押します。

番組購入情報の送信

● 番組購入情報が送信されていない場合は「本機に関するお知らせ」25でお知らせします。電話回線が正しく接続されていることを確認したあと、以下の操作で送信してください。

1 左下の手順 **1**～**3** で「番組購入情報」の画面にする

2 ▲·▼で「番組購入情報の送信」を選び、決定を押す
● 画面のメッセージに従って決定を押し、次に進んでください。
● 送信が完了したら、終了を押します。

次のメッセージが表示された場合

● 「センターと通信できません。電話機コードの接続が正しくない場合があります。」
- 「電話回線の接続」(準備編27)および「電話回線設定」(準備編82)で、接続・設定を確認してください。

● 「B-CASカスタマーセンターに番組購入情報を送信することができませんでした。」
- 「電話回線の接続」(準備編27)で、接続を確認してください。

● 電話回線を接続していなかったなどの理由で、番組購入情報が送信されていない場合は、番組購入時に購入エラーになります。
● 1番組あたりの購入限度額を設定することができます。(準備編93)
● 番組購入履歴は新しい順に最大32番組まで記憶されます。
● 購入した番組に複数の映像、音声、データがある場合は、基本以外のものを視聴するために追加料金がかかることがあります。

番組表で選んで見る

- デジタル放送の番組表は、放送電波で送られてくる情報で表示されます。
- **お買い上げ直後や電源を入れた直後、放送の種類を変えたときなどには、番組内容の表示に時間がかかることがあります。**
- **デジタル放送の番組表を最新にしておくために、本機の電源を毎日2時間以上「待機」状態にしておくことをおすすめします。**

> ※ 地上アナログ放送の番組表を見るには、次の設定が必要です。
> インターネットの常時接続・設定（準備編 28）とチャンネル設定（準備編 33 または 72）、地上アナログ番組表設定（準備編 92）

※ 次ページの「お知らせ」もよくお読みください。

番組表で選ぶ

1　番組表 を押す

- 番組表が表示されます。（下図）
- 放送の種類を変えるときには、BS—CS または 地デジ—地アナ を押します。
  ラジオ／独立データ放送の番組表を見るときには、ラジオ/データ（ふたの中）を押します。

2　▲·▼·◀·▶で現在放送中の番組を選ぶ

- ⌃·⌄·«·» で番組表のページを切り換えることができます。
- 選んでいる番組の説明を見るには、番組説明 を押します。18

3　決定 を押す

- 「番組指定録画／選局」画面が表示されます。（これから放送される番組を選んだときは、「番組指定予約」の画面になります。31 手順 **3** 以降の操作）

4　▲·▼·◀·▶で「見る」を選び、決定 を押す

- 選んだ番組の放送画面になります。
- 録画もするときは、30 手順 **3** をご覧ください。

[番組表画面:7チャンネル表示の例]

- 番組表の日付
- チャンネル表示
- 現在時刻（黄色い帯）
- 連ドラ予約アイコン
  ※予約が設定されているときは赤、予約の実行を停止しているときは灰色で表示されます。
- 予約されている時間帯をピンク色、予約が重複している時間帯を赤色で表示
- 予約重複アイコン
  ※重複アイコンにはいくつかの種類があります
- ✓ 視聴予約アイコン
- 録画予約アイコン
- 放送の種類
- 放送メディア（テレビ/ラジオ/データ）
- 現在の日時
- 選局中のチャンネル（黄色い帯）
- 時間帯・番組表示
- 選んでいる番組
- 放送時間の短い番組は、番組を選ぶと、番組名などが表示されます。
- 選んでいる番組の情報
- リモコンのカラーボタンの操作説明

地上デジ テレビ 8/14(火) 15(水) 16(木) 17(金) 18(土) 19(日) 20(月) 21(火)　8/ 14 (火) PM 6:10
1 012 NHK総合·東京　2 023 NHK教育·東京　4 041 日本テレビ　6 061 TBS　8 081 フジテレビジョン　5 051 テレビ朝日　7 071 テレビ東京
放送中 ショッピング PM 6:00～PM 8:00
特集：キレイをお手伝い～美容と健康に役立つ商品をご紹介いたします～特集:サプリメント SD:525i
« » ⌃ ⌄ ページ切換　青 今の時間へ　赤 日時切換　緑 ミニ番組表　黄 番組検索　クイック

※アイコンについては、104 をご覧ください。

お知らせ

- 番組表は前回表示した日付と時間帯の部分が表示されます。（前回の表示日時を過ぎている場合は、今の日時で表示されます）
- テレビを視聴している条件などによっては番組表が空欄になる場合があります。この場合は、空欄の部分を選んでから、「番組情報の取得」16 をしてください。
- 地上アナログ放送の番組表は、お客様への予告なく一時的に停止される場合や、サービス自体が終了される場合があります。あらかじめご了承ください。
- 番組表画面で予約済み番組を選ぶと、予約内容の確認や予約の取り消しなどができます。
- 「東芝RDシリーズデジタル」と「HDMI連動機能対応東芝レコーダー」については、番組表に予約アイコンは表示されません。
- 設定メニュー（ふたの中）を押して、「機能設定」内「選局機能設定」の「番組表モード」で番組表を7チャンネル表示から6チャンネル表示に変更することができます。（準備編 92）

番組表で選んで見る　つづき

番組表で選ぶ　つづき

■ 番組表を便利に使う

■ 今の時間帯の番組表を表示する

❶ 番組表の画面で 青 を押す

■ 指定した日時の番組表を表示する

❶ 番組表の画面で 赤 を押す

- ▲·▼·◀·▶ で日時を選び 決定 を押すと、選んだ時間帯の番組表が表示されます。

■ 番組表とミニ番組表 16 **を切り換える**（6時間⟷2時間）

❶ 番組表の画面で 緑 を押す

- 押すたびに、番組表とミニ番組表が切り換わります。

[6時間表示]

緑 を押すたびに切り換わります。

[2時間表示]

■ ジャンルやキーワードを指定して番組を検索する

❶ 番組表の画面で 黄 を押す

※ ジャンル、キーワードのどちらかは、必ず指定してください。

❷「ジャンル」を指定するときは、以下をする

① 「番組検索」画面で ▲·▼ で「ジャンル」を選び、決定 を押す

② 指定するジャンルを一つ選び、決定 を押す

❸「キーワード」を指定するときは、以下をする

① 「番組検索」画面で ▲·▼ で「キーワード」を選び、決定 を押す

② 指定するキーワードを一つ選び、決定 を押す

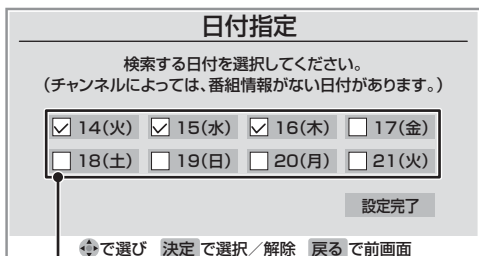
- キーワード一覧表にない項目を指定するときは、「フリー入力」を選び 決定 を押し、文字を入力します。文字入力のしかたは、26 をご覧ください。

❹「日付」を指定するときは、以下をする

① 「番組検索」画面で▲·▼で「日付」を選び、(決定)を押す

② 指定する日付を▲·▼·◀·▶で選び、(決定)を押す

● (決定)を押すたびにチェックマークのオン、オフが切り換わります。

※ 指定できる日付は今日から8日間です。

③ すべての指定が終わったら▲·▼·◀·▶で「設定完了」を選び、(決定)を押す

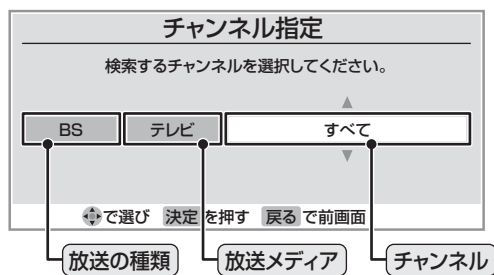
❺「チャンネル」を指定するときは、以下をする

① 「番組検索」画面で▲·▼で「チャンネル」を選び、(決定)を押す

② 指定する項目を◀·▶で選び、▲·▼で内容を選ぶ

● 放送の種類：
BS ／ CS ／地デジ／地アナ／すべて
※受信できない放送は表示されません。

● 放送メディア：
テレビ／ラジオ（BS、110度CSのみ）／データ（地アナ以外）／すべて

● チャンネル：（「すべて」もあります）
指定された放送の種類やメディアに該当するチャンネル／すべて

③ 指定が終わったら、(決定)を押す

❻ ▲·▼で「検索開始」を選び、(決定)を押す

❼「番組検索結果」画面から、見たい番組を▲·▼で選び、(決定)を押す

● 「番組指定録画／選局」画面が表示されます。

● これから放送される番組を選んだときは、「番組指定予約」画面になります。（31 手順 3 以降の操作）

❽ ▲·▼·◀·▶で「見る」を選び、(決定)を押す

● 選んだ番組の放送画面になります。

● 録画もするときは、30 手順 3 をご覧ください。

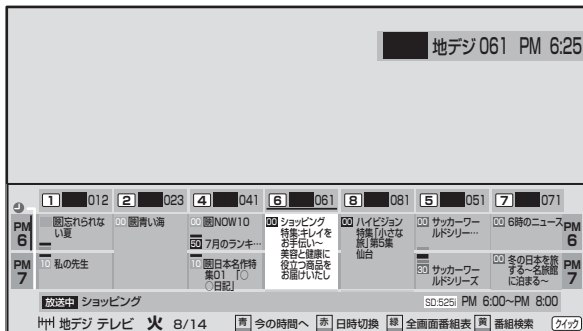
● データ放送の視聴中は番組表に切り換わらないことがあります。その場合は、テレビ放送に切り換えてから操作してください。
● 一部のCATV放送など、番組表情報がないものは番組表に表示されません。
● 番組表に表示できる番組情報は最大8日分です。
● 地上アナログ放送の番組表は、お客様への予告なく一時的に停止される場合や、サービス自体が終了される場合があります。あらかじめご了承ください。
● デジタル放送の番組情報で使用される特殊文字（多など）は指定できません。検索の際は、番組情報内の特殊文字は自動的に除かれます。
● 番組の詳細情報はキーワード検索の対象になっていません。
● 番組検索の結果は指標としてお使いください。内容および利用した結果について、当社は一切の責任を負いません。
● 番組情報を定期的に更新しているため、操作がすぐにできない場合があります。
● 番組の中止・変更・延長などによって、実際の放送内容が番組表と異なる場合があります。
● 番組表や番組情報などで表示される内容および利用した結果について、当社は一切の責任を負いません。

番組表で選んで見る つづき

ミニ番組表で選ぶ

● 2時間分の番組表を表示します。

1 ミニ番組表を押す

● ミニ番組表が表示されます。

● 放送の種類を変えるときは、BS—CSまたは地デジ—地アナを押します。
ラジオ／独立データ放送の一覧を見るときはラジオ/データ(ふたの中)を押します。

● BSデジタル放送や地上デジタル放送(どちらもテレビのみ)では、クイックを押して、放送事業者ごとの代表チャンネル表示(1CH表示)⇔マルチチャンネル表示(マルチ表示)の切換えができます。17
※ 番組表もここで選んだ表示モードに切り換わります。

● 緑を押して、6時間の番組表と切り換えることができます。(押すたびに2時間←→6時間が切り換わります) 14

2 ▲·▼·◀·▶で番組を選ぶ

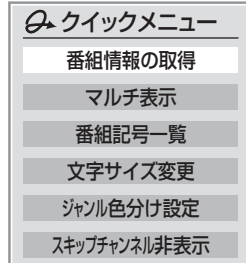
● 選んでいる番組の説明を見るには、番組説明を押します。18

3 決定を押す

●「番組指定録画／選局」画面が表示されます。
これから放送される番組から選んだ場合は、「番組指定予約」画面になります。(31 手順 3 以降の操作)

クイックメニューでできること

1 番組表の画面でクイックを押す

【番組表の場合】

2 ▲·▼で項目を選び、決定を押す

● 放送の種類や受信内容などによっては、選べない項目があります。

■ 番組情報の取得

見ている番組表の内容を更新します。(本機からの録画中はできません)

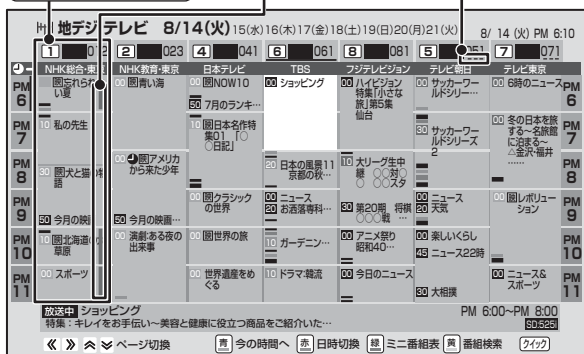
● 情報の取得が始まります。
※ 番組情報取得中は映像、音声が出ない場合があります。
● 地上アナログ放送の番組表とBSデジタル放送の場合は番組表全体が更新されます。
● 110度CSデジタル放送の場合は、選択中の番組が含まれているネットワークの番組表全体が更新されます。
● 地上デジタル放送の場合は、番組表で選択している放送局の情報だけが更新されます。
※ 情報取得を中止するときはクイックを押し、▲·▼で「番組情報の取得中止」を選び、決定を押します。
● 番組情報取得中にほかの操作をすると、情報の取得が中止されることがあります。

■ 1CH表示／マルチ表示

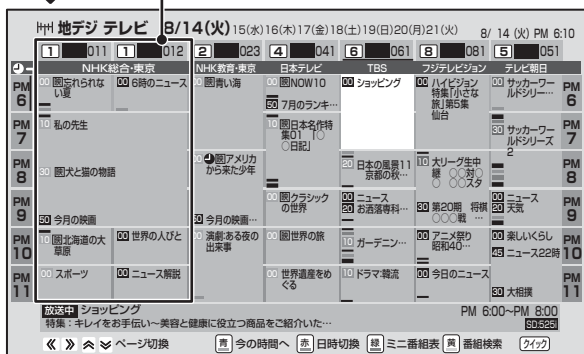
選ぶたびに以下のように「1CH表示」と「マルチ表示」が切り換わります。(BSデジタル放送と地上デジタル放送のみ)

同じ放送事業者の他のチャンネルに別の番組がある場合は、緑の縦線が表示されます。

放送事業者ごとの1チャンネル表示

同じ放送事業者が複数のチャンネルを放送している場合は緑の破線が表示されます。

［1CH表示］

クイックメニューから「1CH表示」と「マルチ表示」を選ぶたびに切り換わります。

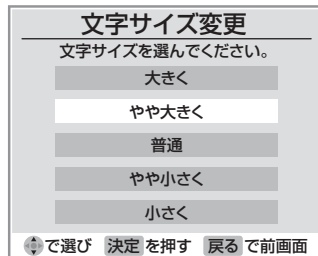
放送事業者ごとのマルチチャンネル表示

■ 番組記号一覧

番組記号の説明が表示されます。

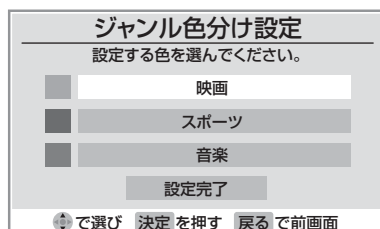
- 表示される番組記号は一部のみです。
- 見終わったら、決定を押します。

■ 文字サイズ変更

番組表に表示される文字の大きさを変えます。

❶ **変更したい文字サイズを▲·▼で選び、決定を押す**

■ ジャンル色分け設定

番組表の色分けされているジャンルを変更します。

❶ **変更したい色を▲·▼で選び、決定を押す**

❷ **▲·▼·◀·▶でジャンルを選び、決定を押す**

- 「指定しない」を選ぶと、色分け表示がなくなります。

❸ **▲·▼で「設定完了」を選び、決定を押す**

■ スキップチャンネル非表示

「チャンネルスキップ設定」(準備編 79)したチャンネルを番組表に表示させるかどうかの設定です。

- スキップチャンネルを表示しないように設定していた場合、クイックメニューの項目名は「スキップチャンネル表示」になります。
- クイックメニューが「スキップチャンネル表示」のときに決定を押すと、スキップチャンネルも表示した番組表に切り換わります。

■ ジャンル色分け設定について

- 複数の色に同じジャンルを登録することはできません。
- 各色に設定できるジャンルはそれぞれ一つです。
- この設定は、放送の種類や放送メディア(テレビ、ラジオ、独立データ)に対して共通の設定になります。

■ スキップチャンネル非表示／表示の設定について

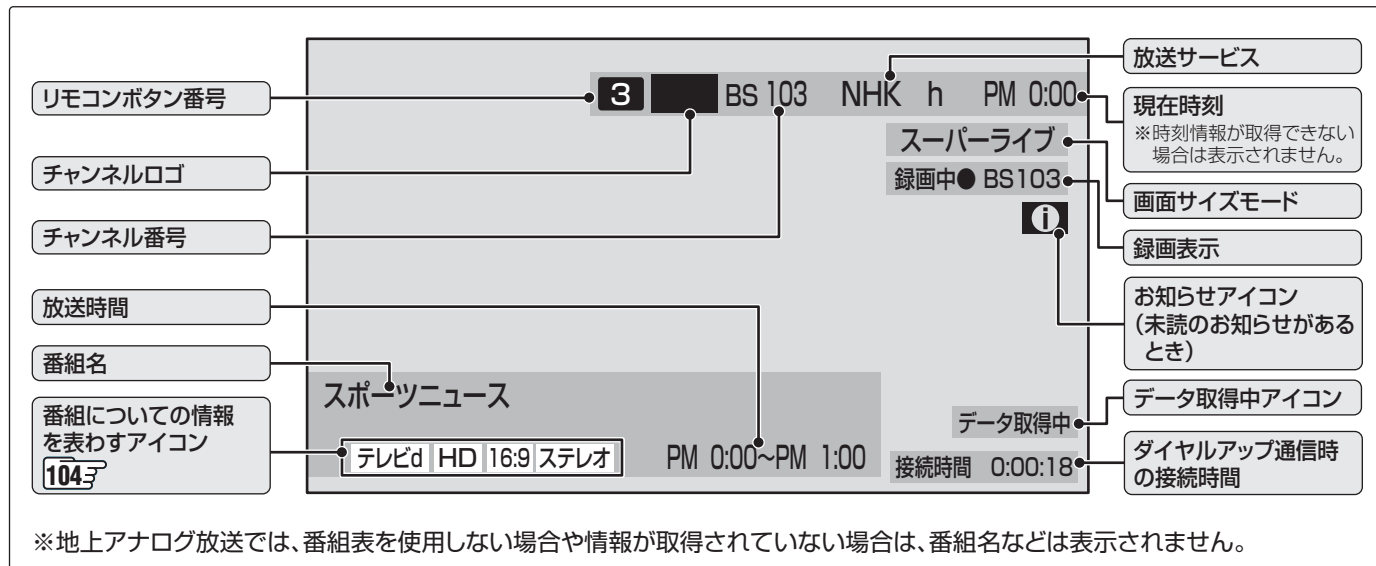
- この設定は、放送の種類や放送メディア(テレビ、ラジオ、独立データ)に対して共通の設定になります。

便利な機能を使う

番組情報を見る

1 画面表示 を押す

- 現在視聴しているチャンネルや番組の情報が表示されます。（数秒たつと、チャンネル以外の表示は消えます）
- すべての表示を消すには、もう一度画面表示を押してください。
- 選局時には一部省略された状態で表示されます。

※地上アナログ放送では、番組表を使用しない場合や情報が取得されていない場合は、番組名などは表示されません。

番組説明を見る

1 番組説明 を押す

2 さらに詳しい説明を見るときは▼を押す

- 「詳細情報を取得していません」が表示されたときは、黄 を押します。
- 「詳細情報を取得できませんでした」が表示された場合は、データ取得に失敗したか、または情報がなかったことを意味します。

3 説明画面を消すには 決定 を押す

- 画面に表示されるアイコンについては、「アイコン一覧」104 をご覧ください。
- i.LINK機器やUSB HDD、LAN HDD、DLNA認定サーバー（準備編 66）に保存されている番組の再生時は、番組の情報が表示されない場合があります。
- 番組情報の表示や詳細情報の取得には時間がかかる場合があります。
- 番組情報を取得するタイミングによっては、最新の情報を表示できないことがあります。
- 番組によっては、録画、録音が制限される場合があります。その場合は、番組説明の画面でアイコンを表示します。104

画面サイズを切り換える

● 視聴している放送や、つないだ外部機器によって、画面サイズを切り換えて迫力あるワイド画面が楽しめます。

1 画面サイズ を押す

● 押すたびに以下のように切り換わります。(映像信号や接続機器によって、選べるモードは異なります。)
● 各モードの説明は、次ページをご覧ください。

放送やビデオ入力端子からの映像などを見ているとき

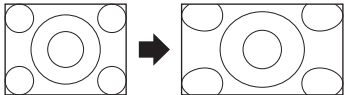
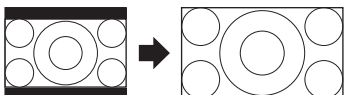
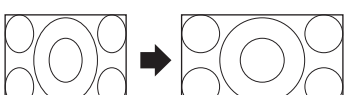
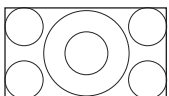
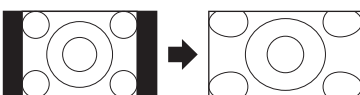
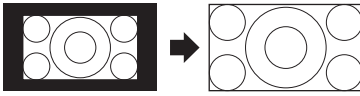
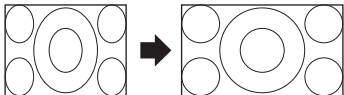
映像の種類	選べる画面サイズ
地上アナログ放送、 デジタル放送の4：3の映像、 ビデオ入力端子(525iと525pのみ)	スーパーライブ ➡ ズーム ➡ 映画字幕 ➡ フル ➡ ノーマル
デジタル放送の16：9の映像	フル ➡ HDスーパーライブ ➡ HDズーム • 選局操作、電源入／切などで「フル」に戻ります。
D4映像入力端子からのハイビジョン映像	フル ➡ ノーマル ➡ HDスーパーライブ ➡ HDズーム • 機器の操作、電源入／切などで「フル」に戻ります。

HDMI入力端子からの映像などを見ているとき

映像や信号フォーマットの種類	選べる画面サイズ
525i(480i)、525p(480p)	ノーマル ➡ Dot By Dot ➡ スーパーライブ ➡ ズーム ➡ 映画字幕 ➡ フル
VGA、SVGA、XGA、SXGA※	ノーマル ➡ Dot By Dot ➡ スーパーライブ ➡ ズーム ➡ フル
750p(720p)、1125i(1080i)、 1125p(1080p)、WXGA※	ノーマル ➡ Dot By Dot ➡ HDスーパーライブ ➡ HDズーム ➡ フル

※ 信号フォーマットについては106をご覧ください

D-Sub入力端子からの映像などを見ているとき

信号フォーマットの種類	選べる画面サイズ
VGA、SVGA、XGA、SXGA※	ノーマル ➡ Dot By Dot ➡ スーパーライブ ➡ ズーム ➡ フル
WXGA※	ノーマル ➡ Dot By Dot ➡ HDスーパーライブ ➡ HDズーム ➡ フル

※ 信号フォーマットについては106をご覧ください

ゲームモードに切り換えたとき

ゲームモードにするには	選べる画面サイズ	
入力切換を外部入力(「ビデオ1～4」、「HDMI1～3」、「D-sub」)にして、映像メニュー 68 を「ゲーム」に設定している場合	ゲーム機をビデオ入力端子につないだ場合	ゲームノーマル ➡ ゲームフル
	ゲーム機を HDMI 端子、D-Sub 端子につないだ場合	ゲームフル ➡ ゲームノーマル ➡ Dot By Dot

便利な機能を使う

次のページにつづく

便利な機能を使う つづき

画面サイズを切り換える つづき

画面の見えかたについて

	画像サイズのモード	画面の見えかた	説　明
SD	スーパーライブ		4：3の映像をワイド画面で楽しむモードです。画面左右の端にいくほど映像が引き伸ばされます。
SD	ズーム		上下が黒い帯になっている映画などのワイド映像（レターボックスといい、DVDソフトなどではケース背面などに「LB」と表示されています）を拡大して楽しむモードです。上下に黒い部分が出ることがあります。
SD	映画字幕	映画を観に行きませんか? → 映画を観に行きませんか?	レターボックスのワイド映像の下に字幕がはいっている場合に、字幕を隠れにくくするモードです。上に黒い部分が出ることがあります。
SD	フル		DVDなどのスクイーズ映像（縦に伸びて見える映像）を、ワイド映像で表示するモードです。
SD	ノーマル		4：3の映像をそのままの横と縦の比で表示します。
HD	フル		16：9の映像を画面内にすべて表示するモードです。 映像の信号によっては、周囲の映像が少し画面の外に隠れる場合があります。 ※「スキャンサイズ切換」74 で画面に表示する情報量を変更することができます。
HD	HDスーパーライブ		16：9の左右に帯のある映像をワイド画面で楽しむモードです。画面左右の端にいくほど映像が引き伸ばされます。
HD	HDズーム		16：9の上下左右に帯のある映像をワイド画面で楽しむモードです。
共通	Dot By Dot		入力信号の解像度のまま、画面に表示します。映像のない部分には黒い部分ができます。（イラストはSVGAの例です）
共通	ゲームフル		ゲームの画像をテレビ画面いっぱいに拡大して表示します。
共通	ゲームノーマル		ゲームの映像をそのままの横と縦の比で表示します。

※「HDスーパーライブ」と「HDズーム」は、デジタル放送のハイビジョン放送と通常画質放送の16：9の映像で切り換えることができます。この機能は画面サイズを切り換える機能であり、放送フォーマットを変換する機能ではありません。

- クイック を押して、クイックメニューの画面サイズ切換からも画面サイズの切換ができます。
- このテレビは、各種の画面サイズのモード切換機能を備えています。テレビ番組等のソフトの映像比率と異なるモードを選択されますと、オリジナルの映像とは見えかたに差が出ます。この点をご留意の上、画面サイズのモードをお選びください。
- テレビを公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において、画面サイズのモード切換機能を利用して、画面の圧縮や引き伸ばし等を行いますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがありますので、ご注意願います。
- ワイド映像でない従来（通常）の4:3の映像を、スーパーライブなどを利用してワイドテレビの画面いっぱいに表示してご覧になると、周辺画像が一部見えなくなったり、変形して見えたりします。制作者の意図を尊重したオリジナルな映像は、Dot By Dot、ノーマルモード（16：9映像の場合はフルモード）でご覧になれます。
- 本機のS2映像端子とD4映像端子では、スクイーズ映像と4：3映像時のレターボックス映像を識別できます。これらの映像の視聴時には画面サイズが自動的にフルモードやズームモードに切り換わります。お好みで切り換えることもできます。
- 視聴する映像のフォーマットと画面サイズの組合せによっては、周囲の映像が隠れたり、画面の周囲が黒で表示されたり、左右の端がちらついたりすることがあります。また、放送画面に表示される選択項目を選ぶ際に枠がずれて表示されることがあります。

二画面で見るには

- 同時に二つの画面を表示してテレビを楽しむことができます。
- 二画面のままでチャンネルを変えることもできます。

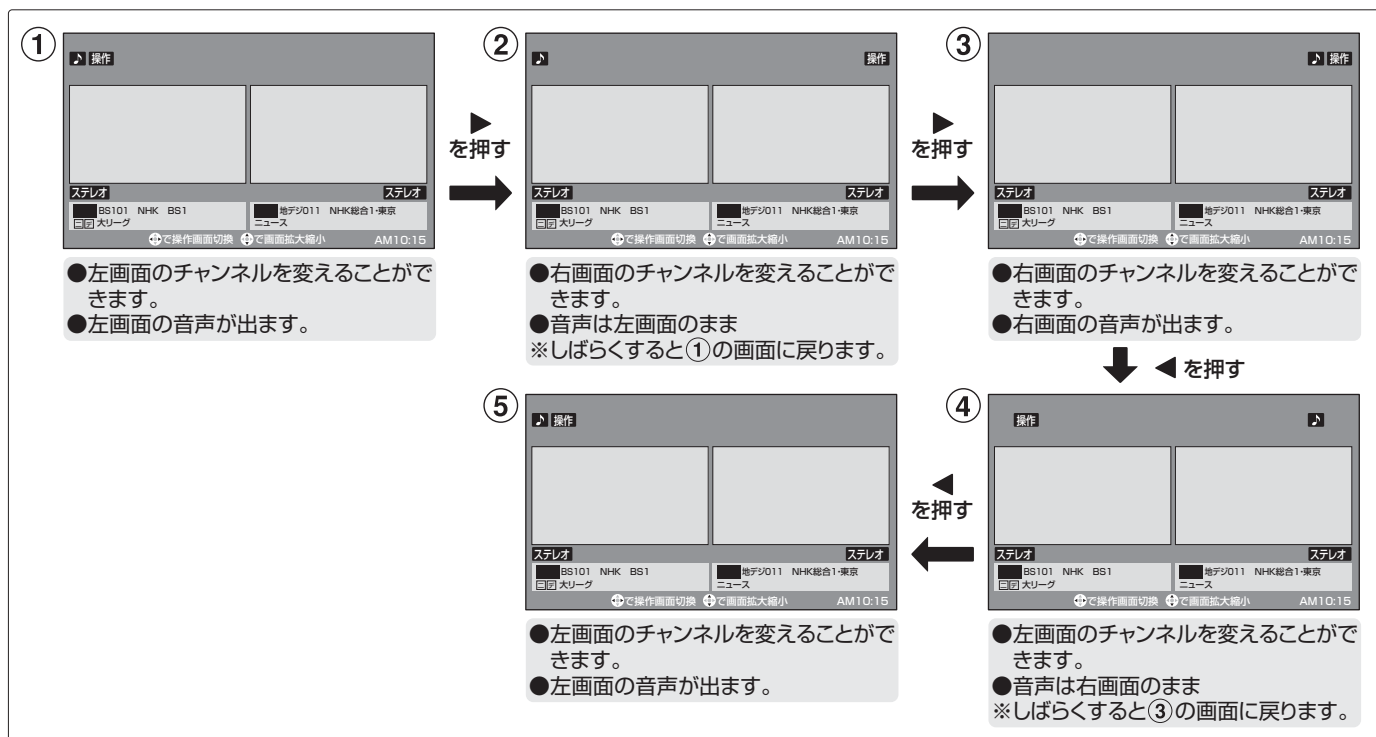
1 二画面 を押す

- もう一度 二画面 を押すと、一画面に戻ります。

2 ◀・▶で操作したい画面を選ぶ

- 操作できる画面には♪や 操作 が表示されます。
- ◀・▶を繰り返し押すと下の図のように画面が変わります。
- ▲・▼を押すと操作している画面の大きさが順に変わります。

3 チャンネルでチャンネルを選ぶ

- 1 NHK1 ～ 12 TwellV、1 ～ 12 でも選局できます。
- デジタル放送とCATVの場合は CH番号入力（ふたの中）を使った選局ができます。
- 入力切換 でテレビ放送とビデオ入力との切換えができます。
- 選んでいる番組の説明を見るには、番組説明 を押します。18

- 公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテルなどで「二画面」を使用すると、著作権法で保護されている著作権を侵害するおそれがありますので、ご注意願います。
- 地上アナログ放送を二つの画面に映すことはできません。
- 地上アナログ放送とビデオ入力やHDMI入力からの映像を二つの画面に映すことはできません。
- ビデオ入力やHDMI入力からの映像を二つの画面に映すことはできません。
- i.LINK端子やLAN端子に接続した機器、USB HDD、4th MEDIA、アクトビラを二画面表示することはできません。
- 二画面のときは、ラジオ放送、データ放送を視聴できません。ラジオ放送やデータ放送を視聴しているときに二画面にすると、最後に選んでいたテレビ放送チャンネルの映像で表示されます。
- 二画面表示のときのヘッドホーンモードについて、次のページをご覧ください。
- 二画面表示のときに、インターネット機能 57 は使えません。（インターネット機能を使用中に二画面にすることはできます。23）
- 二画面表示のときに、AVアンプ以外のHDMI連動対応機器を連動操作することはできません。
- 二画面表示のときに、HDMI連動機能対応機器からのワンタッチプレイはできません。
- 二画面表示でAVアンプの入力端子に接続している機器の番組などを視聴しているときは、♪を移動してもAVアンプの音声は切り換わりません。
- 本機からの録画中は二画面表示にできません。また、二画面表示中に本機からの録画が始まると、一画面表示に戻ります。

便利な機能を使う つづき

二画面で見るには つづき

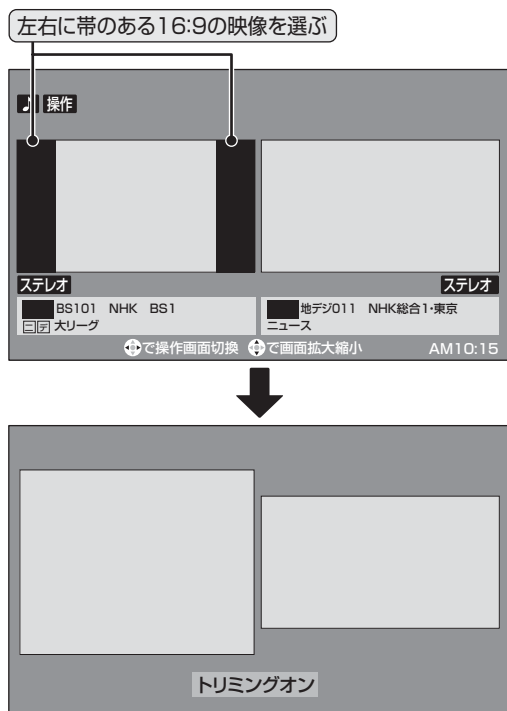
左右の帯をカットして表示する

● 二画面表示中、左右に帯つきの16：9の信号を受信した場合、左右の帯を削除して映像部分を4：3の画面で大きく表示できます。

1 16：9の信号で、左右の帯部分を削除したい画面を選び、画面サイズを押す

● 押すたびに以下のように切り換わります。

トリミングオン ⟷ トリミングオフ

左右に帯のある16:9の映像を選ぶ

● 左右の帯がカットされ、映像が大きく表示されます。
※ 左右に帯のない 16：9 の映像で「トリミングオン」

ヘッドホーンモードを設定する

● 本機にヘッドホーンをつないだときの音の出かたを設定することができます。
● お好みにあわせて「主画面モード」、「副画面モード」、「親切モード」から選べます。
● お買い上げ時は「主画面モード」に設定されています。

1 クイックを押し、▲·▼で「音声設定」を選び、決定を押す

2 ▲·▼で「ヘッドホーンモード」を選び、決定を押す

3 ▲·▼で希望のモードを選び、決定を押す

● 各モードでの音の出かたと音量調整のしかたは、下表を参考にしてください。

■ 一画面表示のとき

モード	ヘッドホーン	スピーカー
主画面モード	音が出ます。 音量で調整	音が出ません。
副画面モード	音が出ます。 「親切ヘッドホーン音量」で調整	音が出ます。 音量で調整
親切モード	音が出ます。 「親切ヘッドホーン音量」で調整	音が出ます。 音量で調整

■ 二画面表示のとき

モード	ヘッドホーン	スピーカー
主画面モード	主画面(♪が表示されている画面)の音が出ます。 音量で調整	音が出ません。
副画面モード	副画面(♪が表示されていない画面)の音が出ます。 「副画面ヘッドホーン音量」で調整	主画面の音が出ます。 音量で調整
親切モード	主画面(♪が表示されている画面)の音が出ます。 「親切ヘッドホーン音量」で調整	主画面の音が出ます。 音量で調整

4 設定が終わったら、終了を押す

■ ヘッドホーンの音量調整のしかた

● 「主画面モード」に設定している場合は音量で調整します。
● 「副画面モード」や「親切モード」に設定して、ヘッドホーンをつないでいるときは、以下の手順で調整します。

❶ クイックを押し、▲·▼で「その他の操作」を選び決定を押し、▲·▼で「親切ヘッドホーン音量」または「副画面ヘッドホーン音量」を選び、決定を押す
※ ヘッドホーンをつないでいないときには、選べません。

❷ ◀·▶で音量を調整する
● 音量でも調整できます。

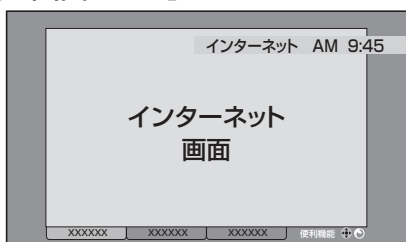
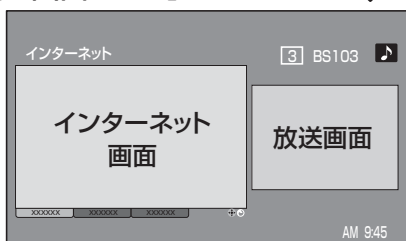
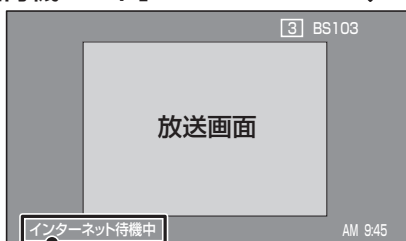
■ トリミング機能について
● 「トリミングオン」はクイックメニューの「画面サイズ切換」からも選ぶことができます。
● 「トリミング機能」はHDMI入力からのPCフォーマット信号には働きません。

■ ヘッドホーンモードについて
● 「音声設定」は設定メニュー(ふたの中)を押してメニューから選ぶこともできます。
● ヘッドホーンモードが、副画面モードまたは親切モードのときは、消音を押してもヘッドホーン音声は消えません。
● ヘッドホーンの音声には音声メニュー、音声調整、自動レベル補正の効果は得られません。
● ヘッドホーンの音声とスピーカーの音声が少しずれて聞こえる場合がありますが、故障ではありません。

インターネットを二画面で見る

● インターネット機能については 57 をご覧ください。

1 インターネットを見ているときに、二画面を押す

● 押すたびに次のように切り換わります。
※ 画面はイメージです。実際の画面とは異なります。

映像を一時静止する

1 静止を押す

● 解除するときは 静止 をもう一度押します。
※ 一時静止中も音声は流れ続けます。

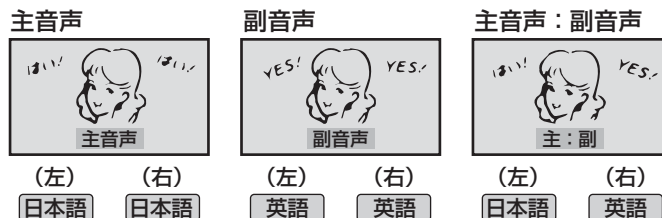
音声多重放送を視聴する

● 音声多重放送番組の視聴時には、主音声、副音声、主：副を切り換えることができます。（この機能を音多切換といいます）
● 音声多重番組は、番組情報画面 18 に 二重音声 のアイコンが表示されます。

1 音多切換を押す

● 押すたびに以下のように切り換わります。

（例：主音声が日本語、副音声が英語の場合）

主音声		副音声		主音声：副音声	
（左）	（右）	（左）	（右）	（左）	（右）
日本語	日本語	英語	英語	日本語	英語

便利な機能を使う

■ 映像の一時静止について
● ラジオ、データ放送視聴中、4th MEDIAの視聴中は静止画にすることはできません。
● 本機からの録画中は静止画にすることはできません。
● 静止中は、字幕は表示されません。
● 静止中は、データ放送の操作はできません。
● 選局操作をすると、静止画面を終了して、通常の画面になります。
● 営利目的、または公衆に視聴させることを目的として喫茶店、ホテルなどで「静止画」を使用すると、著作権法で保護されている著作権を侵害するおそれがあります。

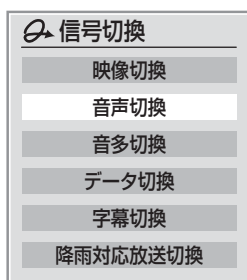
■ 音声多重放送の切換えについて
● LAN HDDやDLNA認定サーバー（準備編 66）に保存されている番組の再生時は、音多切換 を押してステレオ音声の切り換えができます。
● クイック を押して、クイックメニューの信号切換からも音多切換ができます。

映像、音声、データを切り換える

● デジタル放送では、一つの番組内に複数の映像や音声、データがある場合があり、お好みで選択することができます。
● 映像、音声、データが切り換えられる番組には、番組説明画面 18 に 信号切換 のアイコンが表示されます。

1 クイック を押し、▲·▼ で「その他の操作」を選び 決定 を押し、▲·▼ で「信号切換」を選び、決定 を押す

2 切り換えたい項目（「映像切換」「音声切換」「データ切換」）を ▲·▼ で選び、決定 を押す

信号切換
- 映像切換
- 音声切換
- 音多切換
- データ切換
- 字幕切換
- 降雨対応放送切換

3 視聴したい映像、音声、データを ▲·▼ で選び、決定 を押す

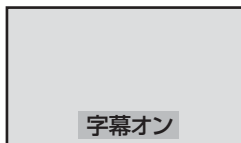
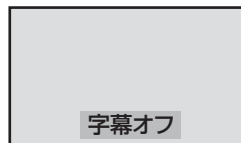
● ¥ が表示されている項目を視聴する場合は追加料金が必要です。視聴する場合には画面の操作に従って購入してください。
● 未購入のペイ·パー·ビュー番組で ¥ が表示された項目を選ぶと、「この映像は番組を購入したあとに選択してください。」のメッセージが表示されることがあります。このときは、終了 を押してから、ペイ·パー·ビュー番組購入の操作をしてください。12

字幕を見る

● お買い上げ時は「字幕オフ（字幕を表示しない）」に設定されています。「字幕オン」に設定すると、字幕放送になったときに字幕が表示されます。
● 字幕放送番組は、番組説明画面 18 に 字 のアイコンが表示されます。（一部、表示と実際の放送が一致しない場合があります）
● 本機は地上アナログ放送の字幕放送には対応していません。

1 字幕（ふたの中）を押す

● 押すたびに「字幕オン」⟷「字幕オフ」と交互に切り換わります。

（例）「字幕オン」の場合　　字幕オン

（例）「字幕オフ」の場合　　字幕オフ

● 番組によっては「字幕オン」の代わりに「日本語字幕」「英語字幕」または「字幕1」「字幕2」などが表示され、字幕 を押したときに字幕の言語を選べることがあります。

降雨対応放送について

● BSまたは110度CSデジタル放送を視聴中に、雨や雪などで衛星からの電波が弱まったときには、降雨対応放送に切り換えて見ることができます。
※ 次のメッセージが表示された場合は、降雨対応放送に切り換えてください。

電波の受信状態が良くありません。
クイックメニューから降雨対応放送に切り換えられます。
コード：E201

1 クイック を押し、▲·▼ で「その他の操作」を選び、決定 を押し、▲·▼ で「信号切換」を選び、決定 を押す

2 ▲·▼ で「降雨対応放送切換」を選び、決定 を押す

3 ▲·▼ で「降雨対応放送」を選び、決定 を押す

● 降雨対応放送をやめるには「通常の放送」を選んでください。

■ 映像、音声、データの切換えについて
● 選局操作をすると、信号切換で選択した状態は取り消されます。（基本の信号を選択した状態になります）
● 映像の切換と同時に音声も切り換わる場合もあります。（これをマルチビューサービスといいます）

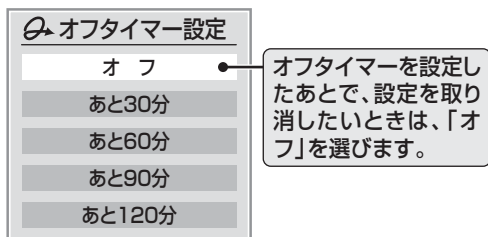
■ 字幕について
● 本機の「デジタル放送録画出力」端子から字幕は出力されません。
● クイック を押して、クイックメニューの信号切換からも字幕切換ができます。
● 二画面表示では、音声が出ている画面の字幕が表示されます。
● インターネット画面と二画面表示をしているときは、字幕が映像からはみ出すことがあります。
● 字幕を表示中、一部の操作をすると、字幕表示は消えます。通常画面に戻ると再び字幕を表示します。

■ 降雨対応放送について
● 通常の放送よりも画質が低下します。
● 電波が強くなると、自動的に通常の放送に戻ります。
● 本機からの録画中に自動的に降雨対応放送に切り換わる場合があります。

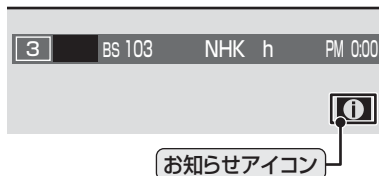
オフタイマーを使う

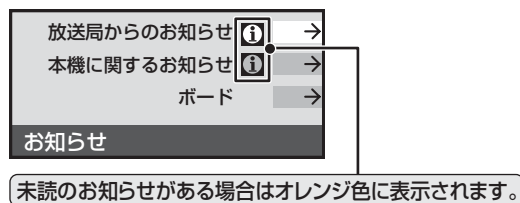
● オフタイマーを設定すると、設定時間後に電源が切れて、待機状態になります。

1 クイック を押し、▲·▼で「その他の操作」を選び、決定 を押し、▲·▼で「オフタイマー」を選び、決定 を押す

2 ▲·▼で設定時間を選び、決定 を押す

● 設定時間の1分前になるとメッセージが表示されます。
● 設定中に クイック を押すとクイックメニューの「その他の操作」内に電源が切れるまでの残り時間が表示されます。

お知らせを見る

● お知らせには、「放送局からのお知らせ」、「本機に関するお知らせ」、「ボード」の3種類があります。
● 未読のお知らせ(「ボード」を除く)があると、チャンネル切換時や 画面表示 を押したときに画面に「お知らせアイコン」が表示されます。

1 設定メニュー(ふたの中)を押し、▲·▼で「お知らせ」を選び、決定 を押す

2 ▲·▼でお知らせの種類を選び、決定 を押す

- 放送局からのお知らせ ····· デジタル放送局からのお知らせです。
- 本機に関するお知らせ ····· 録画予約やダウンロードなどについて、本機が発行したお知らせです。
- ボード ····· 110度CSデジタル放送の視聴者に向けたお知らせです。

3 ▲·▼で読みたいお知らせを選び、決定 を押す

● 読み終わったら 終了 を押します。

■「本機に関するお知らせ」を削除する場合

※削除できるのは「本機に関するお知らせ」のみです。

❶「本機に関するお知らせ」の画面で、青 を押す

❷ ◀·▶で「はい」を選び、決定 を押す

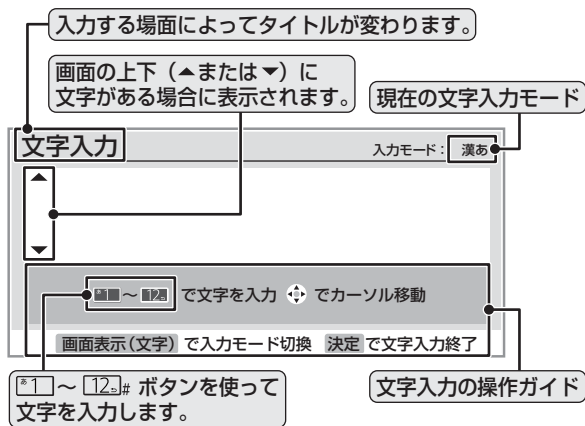
※ 本機に関するお知らせがすべて削除されます。

■「オフタイマーを使う」について
● 本機の電源を「切」または「待機」にすると、オフタイマーの設定は取り消されます。
● 本機からの録画中にオフタイマーで設定した時間になると、画面の映像は消えますが録画は録画時間の終了まで続けられます。

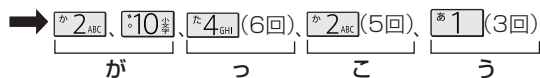
■「お知らせを見る」について
●「放送局からのお知らせ」は、地上デジタルが7通まで記憶され、BSデジタルと110度CSデジタルは、合わせて24通まで記憶されますが、放送局の運用によってはそれよりも少ない場合もあります。記憶できる数を超えて受信した場合は、古いものから順に削除されます。
●「本機に関するお知らせ」は、既読の古いものから順に削除される場合があります。
●「ボード」は、110度CSデジタル放送のそれぞれに対し、今送信されているものが50通まで表示されます。

便利な機能を使う つづき

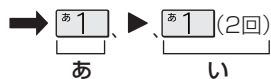
文字入力をする

● 番組検索のキーワード検索でフリー入力を選んだ場合や、通信設定などの場面で文字入力画面が表示されます。

1 文字入力画面で［1］～［12］を押して、文字を入力する

● 携帯電話で文字を入力するような操作で文字を入力します。

入力例：がっこう

● 濁点(゛)や半濁点(゜)を入力するには、文字に続けて［10］を押します。

● 小文字(っ、ゃ、ゅなど)にするには、大文字に続けて［10］を押すやりかたもあります。確定前であれば［10］を押すたびに大文字⇔小文字に切り換えられます。

入力例：あい

● 同じボタンに割り当てられた文字を続けて入力する場合は、最初の文字を入力したあと、▶ を押してから次の文字を入力します。

● 文字入力モードを変えるときは［文字 画面表示］を押します。

2 漢字に変換しないときは［決定］を押す 漢字に変換するときは▼を繰り返し押し、希望の漢字が見つかったら［決定］を押す

● 希望する漢字に変換されない場合は、◀·▶ で変換する範囲を変え、▲·▼で再度変換します。

● すべての入力が終わったら、［決定］を押して文字入力を終了します。

文字入力モード

「漢あ」：漢字変換モード	ひらがなや漢字を入力できます。
「カナ」：全角カナモード	カタカナを入力できます。
「ａＡ」：全角英字モード	全角の英字を入力できます。
「abAB」：半角英字モード	半角の英字を入力できます。
「１２」：全角数字モード	全角の数字を入力できます。
「1234」：半角数字モード	半角の数字を入力できます。
「全角記号」：全角記号モード	全角の記号を入力できます。
「半角記号」：半角記号モード	半角の記号を入力できます。
「定型文」：定型文モード	定型文を入力できます。

● 文字入力の場面によっては、使用できる文字入力モードの種類が少なかったり、切り換えられなかったりすることがあります。

入力文字一覧表

リモコン	文字入力モード			
	漢字変換モード	全角カナモード	英字モード	数字
1	あ→い→う→え→お→あ→い→う→え→お	ア→イ→ウ→エ→オ→ア→イ→ウ→エ→オ	1→2→3→4→5→6→7→8→9→0	1
2 ABC	か→き→く→け→こ	カ→キ→ク→ケ→コ→カ→ケ	a→b→c→A→B→C	2
3 DEF	さ→し→す→せ→そ	サ→シ→ス→セ→ソ	d→e→f→D→E→F	3
4 GHI	た→ち→つ→て→と→つ	タ→チ→ツ→テ→ト→ッ	g→h→i→G→H→I	4
5 JKL	な→に→ぬ→ね→の	ナ→ニ→ヌ→ネ→ノ	j→k→l→J→K→L	5
6 MNO	は→ひ→ふ→へ→ほ	ハ→ヒ→フ→ヘ→ホ	m→n→o→M→N→O	6
7 PQRS	ま→み→む→め→も	マ→ミ→ム→メ→モ	p→q→r→s→P→Q→R→S	7
8 TUV	や→ゆ→よ→ゃ→ゅ→ょ	ヤ→ユ→ヨ→ャ→ュ→ョ	t→u→v→T→U→V	8
9 WXYZ	ら→り→る→れ→ろ	ラ→リ→ル→レ→ロ	w→x→y→z→W→X→Y→Z	9
10 0	゛→゜→小文字変換	゛→゜→小文字変換	小文字変換	0
11 *	わ→を→ん→ゎ→、→。→ー→␣(スペース)	ワ→ヲ→ン→ヮ→、→。→ー→␣(スペース)	※1	*
12 #	※2 逆方向へ入力	※2 逆方向へ入力	※2 逆方向へ入力	#

※ 1：全角英字の場合……。→／→：→ー→＿→～→＠→␣(スペース)
　　半角英字の場合……. → / → : → - → _ → ~ → @ →␣(スペース)

※ 2：文字入力変換中に文字を通り過ぎたときに、逆方向へ戻します。

● 最後の候補までいくと、次は最初の候補に戻ります。

● 文字入力モードが「全角記号」、「半角記号」のときには、入力したい記号を文字入力画面から選びます。

● インターネットを見ているときには、定型文を選ぶことができます。57

■ 入力した文字は、次のように表示されます。
- 入力中の文字：黄色背景
- 未確定の文字：白色背景
- 漢字変換候補選択中の文字：黒色背景
- 確定した文字：背景なし

● 漢字変換は単語ごとや短い文での変換をおすすめします。

● 漢字候補選択時に［戻る］を押せば、その文節を未変換状態に戻すことができます。

● データ放送番組視聴時の文字入力の場面では、ほとんどの場合、番組が指定する方法で文字を入力します。

文字の挿入や削除をするには

■ 文字を挿入する場合は▲･▼･◀･▶で文字を挿入したい場所を選び文字を入力する

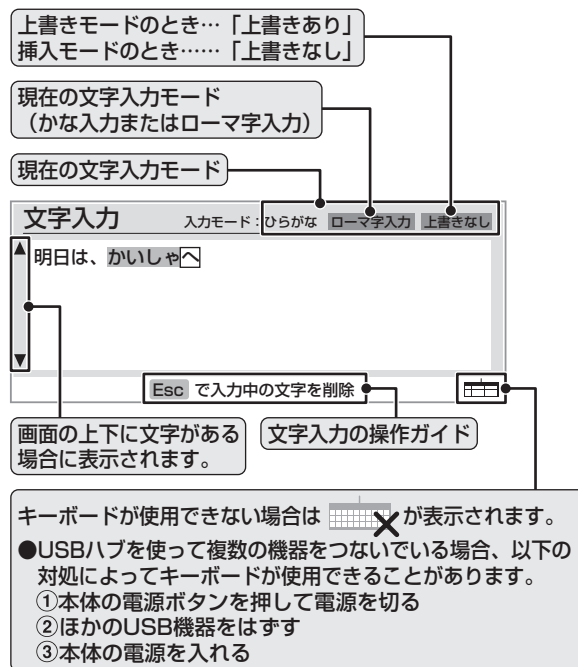
■ 文字を削除する場合は 削除/クイック を短く1回押す

- カーソルの右に文字がない場合は、カーソルより左の1文字を削除します。
- カーソルの右に文字がある場合は、カーソルより右の1文字を削除します。

■ 文字列が確定されている場合で削除ボタンを押し続けたとき

- カーソルより右に文字列がない場合は、カーソルより左の文字をすべて削除します。
- カーソルより右に文字列がある場合は、カーソルより右の文字をすべて削除します。

市販のUSBキーボードを使う

- 本機のUSB端子にキーボードをつなぐと、文字入力やいくつかの機能の操作をすることができます。
- 接続については準備編 56 をご覧ください。

❶ 日本語入力モードの切換え

- Alt と カタカナ/ひらがな/ローマ字 を同時に押すと、ローマ字入力とかな入力が切り換わります。

❷ 文字入力モードの選択

- 文字入力モードは次の四つから選びます。
  （ひらがな／カタカナ／全角英数／半角英数）
  ※キーボード入力では定型文モードは使用できません。
- モード間の切換えは以下のとおりです。

入力モードの切り換わり	押すキー
ひらがな⇔カタカナ	無変換
ひらがな⇔全角英数	Capslock 英数
全角英数⇔半角英数	Shift ＋ 無変換 （いっしょに押す）

❸ 文字の入力

- 漢字に変換するときは、ひらがなモードで入力してから、スペースキーで漢字に変換します。

- 本機で使用できるキーボードについては 105 をご覧ください。
- キーのイラストは一例です。キーボードによっては異なる場合があります。
- 本機で市販のキーボードを使う場合の動作について、詳しくは準備編 101 をご覧ください。

録画・予約をする

● 本機と録画機器をつないでデジタル放送を録画することができます。 録画中に他の放送やチャンネルを見ることもできます。

■ 使用できる録画機器

録画機器	録画の説明
ビデオ (VHSやDVDなど)	自動録画機能※1のあるビデオに、本機からの操作でデジタル放送の予約や録画ができます。 自動録画機能※1のないビデオの場合は、録画機器側で録画や予約の操作をしてください。 (※1「自動録画機能」……映像信号の入力を検出してビデオが自動録画する機能)
東芝RDシリーズ (東芝製ビデオレコーダー)	「テレビdeナビ予約」で放送を録画できます。「テレビdeナビ予約」には以下の２つの種類があります。 ■ 東芝RDアナログでの予約……本機のデジタル放送録画出力端子からの信号(テレビ放送のみ)を録画します。 ※ ハイビジョンでの録画はできません。 ■ 東芝RDデジタルでの予約……東芝RDシリーズで受信したデジタル放送(テレビ放送のみ)を録画します。(デジタルチューナーを内蔵した東芝RDシリーズでのみできます) 「東芝RDデジタルでの予約(録画)のご注意」39ページもご覧ください。
i.LINK接続した機器	i.LINK端子に接続したHDDビデオレコーダーやD-VHSビデオに録画できます。
LAN HDD	LAN端子に接続したLAN HDDに録画できます。 ※ DLNA認定サーバー (準備編66ページ)への録画はできません。
USB HDD	本機背面のUSB HDD専用端子に接続したUSB HDDに録画できます。
東芝レコーダー (HDMI連動機能対応機器)	東芝レコーダーで受信したデジタル放送(テレビ放送のみ)を録画します。 「HDMI連動機能対応東芝レコーダーでの予約(録画)のご注意」39ページもご覧ください。

■ 接続・設定と録画前の準備

録画機器	接続・設定	録画前の準備
ビデオ (VHSやDVDなど)	準備編 40ページ～41ページ	録画できるビデオテープやディスクを入れておきます。 自動録画機能については、ビデオの取扱説明書をお読みください。
東芝RDシリーズ (東芝製ビデオレコーダー)	準備編 42ページ～45ページ	**録画や予約の設定をする前に、東芝RDシリーズの電源を入れておきます。** (予約設定後は、電源を「待機」にしてもかまいません。) DVDに録画する場合……録画できるディスクを入れておきます。 HDDに録画する場合……残量と番組の記録数を確認し、不要な番組は削除してください。
i.LINK接続した機器	準備編 69ページ～70ページ 71ページ	i.LINK機器が本機からの入力と制御で動作する設定になっていることを確認します。 HDDビデオレコーダーに録画する場合は、残量と番組の記録数を確認し、不要な番組は削除しておきます。D-VHSに録画する場合はビデオテープを入れておきます。
LAN HDD	準備編 60ページ～62ページ 63ページ～68ページ	LAN HDDの電源を入れておきます。 残量と番組の記録数を確認し、不要な番組は削除しておきます。
USB HDD	準備編 57ページ～57ページ 58ページ～59ページ	USB HDDの電源を入れておきます。 残量と番組の記録数を確認し、不要な番組は削除しておきます。 ※録画予約をしてから録画が始まるまでの間にUSB HDDをつなぎ替えた場合は、予約開始時につないでいるUSB HDDに録画します。
東芝レコーダー (HDMI連動機能対応機器)	準備編 46ページ～47ページ 48ページ～50ページ	HDDの残量と番組の記録数を確認し、不要な番組は削除しておきます。 ※HDDにのみ録画予約できます。

● デジタル放送の録画予約をしてから録画が始まるまでの間は、本体の電源ボタンで電源を「切」にしたり、電源プラグを抜いたりしないでください。予約開始時刻までに電源を「入」にしても、正しく録画されない場合があります。(リモコンの電源で「待機」にすることはできます。)

● 地上アナログ放送、CATV放送、ビデオ入力端子等につないだ機器の映像・音声は、本機の録画・予約機能で録画することはできません。番組連動データ放送と独立データ放送はi.LINK端子につないだ機器にだけ録画できます。(地上アナログ放送は視聴予約だけできます)
● 録画予約(東芝RDデジタル、HDMI連動機能対応東芝レコーダーでの予約を除く)したペイ・パー・ビュー番組は、番組が始まった時点で購入され、うまく録画できなかった場合でも料金は請求されます。
● 万一本機の故障や受信障害などによって正常に録画・録音できなかった場合の内容や番組購入料金などの補償についてはご容赦ください。
● 予約できる番組数は、録画予約と視聴予約を合わせて32番組までです。
● 本体の電源ボタンで電源を切っている時には予約は実行されません。
● 録画機器がUSB HDDやLAN HDDの場合、録画予約実行中に停電が発生したり、電源プラグを抜いたりすると、録画予約は中止されます。
● デジタル放送録画出力端子を使って録画した場合、映像フォーマットは525iに、音声は2チャンネルに変換されます。(ハイビジョンでの録画はできません)また、字幕放送番組の字幕、番組連動データ放送のデータ、独立データ放送は録画できません。
● D-VHSビデオをVHSモードやS-VHSモードで使うときは、ビデオの場合と同じ接続・設定・準備をしてください。
● i.LINK機器やUSB HDD、LAN HDDに録画した番組を再生するには43ページ、48ページをご覧ください。

■ 録画・予約の種類

見ている番組を録画する	➡	29 (録画)
番組表で番組を指定して録画する	➡	30 (番組指定録画／予約)
視聴だけを予約する	➡	31、35 (視聴予約)

※ 右記もできます。　・日時を指定して予約する 35
・Eメールなどを利用して、外出先から録画予約する 33

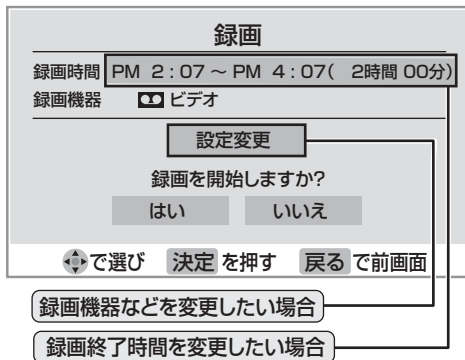
見ている番組を録画する(録画)

● 録画の概要と録画前の準備等については 28 をよくお読みください。

1 デジタル放送を見ているときに レグザリンク を押す

2 ▲·▼で「機器に録画する」を選び、決定を押す
● 録画できない番組の場合は選べません。

3 録画終了時刻・録画機器を確認する
● 録画終了時刻は、2時間後が設定されています。
変更するときは▲·▼で「録画時間」を選び 決定 を押して、◀·▶で「時」または「分」を選び、▲·▼で終了時刻を設定します。
設定できる時間は最大23時間59分です。

【ビデオに録画する場合】

4 録画機器の準備をする
● 前ページの２つめの表の「接続·設定と録画前の準備」をご覧ください。

5 ◀·▶で「録画する」を選び、決定を押す

HDMI連動機能対応東芝レコーダーの場合
● 録画設定の結果メッセージが表示されるまで、しばらくお待ちください。

LAN HDDのユーザー名とパスワード入力画面が表示されたとき
❶ ▲·▼·◀·▶で「ユーザー名」を選び、決定を押す
● 文字入力画面が表示されます。「文字入力をする」26 を参照して、ユーザー名を入力してください。

❷ 同様にして「パスワード」も入力する

❸ 次回の入力を省略したい場合は、▲·▼で「次回入力」の欄に移動し、◀·▶で「しない」を選ぶ

❹ ▲·▼·◀·▶で「入力完了」を選び、決定を押す
※ LAN HDD側でユーザー名やパスワードを変更した場合は、ユーザー名とパスワードの入力が必要になります。

■ 録画機器の欄に表示される内容

録画機器	表示される名称
ビデオ(VHSやDVDなど)に録画するとき	「ビデオ」 「ビデオ(ビデオ入力自動録画)」 ※右のお知らせをご覧ください。
i.LINK接続した機器に録画するとき	「i.LINK1：接続した機器の形名」など
LAN HDDに録画するとき	「LAN1：接続した機器の形名」など
USB HDDに録画するとき	「USB：接続した機器の形名」など
東芝RDシリーズに「テレビdeナビ予約」で録画するとき	「東芝RDアナログ」 (「東芝RDアナログでの予約(録画)」をする場合に選ぶ) 「東芝RDデジタル１～３」 (「東芝RDデジタルでの予約(録画)」をする場合に選ぶ)
HDMI連動機能に対応した東芝レコーダーに録画するとき	「HDMI1：接続した機器の形名」など

● ペイ・パー・ビュー番組は、録画できる番組であることを確認してから購入し、そのあとにレグザリンクの「機器に録画する」の操作をしてください。
● 複数のペイ・パー・ビュー番組を録画する場合は、番組が始まるたびに購入の操作をしないと録画されません。
● 録画機器側で設定した予約録画の待機中や録画中の場合は、それらが中止されたり、本機からの外部機器録画ができなかったりすることがあります。
● 本機からの録画中は本機の一部の操作が制限されます。録画機器側の制限についてはそれぞれの取扱説明書でご確認ください。
● レグザリンクの「機器に録画する」をしているときに予約録画の開始時刻になると、「録画」は中止されます。
● HDDビデオレコーダー（D-VHSビデオとみなされる機器を除く）で録画する場合は、番組ごとに分けて録画されます。
● 録画機器「ビデオ」を選んだ場合に画面に表示される名称は、「デジタル放送録画出力設定」(準備編 40)で以下のように設定した場合です。
・「ビデオ」：「通常出力」を選んだ場合
・「ビデオ(ビデオ入力自動録画)」：「ビデオ録画時出力」を選んだ場合

録画・予約をする つづき

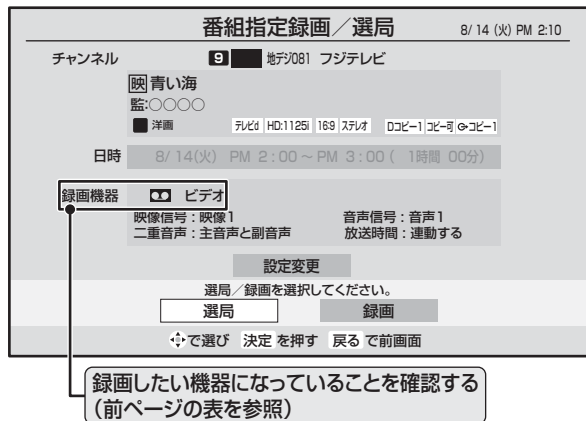
番組表から録画する（番組指定録画／選局）

● 録画の概要と録画前の準備等については 28 をよくお読みください。
※ 操作の途中でメッセージが表示された場合は、39 をご覧ください。

1 番組表 を押す
● 番組検索結果 15 からもできます。

2 ▲·▼·◀·▶ で録画したい番組を選び、決定 を押す

3 録画先などを確認する
● 録画先や設定を変更する場合は、▲·▼·◀·▶ で「設定変更」を選び、決定 を押して設定をします。36

【ビデオに録画する場合】

4 録画機器の準備をする
● 28 の2つめの表の「設定·接続と録画前の準備」をご覧ください。

5 ▲·▼·◀·▶ で「録画する」を選び、決定 を押す
※ 視聴制限やペイ・パー・ビューの画面が表示された場合は、画面の操作説明に従って操作してください。

LAN HDDのユーザー名とパスワード入力画面が表示されたとき

❶ ▲·▼·◀·▶ で「ユーザー名」を選び、決定 を押す
● 文字入力画面が表示されます。「文字入力をする」26 を参照して、ユーザー名を入力してください。

❷ 同様にして「パスワード」も入力する

❸ 次回の入力を省略したい場合は、▲·▼ で「次回入力」の欄に移動し、◀·▶ で「しない」を選ぶ

❹ ▲·▼·◀·▶ で「入力完了」を選び、決定 を押す
※ LAN HDD側でユーザー名やパスワードを変更した場合は、ユーザー名とパスワードの入力が必要になります。

番組表から予約する(番組指定予約)

● 録画の概要と録画前の準備等については 28 をよくお読みください。
※ 操作の途中でメッセージが表示された場合は、39 をご覧ください。

1 番組表 を押す

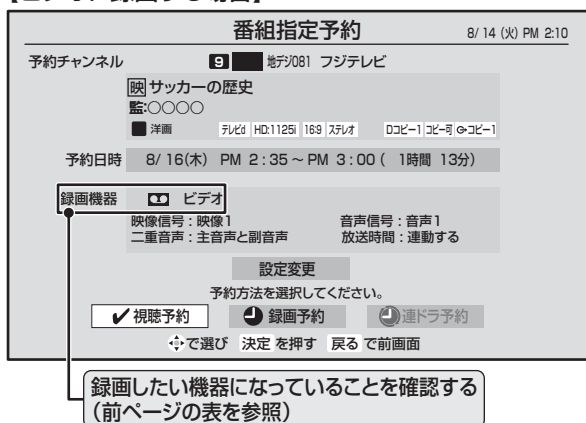
● 番組検索結果 15 からもできます。

2 ▲･▼･◀･▶ で録画したい番組を選び、決定 を押す

● **地上アナログ放送の番組は、視聴予約のみできます。**

3 録画先などを確認する

● 録画先や設定を変更する場合は、▲･▼･◀･▶ で「設定変更」を選び、決定 を押して設定をします。36

【ビデオに録画する場合】

4 ▲･▼･◀･▶ で「録画予約」「視聴予約」「連ドラ予約」「毎予約」のどれかを選び、決定 を押す

- **視聴予約**･･････････････ これから放送される番組の視聴だけをします。録画はされません。「視聴予約」の場合はこれで予約完了です。
- **録画予約**･･････････････ これから放送される番組を録画します。
- **連ドラ予約** ･･････････ ここで予約した番組を連ドラ予約します。連続ドラマなどを最終回まで録画する場合などに便利な機能です。
  ※録画先にLAN HDD、USB HDDを選んでいるときにだけ選択できます。
  ※次ページの詳しい説明をお読みください。
- **毎予約**･････････････････ 1回の予約で、同じ番組を毎回録画します。(「予約日時」を選ぶと、録画したい曜日や時間は変更することができます。)
  ※録画先にHDMI連動機能対応の東芝レコーダーを選んでいるときにだけ「連ドラ予約」のかわりに表示されます。
- **予約日時**･･････････････ 予約日を毎日や毎週に変更する場合は「はい」を選び、決定 を押したあと、35 の手順 **4** 以降を行います。

● 予約日時変更をした場合、以下のようになります。
- ペイ・パー・ビュー番組は購入されません。
- 視聴制限(準備編 93)は解除されません。
- 録画予約では放送時間連動の設定はできません。

LAN HDDのユーザー名とパスワード入力画面が表示されたとき

❶ ▲･▼･◀･▶ で「ユーザー名」を選び、決定 を押す
● 文字入力画面が表示されます。「文字入力をする」26 を参照して、ユーザー名を入力してください。

❷ 同様にして「パスワード」も入力する

❸ 次回の入力を省略したい場合は、▲･▼ で「次回入力」の欄に移動し、◀･▶ で「しない」を選ぶ

❹ ▲･▼･◀･▶ で「入力完了」を選び、決定 を押す

※ LAN HDD側でユーザー名やパスワードを変更した場合は、ユーザー名とパスワードの入力が必要になります。

5 決定 を押し、録画機器の準備をする

● 録画開始時刻前までに準備します。28 の2つめの表の「設定･接続と録画前の準備」をご覧ください。

次のページにつづく

● 視聴予約をした番組に切り換わるのは、本機の電源が「入」のときだけです。
ただし、レグザリンクの「機器に録画する」をしているときには、視聴予約は取り消されます。
● 予約した録画は本機の電源が「入」や「待機」のときだけ実行されます。「待機」だった場合は、録画が始まっても映像や音声は出ません。
● 地上デジタル放送で放送局の変更があった場合、予約どおりに動作しないことがあります。
● 複数の番組が連続して予約されているとき、番組の最後の部分が少し録画されないことがあります。
● 予約をした時間帯は番組表にピンク色の帯で表示されます。13 (東芝RDデジタル、東芝レコーダーは除く)
● 録画予約の「放送時間」が「連動する」に設定されている場合で、録画予約番組の放送時間が遅延・延長などで視聴予約の開始時刻と重なったときは、視聴予約が取り消されます。

録画・予約をする つづき

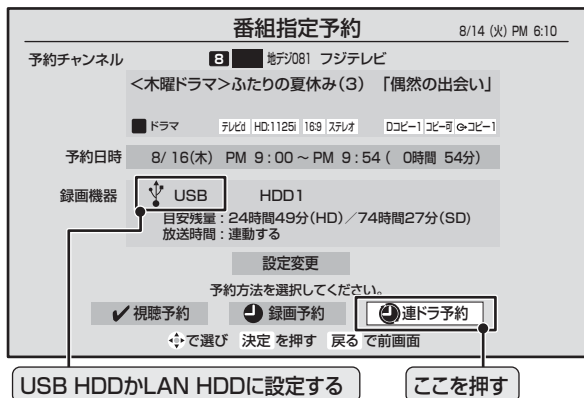
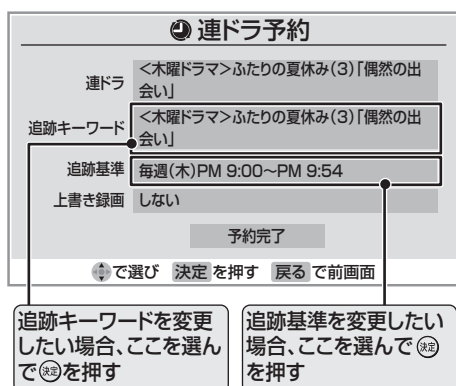
連ドラ予約を使う

● 「番組指定予約」画面で「連ドラ予約」ボタンを押すことで、「連ドラ予約」をすることができます。
※ 「連ドラ予約」は、録画機器がUSB HDD、LAN HDDのときに設定できます。

1 番組表 を押す
● 番組検索結果 15ページ からもできます。

2 ▲·▼·◀·▶ で連ドラ予約したい番組を選び、決定 を押す

3 録画先をUSB HDDかLAN HDDに設定し、▲·▼·◀·▶ で「連ドラ予約」を選び、決定 を押す
● 録画先を変更する場合は ▲·▼·◀·▶ で「設定変更」を選び、決定 を押して設定をします。36ページ

【USB HDDに録画する場合】

4 「連ドラ予約」画面で内容を確認し、「予約完了」を押す
● 「追跡基準」の「毎週(木)」など録画予約する曜日が正しく表示されているか確認してください。

「追跡キーワード」を変更する場合

● 追跡基準となるキーワードの内容を変更します。
❶ ▲·▼で「追跡キーワード」を選び、決定 を押す
● 文字入力画面が表示されます。文字の入力や削除の方法は 26ページ をご覧ください。

「追跡基準」を変更する場合

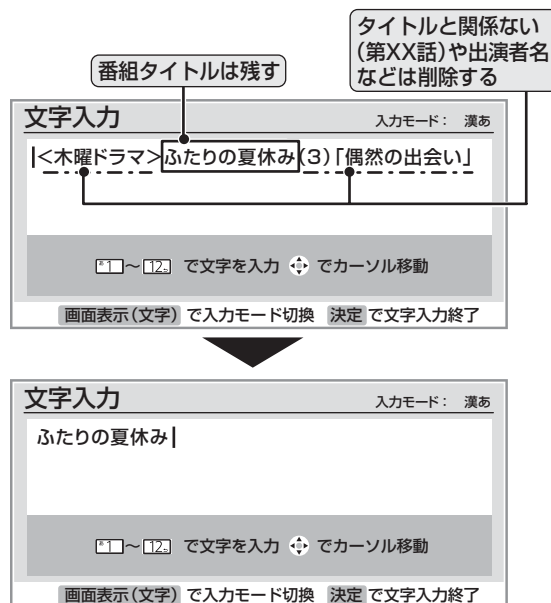
● 追跡基準となる曜日、時間を変更します。
❶ ◀·▶で設定する項目を選び、▲·▼で日時を設定する

5 決定 を押し、録画機器の準備をする
● 録画開始時刻前までに準備します。28ページ の2つめの表の「設定· 接続と録画前の準備」をご覧ください。

連ドラ予約をするときに…

「連ドラ予約」の動作について

● 「連ドラ予約」は、追跡基準(指定した番組の放送曜日と開始時刻)と、追跡キーワード(番組名などのキーワード)をもとに次回の番組を検索して自動的に録画予約をする機能です。
※ 録画する番組の検索は、手順 **4** などの画面に表示される追跡基準(開始時刻)の前後約2時間ずつについて行います。
● 追跡キーワードには「連ドラ予約」した番組の番組名、追跡基準には「連ドラ予約」した番組の放送日時が自動設定されます。
● より正確に「連ドラ予約」で録画予約をするために、手順 **4** で「追跡基準」の内容が正しく表示されているかを確認後、「追跡キーワード」の編集をされることをおすすめします。

「追跡キーワード」を編集する場合の例

● 電源を「入」にしてからしばらくの間は「連ドラ予約」できません。
● 連ドラ予約後に、番組情報が取得できなくなった場合は、追跡基準の日時で録画をします。
● 追跡キーワードに該当する番組が検出できなかった場合は録画されませんが、その場合に追跡基準の日時に録画をさせることもできます。87ページ の「録画予約の実行／実行停止をするには」を参照して予約が実行されるように設定してください。

Eメールで録画予約をする

- 外出先からEメールを使って、本機に録画予約をすることができます。
- 録画の概要と録画前の準備等については 28 をよくお読みください。
- 「LAN端子の接続(1)」(準備編 28)、「メール設定」(準備編 88)の「基本設定」、「メール録画予約設定」をしてください。

パソコンや携帯電話で予約する

- パソコン、携帯電話のどちらからでも録画予約できます。

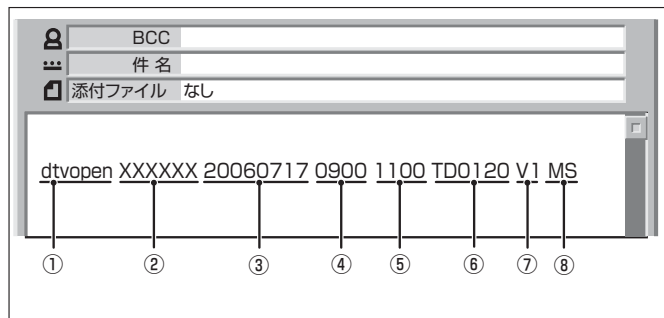
※ 本機が対応しているのはテキスト形式のメールのみです。HTML形式のメールには対応していません。(パソコンの場合)

- 録画機器を指定することもできます。
- 次ページの「メール録画予約の注意事項」をよくお読みください。

1 パソコンや携帯電話でメールを作成する

- メールの宛先は「メール設定」の「基本設定」(準備編 88)で登録したメールアドレスです。
- 本機で使用できるのは、POP3を使用しているメールのみです。
  - 件名は自由に入力してください。

  ※ **①～⑧はすべて半角文字で入力してください。また、各項目の間には半角スペースを入れてください。**

例)メール作成

① **識別コード**
- 「dtvopen」と入力します。(小文字)

② **パスワード**
- 「メール録画予約設定」(準備編 88)で登録した「メール予約パスワード」を入力します。

③ **録画日**
- 西暦(4ケタ)月日(4ケタ)を入力します。(1ケタの月日の場合は10の位に0を入れます)

④ **録画開始時刻**
- 00～23(時)に続けて00～59(分)を入力します。

⑤ **録画終了時刻**
- 00～23(時)に続けて00～59(分)を入力します。

お知らせ
- 「メール録画予約設定」の「予約アドレス登録」(準備編 88 、89)で、メール録画予約に使用するパソコンや携帯電話のメールアドレスをすべて登録しておいてください。
- 本機に録画予約するために送ったEメールを見ることはできません。

⑥ **録画チャンネル**
- 放送の種類を表す略号とチャンネル番号を次のように入力します。

❶ **放送の種類を表す略号を入力する**

放送の種類	略号
BSデジタル放送	BS
110度CSデジタル放送	CS
地上デジタル放送	TD

❷ **略号に続けてチャンネル番号を入力する**

■ **BSデジタル／ 110度CSデジタル放送の場合**
- 3ケタのチャンネル番号を入力します。
  例)BS103、CS001

■ **地上デジタル放送の場合**
- 通常の場合：3ケタチャンネル番号を入力します。
  例)チャンネル番号：011の場合…TD011

  ※ 枝番を指定する場合は、3ケタチャンネル番号と枝番を入力します。
  (上の例で、枝番が3の場合…TD0113)

⑦ **録画先機器**
- 録画先機器の略号と録画機器の番号を入力します。指定しない場合は、「メール録画予約設定」で登録した「録画機器」に録画します。

録画機器	略号と番号	説明
ビデオ(VHSやDVDなど)	V1	「デジタル放送録画出力設定」(準備編 40)の手順 **2** で設定したモードになります。
i.LINK機器(D-VHSビデオなど)	「i1」～「i8」	数字は、機器の登録(準備編 71)に表示される番号
LAN HDD	「L1」～「L8」	数字は、機器の登録(準備編 67)に表示される番号
USB HDD	U1	——

- LAN HDDのショートカットは指定できません。
- ユーザー名とパスワードの入力が必要なLAN HDDでは、以下のときのみメールでの録画予約ができます。
  - ユーザー名とパスワードを「次回入力しない」に設定しているとき 29
  - 「メール録画予約設定」でそのLAN HDDを録画機器として設定しているとき(準備編 89)。

⑧ **二重音声記録モード**
- ビデオに音声多重番組を録画する場合は、記録モードを略号で入力します。
  指定しない場合は主音声＋副音声になります。

記録モード	略号
主音声	M
副音声	S
主音声＋副音声	MS

録画・予約をする つづき

Eメールで録画予約をする つづき

パソコンや携帯電話で予約する つづき

「予約設定結果通知」を使用している場合

● 予約メールの送信後、しばらくすると、メールが送られてきます。「予約設定結果通知」の設定については、準備編 88、89 をご覧ください。

(1)「予約を登録しました。」のメールの場合

• これで予約が完了です。

(2)下表に補足説明が必要なものについて記載します。

返信メール内容	対処のしかた・他
予約を登録できませんでした。メールの書式が正しくありません。メールの書式を確認してください。	「パソコンや携帯電話でメールを作成する」を確認してください。(前ページ手順 **1**)
予約を登録できませんでした。本体で登録できる日時を越えています。	予約を登録できるのは6週間先まででです。
予約を登録できませんでした。指定されたチャンネルと録画設定では録画できません。	「パソコンや携帯電話でメールを作成する」を確認してください。(前ページ手順 **1**)
予約を登録できませんでした。指定された機器は録画機器ではありません。	録画機器を指定してください。
予約を登録できませんでした。本体側でエラーが発生しました。	停電や何らかの原因で本機の電源が切れた場合などが考えられます。

メール録画予約の注意事項

● パソコン側で自動的にメールサーバーからメールを受信してサーバー側のメールを削除するように設定している場合、本機で予約メールを受信する前に消えることがありますので、サーバーにコピーを残すなどの設定変更が必要です。
● 予約メールを送信するソフトによっては、自動的に改行されてしまうことがあります。その場合は、予約内容が正しく認識されません。
● メールサーバー内に極端に多くのメールがあると、予約メールを受信できない場合があります。
● 録画予約できるのは、予約メール1通につき1件です。
● 予約メールと同じ形式で始まるメールがあったとき、予約メールと判断して、パソコン側ではなく本機側で受信してしまう場合があります。
● 予約時に録画機器の状態(接続、テープの挿入、HDD残量)の確認は行われません。
● LAN HDDやUSB HDDの場合、録画予約で指定した機器の電源が切れている場合や機器を認識できない場合には、録画予約はできません。
● 録画予約で指定した機器の電源が切れている場合や、機器を認識できない場合は、録画予約はできません。
● メールのウイルス対策はされていません。
● 一度に受信可能な予約メールは15件です。残った予約メールは次回の予約メール受信時に処理されます。
● 予約メールは「POP3アクセス間隔」(準備編 88「基本設定」)で指定した時間ごとに、本機が受信します。
● 正しく設定されていることを確認するために、事前に試し録画を行い、正しく録画できることをお確かめください。

テレビサーフモバイルサービスで予約する(携帯電話だけでできます)

● テレビサーフモバイルサービスを利用することで、簡単な操作で携帯電話からメールでの録画予約ができます。
● 録画先は「メール録画予約設定」(準備編 89)で設定した機器になります。

準備

❶ **携帯電話で「t@tvsurf.jp」宛てにタイトルと本文なしのメールを送る**(メールを送れない場合は、本文に文字を入れてください。)

※ 対応する携帯電話のキャリアは、iモード、EZweb、Yahoo!ケータイです。
これらのキャリアであっても、携帯電話の機種や契約内容によっては使えない場合があります。
※ QRコード(下図)からメールの宛先を入手することもできます。

※ QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

❷ **会員登録ページのURLが記載されたメールが携帯電話に送られてくるので、メールの説明に従って登録をする**

❸ **会員登録が完了すると、録画予約用のURLが記載されたメールが携帯電話に送られてくるので、そのURLをブックマークに登録する**(携帯電話の「お気に入り」に登録する)

メール録画予約のしかた

❶ **携帯電話で録画予約用のURL(上の❸参照)にアクセスする**

はじめにトップページの「☆利用規約」、「☆退会」、「#.ヘルプ」、「ご注意」、「対象機種」のリンクをクリックして、それぞれの内容をお読みください。

❷ **「☆メール予約」をクリックし、画面の手順に従って録画予約をする**

● 録画予約できるのはBSデジタル、110度CSデジタル、地上デジタル放送だけです。
● 予約設定画面の「録画用メールアドレス」と「パスワード」は、「メール録画予約設定」(準備編 89)で設定したものを入力します。

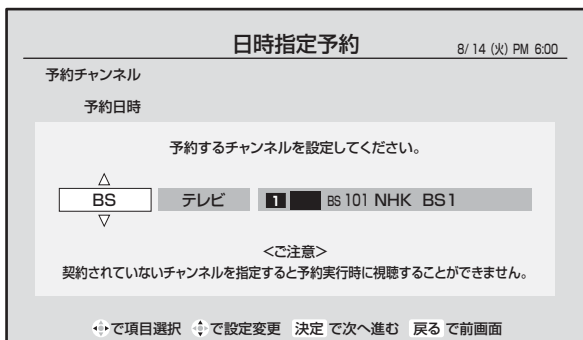
● テレビサーフモバイルは東芝が運営する携帯電話向けのテレビ録画予約サービスです。
● テレビサーフは株式会社東芝の商標です。
● iモードは株式会社NTTドコモの登録商標、EZwebはKDDI株式会社の商標、Yahoo!ケータイはソフトバンクモバイル株式会社の商標です。
● 別途インターネットサービスプロバイダーおよびインターネット回線業者との契約が必要です。
● テレビサーフモバイルのご利用には別途通信料が発生します。
● テレビサーフモバイルは携帯電話のみで利用可能です。
● テレビサーフモバイルについてのお問い合わせは、上の「準備」❷のメールに記載されているお問い合わせ先のアドレスまでお願いします。

日時を指定して予約する(日時指定予約)

● 録画の概要と録画前の準備等については 28 もよくお読みください。

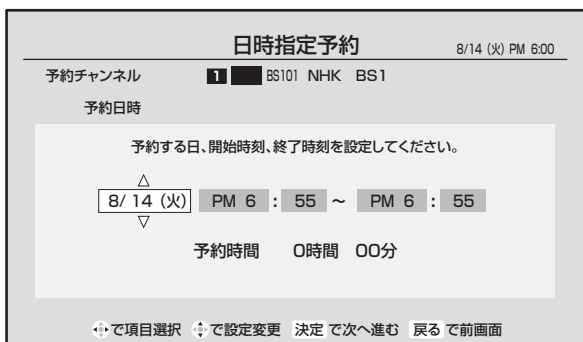
1 レグザリンク を押す

2 ▲·▼で「日時を指定して予約する」を選び、決定 を押す

3 録画するチャンネルを設定する

① ◀·▶で設定する項目を選び、▲·▼で内容を選ぶ

- 放送の種類 ：BS ／ CS ／地デジ／地アナ
  ※ 地アナの番組は、視聴予約のみできます。
- 放送メディア：テレビ／ラジオ(BS、110度CSのみ) ／データ
- チャンネル ：指定された放送の種類やメディアに該当するチャンネル

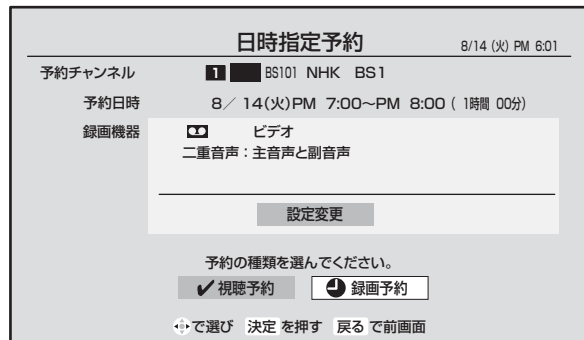
② 設定が終わったら 決定 を押す

4 録画する日時を設定する

① ◀·▶で設定する項目を選び、▲·▼で日時を設定する

- ● 日付は6週間先まで指定できます。「毎日」「月～木」「月～金」「月～土」「毎週(月)」～「毎週(日)」などの繰り返し録画も選べます。
- ● 設定できる時間は最大23時間59分です。

② 設定が終わったら 決定 を押す

5 録画先を画面で確認後、◀·▶で「録画予約」または「視聴予約」を選び、決定 を押す

- ● 録画先や設定を変更する場合は、◀·▶で「設定変更」を選び、決定 を押して設定をします。36
- ● 視聴予約を選んだ場合は、これで予約完了です。

6 録画機器を準備して、決定 を押す

- ● 28 の2つめの表の「設定· 接続と録画前の準備」をご覧ください。
- ● 予約を取り消す場合は、38 をご覧ください。

- ● 29 のお知らせもお読みください。
- ● 日時指定予約では、ペイ・パー・ビュー番組の購入はできません(視聴、録画はできません)。
- ● 東芝RDアナログでは、番組名や番組説明は録画時に記録されません。
- ● 日時指定予約では放送時間連動、映像信号、音声信号の変更設定はできません。映像、音声は基本のものだけが録画されます。

録画・予約をする つづき

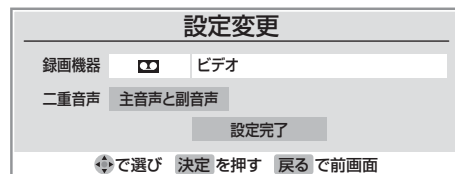
録画設定を変更する場合

● 29☞ 手順3、30☞、31☞ 手順 3、35☞ 手順 5 で、「設定変更」を選んだ場合に、設定を変更する方法について説明します。

1 設定する項目を▲·▼·◀·▶で選び決定を押し、▲·▼で内容を選んで決定を押す

● 設定する項目の内容は下表のとおりです。

2 ▲·▼·◀·▶で「設定完了」を選び、決定を押す

設定変更
録画機器 ビデオ
二重音声 主音声と副音声
設定完了
で選び 決定 を押す 戻る で前画面

※ その時の状況によっては、設定や変更できない項目があります。

ビデオ(VHSやDVDなど)に録画する場合

項 目	設定する内容	説 明
録画機器	ビデオ／ ビデオ（ビデオ入力自動録画）	「デジタル放送録画出力設定」（準備編 40☞）で設定した項目が表示されます。
映像信号	映像1/映像2/映像3など	日時指定予約の場合および、選択できる信号がない場合は設定できません。
音声信号	音声1/音声2/音声3など	
二重音声	主音声と副音声/ 主音声/副音声	二重音声については 23☞ をご覧ください。
放送時間	連動する/連動しない	下の「お知らせ」をご覧ください。

i.LINK機器に録画する場合

項 目	設定する内容	説 明
録画機器	i.LINK1/i.LINK2など	「i.1 ～ i.8」（準備編 71☞）に登録した録画可能な機器を選んでください。
放送時間	連動する/連動しない	下の「お知らせ」をご覧ください。

LAN HDDに録画する場合

項 目	設定する内容	説 明
録画機器	LAN1/LAN2など	録画先のLAN HDD（またはフォルダのショートカット）を選んでください。
放送時間	連動する/連動しない	下の「お知らせ」をご覧ください。
上書き録画	する/しない	•「連ドラ予約」を選んだときに設定できます。 • 番組指定予約の予約日時変更や日時指定予約で、「毎日」「毎週」「月～木」「月～金」「月～土」を指定したときに設定できます。

USB HDDに録画する場合

項 目	設定する内容	説 明
録画機器	USB	録画先のUSB HDDを選んでください。
放送時間	連動する/連動しない	下の「お知らせ」をご覧ください。
上書き録画	する/しない	•「連ドラ予約」を選んだときに設定できます。 • 番組指定予約の予約日時変更や日時指定予約で、「毎日」「毎週」「月～木」「月～金」「月～土」を指定したときに設定できます。

お知らせ

■ 放送時間連動について

● 放送局から番組遅延の情報が送信されていれば、最大3時間までの遅れに連動して録画をする機能です。（放送時間の繰上げには対応しません）
● 日時指定予約の場合は設定できません。
● ペイ・パー・ビュー番組はこの設定に関係なく、放送時間連動に対応します。
● ビデオやDVDで「ビデオ」（自動録画機能なしの場合）および「テレビdeナビ予約」の場合には、放送時間連動に対応できません。
● 放送時間連動の結果、ほかの予約と重なった場合の優先順については 38☞ をご覧ください。
● 放送時間の変更によって、予約した番組が録画できなかった場合の補償は一切できませんので、あらかじめご了承ください。

東芝RDシリーズに「テレビdeナビ予約」で録画するとき

項　目	設定する内容	説　明
録画機器	東芝RDアナログ／東芝RDデジタル1～3	録画予約の種類（機器）を選びます。
画質モード	TS/SP/LP/ MN1.4 ～ MN9.2	「TS」は、「東芝RDデジタル1 ～ 3」のときにだけ設定できます。 （機種によっては、「記録先」が「DVD」のときには「TS」に設定できない場合があります） 音質モードがL-PCMのときは、SP/LP/MN8.2以上は選択できません。
音質モード	M1/M2/L-PCM	画質モードがSP/LP/MN8.2以上のときは、L-PCMは選択できません。 （画質モードが「TS」のときは、音質モードの設定はできません）
DVD互換	切/入（主音声）/入（副音声）	音声多重番組の場合に、本機はこの設定に従った音声をビデオレコーダーに出力します。 DVD-Video作成を前提とする場合は、必ず「入（主音声）」または「入（副音声）」に設定します。 「切」に設定した場合は、音声多重番組のままVRモードで録画されます。
記録先	HDD/DVD	ビデオレコーダーの記録先を設定します。 （機種によっては、「画質モード」が「TS」のときには「DVD」に設定できない場合があります）
映像信号	映像1/映像2/映像3など	「東芝RDデジタル1 ～ 3」の場合や日時指定予約の場合、および選択できる信号がない場合は設定できません。
音声信号	音声1/音声2/音声3など	

HDMI連動機能に対応した東芝レコーダーで録画するとき

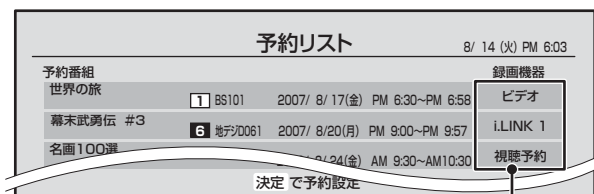
項　目	設定する内容	説　明
録画機器	HDMI1 機器名など	録画予約の種類（機器）を選びます。
※1 画質モード	録画機器の現在設定内容/ 録画機器の設定1 ～ 5/ TS/SP/LP/MN1.4～MN9.2	音質モードがL-PCMのときは、SP/LP/MN8.2以上は選択できません。
音質モード	M1/M2/L-PCM	画質モードがSP/LP/MN8.2以上のときは、L-PCMは選択できません。 （画質モードが「録画機器の現在設定内容」「録画機器の設定1 ～ 5」「TS」のときは、音質モードの設定はできません）
DVD 互換	切/入（主音声）/入（副音声）	音声多重番組の場合に、本機はこの設定に従った音声をビデオレコーダーに出力します。 DVD-Video作成を前提とする場合は、必ず「入（主音声）」または「入（副音声）」に設定します。 「切」に設定した場合は、音声多重番組のままVRモードで録画されます。
放送時間	連動する/連動しない	前ページの「お知らせ」をご覧ください。

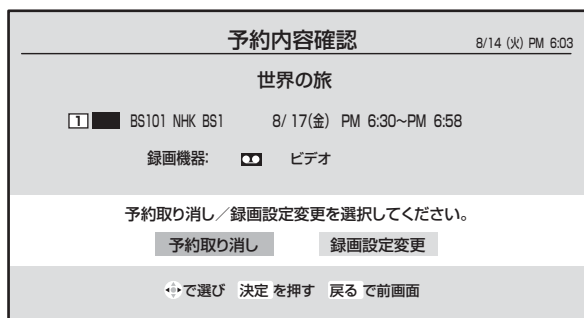
※1:「画質モード」の「現在設定内容」と「設定1 ～ 5」は、録画機器側で設定されている内容です。

録画・予約をする つづき

予約内容を確認する・予約を取り消す

※ビデオ（自動録画機能なし）や東芝RDシリーズの「テレビdeナビ予約」を使って予約した予約の場合、以下の操作で予約を取り消しても接続機器側の予約は、取り消されません。接続機器側でも予約を取り消してください。

1 クイック を押す

2 ▲・▼で「予約リスト」を選び、決定 を押す

3 ▲・▼で予約内容を見たい番組を選び、決定 を押す

■ **予約を取り消すには**

❶ ◀・▶で「予約取り消し」を選び、決定 を押す

❷ ◀・▶で「はい」を選び、決定 を押す

- 放送が始まっていないペイ・パー・ビュー番組の予約を取り消した場合は、購入されません。

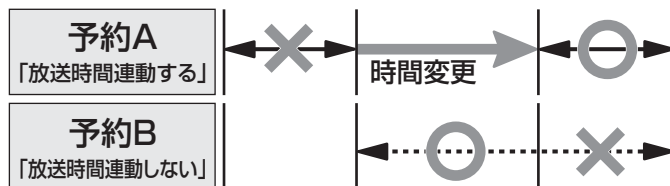
4 終わったら、終了 を押す

予約番組の優先順位について

- 予約した番組の放送時間が変更されて、他の予約番組と重なったときには、優先順位をつけて録画します。

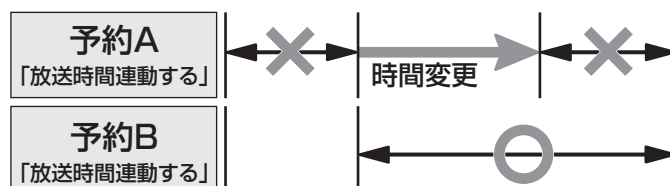
■ **「放送時間」を「連動する」に設定した予約番組と「連動しない」に設定した番組が重なった場合**

■ 「放送時間」を「連動する」に設定した番組が優先されます。

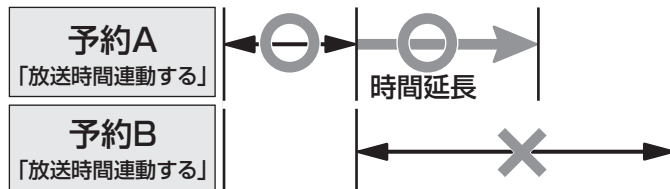
- 次の例では「放送時間」を「連動する」に設定していた予約Aが時間変更に対応したため、予約Aと重なった部分の予約Bは録画されません。

■ **「放送時間」を「連動する」に設定した複数の予約番組が重なった場合**

（1）開始時刻が変更された場合

■ 開始時刻の早い予約が優先されます。

- 次の例では「放送時間」を「連動する」に設定していた予約Aの開始時刻が変更になったため、録画開始時刻の早い予約Bが優先されます。予約Aは取り消されます。

（2）終了時刻が延長された場合

■ 先に予約を実行した番組の終了時刻が優先されます。

- 次の例では「放送時間」を「連動する」に設定していた予約Aの終了時刻が延長し時間変更に対応したため、先に予約を実行した予約Aが優先されます。予約Bは取り消されます。

（3）複数の予約番組の開始時刻が同じになった場合

■ 最初に予約設定した番組が優先されます。

- 二番目以降に設定した番組の予約は取り消されます。

■ 予約リストについて

- チャンネル番号の表示が「ーーー」となって、内容が薄く表示された予約は、「初期スキャン、再スキャン、自動スキャン」（準備編 73、74）などでチャンネルがなくなったために録画できないことを示します。
- 「東芝RDシリーズデジタル」と「HDMI連動機能対応東芝レコーダー」については、予約内容は予約リストに表示されません。（番組表にも予約アイコンは表示されません）予約内容の確認や予約の取り消しは接続機器側で行ってください。

■ **番組表画面で予約済み番組を選んだ場合にも、予約内容の確認や予約の取り消しなどができます。**

■ 優先順位で取り消された予約については、その旨を「本機に関するお知らせ」25 でお知らせします。

予約設定時にメッセージが表示された場合

● 予約設定時にメッセージが表示された場合に、予約を続けるための手順を説明します。

「予約数がいっぱいです。」が表示された場合

❶ ◀･▶で「はい」を選び、決定を押す
● 予約をやめる場合は、「いいえ」を選びます。

❷ 予約リスト画面で他の予約を取り消す
● 前ページ左側手順 **3** の操作で取り消します。

「他の予約と時間が重なっています。」が表示された場合

❶ ◀･▶で「はい」を選び、決定を押す
● 予約をやめる場合は、「いいえ」を選びます。

❷ 予約が重複している番組のリスト画面で、「はい」を選び、決定を押す
● 重複している予約がすべて取り消されます。

「ソフトウェアのダウンロード予約と時間が重なっています。」が表示された場合

❶ ◀･▶で「はい」を選び、決定を押す
● ダウンロード予約が取り消されます。
● 録画予約をやめる場合は、「いいえ」を選びます。
● ダウンロードについては、80 をご覧ください。

東芝RDデジタルでの予約(録画)のご注意

● 東芝RDシリーズ側で非契約のチャンネルの場合は、予約の設定はできますが番組は録画されません。
● ペイ・パー・ビュー番組の場合は、録画実行時に東芝RDシリーズでの番組購入の操作が必要です。
● 視聴制限のある番組の場合、東芝RDシリーズ側で視聴制限が解除されない場合には番組は録画されません。
● 放送時間連動には対応していません。

HDMI連動機能対応東芝レコーダーでの予約(録画)のご注意

● 東芝レコーダー側で非契約のチャンネルの場合は、予約の設定はできますが番組は録画されません。
● ペイ・パー・ビュー番組の場合は録画実行時に東芝レコーダーでの番組購入の操作が必要です。
● 視聴制限のある番組の場合、東芝レコーダー側で視聴制限が解除されない場合には番組は録画されません。

録画を停止したい場合

❶ リンクを押し▲･▼で「機器を選択する」を選び決定を押し、録画を停止したい機器を選び決定を押す

❷ リンクを押し「機器を操作する」内の「画面表示」を選び決定を押し、録画の状態を確認する

❸ 「ドライブ切換」または「W録切換」で停止したい録画を選び ■停止 を押す

❹ 録画停止確認画面で◀･▶で「はい」を選び、決定を押す

予約の動作について

● テレビを視聴中の予約の動作について説明します。

予約設定後

● 録画予約の場合は本体前面の「外部機器録画 予約(橙)」表示が点灯します。

▼

予約した番組放送が始まるとき

● 予約した番組の放送開始時刻近くになると、画面にメッセージが表示されます。予約を中止する場合は、終了を押します。
● 予約した番組の放送開始時刻になると、自動的に予約した番組のチャンネルに切り換わります。
● 録画予約の場合は、本体前面の「外部機器録画 実行(赤)」表示が点灯します。
● 視聴予約したペイ・パー・ビュー番組の開始時には、番組購入の画面が表示されますので、購入の操作をしてください。
● 視聴予約した視聴制限のある番組が始まるときには、視聴制限がある旨のメッセージが表示されます。決定を押したあと、暗証番号(準備編 94)を入力してください。

▼

予約した番組の放送中

● 録画予約した番組の録画中に操作できないボタンを押すと、「録画実行中です。もう一度終了を押すと録画を中止します。」が表示されます。

録画を中止したいとき

❶ 終了を押し、メッセージが表示されている間に、もう一度終了を押す
● ビデオやDVDに「ビデオ(コントロールなし)」で録画している場合や、東芝RDアナログで録画している場合は、上記の操作をしても録画機器側の録画は中止されません。録画機器側でも録画中止の操作をしてください。

▼

予約した番組の放送終了時

● 予約した動作を終了し、本機を通常どおり使用できます。
● 録画予約した番組の録画が終了した場合は、本体前面の「外部機器録画 実行(赤)」表示が消えます。ただし、ほかにも録画予約がある場合は、「外部機器録画 予約(橙)」表示は点灯したままです。

レグザリンクを使う～レグザリンクとは～

はじめに

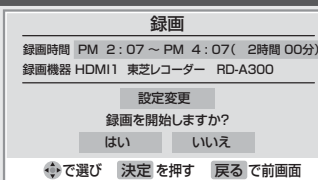
■ レグザリンクとは…

● 本機に録画機器や再生機器、東芝製パソコン、AVアンプ、デジカメなどを接続して、便利に使う機能です。
※ HDMI連動機能対応機器や、東芝RDシリーズ(アナログ・デジタル)、USB HDD、LAN HDD、i.LINK機器を本機に接続して使用する場合には、設定が必要です。(準備編 43、45、48、58、67、71)

■ HDMI 連動機能について…

● 本機の HDMI 連動機能では、HDMI で規格化されている HDMI CEC(Consumer Electronics Control)を利用し、機器間で連動した操作をすることができます。
● 本機と東芝製の HDMI 連動機能対応機器(レコーダー、パソコンなど)を HDMI ケーブルでつなぐことで利用できます。また、東芝推奨の AV アンプなどでも利用することができ、それらの接続機器を本機のリモコンで操作することができます。(機器の接続方法や推奨機器については準備編 46 をご覧ください)
● 推奨機器以外の機器を HDMI 接続した場合に HDMI 連動機能対応機器と認識し、一部の連動操作ができることがありますが、その動作については保証の対象ではありません。
● 推奨機器であっても、機器によっては一部の連動操作ができない場合があります。
● HDMI 連動機能対応機器の接続、設定を変更した場合は以下の操作をしてください。
・接続機器の電源をすべて「入」の状態にして、本機の電源を入れ直してください。
・すべての接続機器の動作を確認してください。
※機器に割り振られる番号は接続形態によって変化する場合があります。
● HDMI 連動機能を使うには、接続機器それぞれの設定が必要です。詳しくは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。

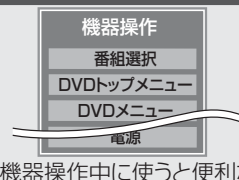
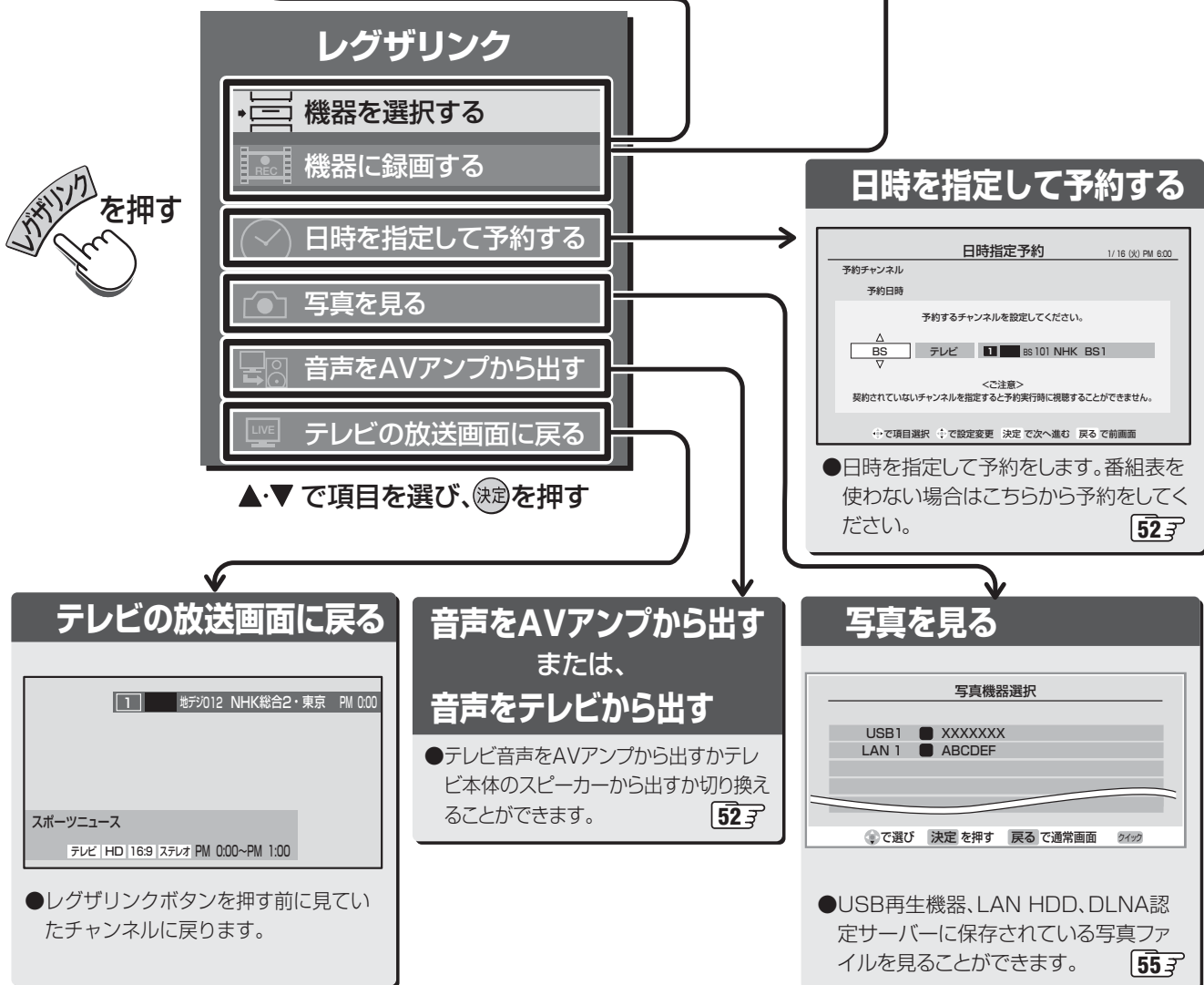
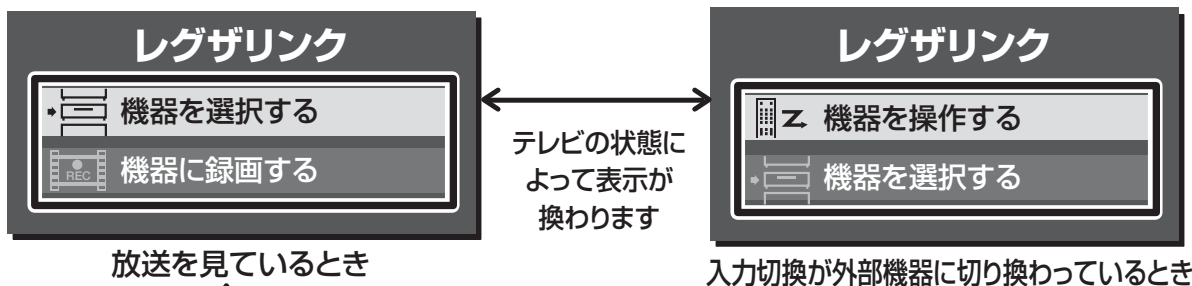
■ ワンタッチプレイについて(HDMI 連動機能対応機器のみ)

● HDMI連動機能に対応した機器を操作すると、機器に連動してテレビの電源がはいり、操作した機器に合わせて入力が切り換わります。
※「レグザリンク設定」内「HDMI連動設定」の「HDMI連動機能」を「使用する」、「連動機器→テレビ入力切換」を「連動する」に設定しておくことが必要です。(準備編 48)
※ 本機能は、東芝レコーダー RD-A600 ／ RD-A300では対応していません。

■ システムスタンバイについて(HDMI 連動機能対応機器のみ)

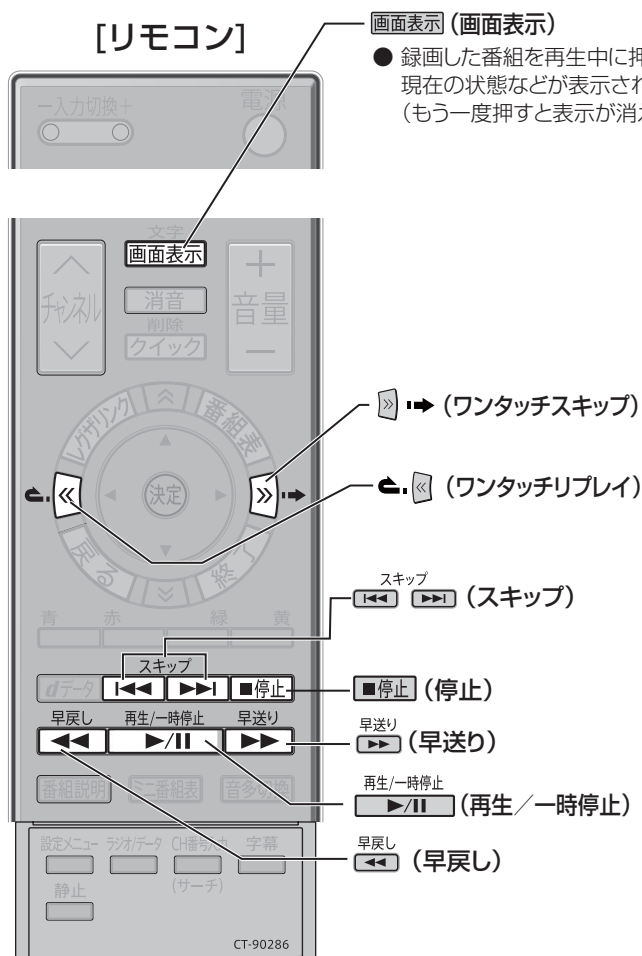
● テレビの電源を「待機」にすると、HDMI連動機能に対応した機器も同時に電源を「待機」にします。
また、接続機器側がシステムスタンバイに対応している場合、接続機器の電源を「待機」にすると、本機の電源を「待機」にすることもできます。
次の操作をすると、テレビからのシステムスタンバイが働きます。
• テレビリモコンの「電源ボタン」を押したとき
• オフタイマーの設定終了時刻が過ぎたとき 25
• 「省エネ設定」の無信号オフ機能が働いたとき 79

※ 本機からのシステムスタンバイは、「レグザリンク設定」内「HDMI連動設定」の「HDMI連動機能」を「使用する」、「テレビ→連動機器電源オフ」を「連動する」に設定しておくことが必要です。(準備編 48)
※ 接続機器からのシステムスタンバイは、「レグザリンク設定」内「HDMI連動設定」の「HDMI連動機能」を「使用する」、「連動機器→テレビ電源」を「連動する」に設定しておくことが必要です。(準備編 48)
※ 本機能は、東芝レコーダー RD-A600 ／ RD-A300では対応していません。

レグザリンクのメニューについて

● レグザリンク を押すと、以下の機能が表示されます。
下図は、レグザリンクメニューの内容を説明したものです。詳しい操作については、各ページを参照してください。

レグザリンクを使う～番組再生～

録画リストの基本操作～リモコンの操作～

● 番組を再生中にリモコンのボタンで操作ができます。

● 降雨対応放送中の番組を録画した場合、早送り再生や早戻し再生の映像は正しく表示できません。
● データ放送を録画した場合、録画した内容によっては再生できないことがあります。

■ 追っかけ再生について（43ﾃﾞ）
● 「追っかけ再生」をする場合は、録画リストから録画中の番組を選んで決定を押します。
● 追っかけ再生時に、早送りなどで現在録画中の場面まで進むと、録画機器によっては追っかけ再生を停止する機器があります。このような機能は、録画機器によって動作が異なります。
● 録画を開始してから追っかけ再生ができるようになるまでに、数分間かかる場合があります。
● 汎用LAN端子につないだLAN HDDでは、追っかけ再生ができない場合があります。
● 追っかけ再生中の早送り／早戻し再生などの特殊再生機能は、正しく動作しないことがあります。

■ 頭出し再生について
● 頭出し再生の順番は録画リストの古い番組順になります。

■ DLNA認定サーバー（準備編 66ﾃﾞ）について
● DLNA認定サーバーによっては、「再生」と「再生停止」しかできない場合があります。また、再生時間表示などが表示されない場合があります。

■ D-VHSについて
● HDDビデオレコーダーをD-VHSモードで使用している場合は、正しく動作しないことがあります。また、リモコンボタンによる動作は、一般のD-VHS機器と異なる場合があります。
● データ放送の録画番組を再生しているときに一時停止にすると、映像が消えます。
● 番組連動データ番組を再生中に一時停止にする場合は、クイックを押して「その他の操作」から「データ放送終了」でデータ放送を終了してください。
● データ放送の録画番組を再生しているときに画面に従って操作をすると、現在のデータ放送チャンネルに飛ぶことがあります。

ボタン	i.LINK機器		USB HDD、LAN HDD、DLNA認定サーバーの動作
	HDDビデオレコーダーの動作	D-VHSビデオの動作	
再生/一時停止 ▶/II（再生／一時停止）	再生します。 再生中に押すと一時停止します。	再生します。 再生中に押すと一時停止します。	再生します。 再生中に押すと一時停止します。 放送を見ているときに押すと、最後に見ていた番組を再生します。（DLNA認定サーバーを除く）
■停止（停止）	停止します。	停止します。	停止します。 再生を始める前に選択していたチャンネルまたは入力に戻ります。
早送り ▶▶	早送り再生をします。（押すごとに速さが変わります。）	早送りします。	HDDビデオレコーダーと同様。
早戻し ◀◀	早戻し再生をします。（押すごとに速さが変わります。）	巻戻します。	HDDビデオレコーダーと同様。
»（ワンタッチスキップ）	再生中に押すと、30秒ほど先に進んで再生します。 （スキップする時間は、「ワンタッチスキップ設定」準備編 80ﾃﾞ で変更できます。）	――――	HDDビデオレコーダーと同様。
«（ワンタッチリプレイ）	再生中に押すと、10秒ほど戻って再生します。 （リプレイする時間は、「ワンタッチリプレイ設定」準備編 80ﾃﾞ で変更できます。）	――――	HDDビデオレコーダーと同様。
スキップ ▶▶I	一つ先に進んで頭出し再生します。	一つ先に進んで頭出しします。	HDDビデオレコーダーと同様。
スキップ I◀◀	前に戻って頭出し再生します。 （再生してから5秒以内の場合は、前の番組の先頭に戻ります。）	前に戻って頭出しします。	HDDビデオレコーダーと同様。

●放送を見ているときに、再生/一時停止 ▶/II でUSB HDD、LAN HDDに録画した番組を再生しても何も再生されない場合は、録画リストから再生したい番組を選びなおしてください。

● 接続・設定については準備編 57 ～ 68 をご覧ください。
● つないだ機器の取扱説明書もよくお読みください。
● USB HDD、LAN HDDの場合は、あらかじめ電源を入れておいてください。
● DLNA認定サーバーを使用する場合は、準備編 66 もご覧ください。

録画リストの基本操作～ USB HDDやLAN HDDに録画した番組を見る～

1 (レグザリンク)を押す

2 ▲·▼で「機器を選択する」を選び、(決定)を押す
- 「機器選択」画面が表示されます。
- ※ 録画機器が一台しか接続されていない場合は、録画リストが表示されます。(下の図)

3 ▲·▼で機器を選び、(決定)を押す
- 録画リストが表示されます。(下の図)
- LAN HDDを選んだ場合で、LAN HDDにアクセスするためのユーザー名とパスワードの入力画面が表示された場合は、29 をご覧ください。

4 ▲·▼で見たい番組を選ぶ
- 選んでいる番組の情報を見るには、番組説明 を押します。18

5 (決定)を押す
- 選んだ番組の再生が始まります。
  ※ 再生されるまでに時間がかかる場合があります。
- 「録画中」の番組を選ぶと、録画している番組を再生します。(これを「追っかけ再生」と呼びます)たとえば、録画予約中に帰宅したとき、録画予約が終了するまで待たずに再生することができます。(汎用LAN端子につないだLAN HDDでは、追っかけ再生ができない場合があります)
- 停止、早送り、早戻しなどの操作はリモコンのボタンで行います。42

■ 録画リストについて・他
- 録画開始した直後の番組は、録画リストには表示されません。録画リストを終了し、録画開始から数分後にもう一度録画リストを表示すると、録画中の番組が録画リストに表示されます。
- 録画リストでは、録画番組の削除やロックなどもできます。45
- 録画リストに表示できる最大数は、USB HDDとLAN HDDではフォルダ数と番組数を合わせて1000までです。これを超えた機器では正しく動作しないことがあります。最大数は機器によっても制限されることがありますので、各機器の取扱説明書でご確認ください。
- LAN HDDに録画した番組をパソコンなどで編集すると、録画リストに表示されない場合があります。
- 地上デジタル放送のチャンネル番号などは、本機のチャンネル設定が変更された場合や、本機以外の操作で録画した番組の場合には、録画リストに正しく表示されないことがあります。

■ 接続機器について
- 「機器(メディア)にアクセスできません。」が表示された場合は、機器の電源がはいっているか、正しく接続されているかなどを確認してください。LAN HDDの場合は、HDDの名前や共有フォルダの名前が変更されたとき、共有フォルダが削除されたときなどにもアクセスできなくなります。
- 汎用LAN端子につないだHDDで録画・再生する場合、他のネットワーク機器の動作状態によっては、録画や再生(追っかけ再生も含む)ができないことがあります。
- DLNA認定サーバーを使用する場合は、準備編 66 のお知らせもご覧ください。

● 番組放送時間などは送信側の情報によっては正しく表示されない場合があります。

レグザリンクを使う～番組再生～ つづき

録画リストの基本操作～ USB HDDやLAN HDDに録画した番組を見る～ つづき

機器操作中にはこんなこともできます!

録画リストを表示する

● 録画リストを表示します。

❶ 機器操作中に、(レグザリンク) を押す

❷ ▲·▼で「機器を操作する」を選び、(決定)を押す

❸ ▲·▼で「録画リスト」を選び、(決定)を押す

機器選択画面ではこんなこともできます!

機器の情報を見る

❶ 機器選択画面で情報を見たい機器を選び クイック を押す

❷ ▲·▼で「機器の情報」を選び(決定)を押す

- 登録名、機器名などが表示されます。
- 情報を確認後(決定)を押します

名前の変更(LAN HDDのみ)

❶ 機器選択画面で名前を変更したいショートカットを選び クイック を押す

❷ ▲·▼で「名前の変更」を選び(決定)を押す

- 半角30文字以内の名前がつけられます。
- 文字入力のしかたは、26☞ をご覧ください。

ショートカット削除(LAN HDDのみ)

❶ 機器選択画面で削除したいショートカットを選び クイック を押す

❷ ▲·▼で「ショートカット削除」を選び(決定)を押す

❸ ◀·▶で「はい」を選び、(決定)を押す

※録画予約が設定されているショートカットは削除できません。(メッセージが表示されます)

録画リストではこんなこともできます!

表示のしかたを変える

● 録画リストを「すべて表示」から「曜日別」や「ジャンル別」、「連ドラグループ別」に切り換えることができます。

❶ 録画リスト画面で«·» を押す

※ DLNA認定サーバーでは「すべて表示」「曜日別」が切り換えられます。

● **すべて表示** ：すべての録画番組を表示します。

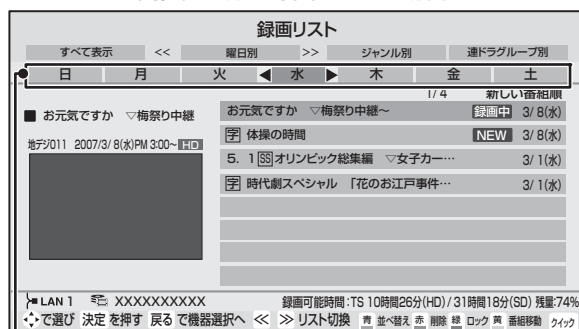
● **曜日別** ：録画した曜日ごとに表示します。

● **ジャンル別** ：ドラマや映画などのジャンルごとに表示します。
※番組情報がない場合は「その他」に分類されます。

● **連ドラグループ別** ：「連ドラ予約」32☞の予約ごとに表示します。
※「連ドラ予約」で録画した番組がない場合は選べません。

❷ 表示したい曜日や項目などのタブを◀·▶で選ぶ

※「すべて表示」以外は、タブが表示されます。

例)曜日別の録画リストの場合

曜日別の場合は、曜日のダブを選んでください。
※表示モードや録画内容によって画面は変わります。

■ 録画リストの表示について

● フォルダは「すべて表示」のときにだけ、表示されます。

● 「ジャンル別」は、そのときに録画リストに表示されている番組だけが分類の対象です。

● DLNA認定サーバー（準備編66）の場合は、カラーボタンでの操作できません。

■ 録画番組やフォルダを並べ替える

❶録画リスト画面で、青を押す

● 青を押すたびに「新しい番組順」⇔「古い番組順」と交互に切り換わります。

■ 録画番組やフォルダを削除する

● USB HDDやLAN HDDの録画番組またはフォルダを削除することができます。

■ ひとつの番組を削除する

❶削除したい番組を▲·▼で選び、赤を押す

❷確認画面で、「はい」を◀·▶で選び、決定を押す

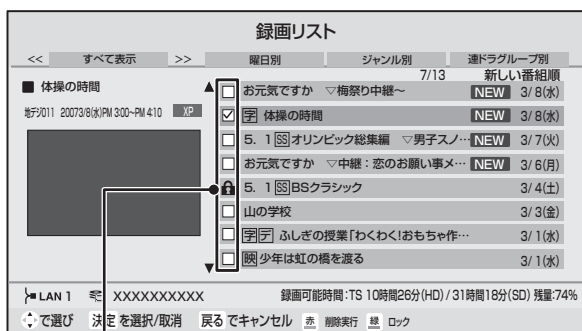
※ 削除中は操作しないでください。

❸「削除を完了しました。」が表示されたら、決定を押す

■ 複数の番組を削除する

❶録画リスト画面で、赤を押す

❷「選択削除画面へ」を◀·▶で選び、決定を押す

● 番組名の前にチェックボックスが表示されます。

❸削除したい番組を▲·▼で選び、決定を押す

● 決定を押すたびに☑⇔□に切り換わります。

● 手順❷の画面では、以下もできます。

• ロックを解除したい場合は、ロックされている番組を選んで緑を押します。

❹赤を押す

❺確認画面で、「はい」を◀·▶で選び、決定を押す

※ 削除中は操作しないでください。

❻「削除を完了しました。」が表示されたら、決定を押す

■ 録画番組をロックする

● ロックは、録画した番組が削除されないようにする機能です。

※ **録画中は、ロックできません。**

❶録画リスト画面で、ロックしたい番組を▲·▼で選び、緑を押す

● 緑を押すたびにロック⇔解除と交互に切り換わります。

● ロックした番組にはアイコン「🔒」がつき、削除や移動、番組名の変更はできなくなります。

■ 録画番組を移動する

● USB HDDやLAN HDDに録画した番組を移動することができます。

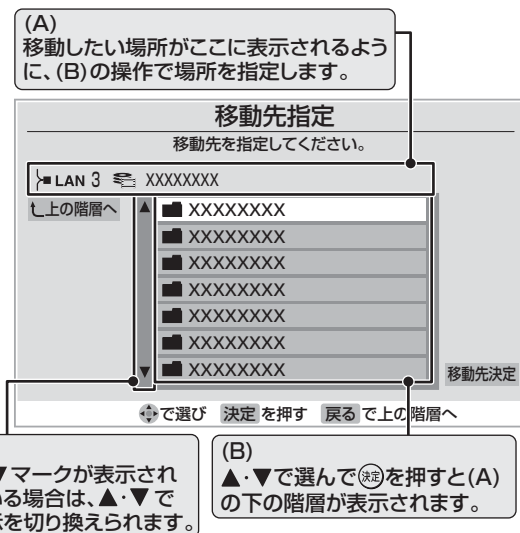
※ 録画中には移動できません。

❶移動したい番組を▲·▼で選び、黄を押す

❷▲·▼で「移動先」を選び、決定を押す

❸(A)に移動先を指定する

● 上の階層に移動したいときは、▲·▼·◀·▶で「上の階層へ」を選んで決定を押します。

● 移動先にしたい場所を▲·▼で(B)から選んで決定を押します。(A)に希望の場所が表示されるまでこれを繰り返します。

❹(A)に移動先が表示されたら、▲·▼·◀·▶で「移動先決定」を選び、決定を押す

❺以下の操作をする

次のページにつづく

レグザリンクを使う

■ 録画の削除について

● ごみ箱機能のあるLAN HDDでは、削除したファイルはゴミ箱フォルダの中に移動します。ファイルを完全に削除したい場合は、ゴミ箱の中を空にして（削除して）ください。

■ 番組のロックについて

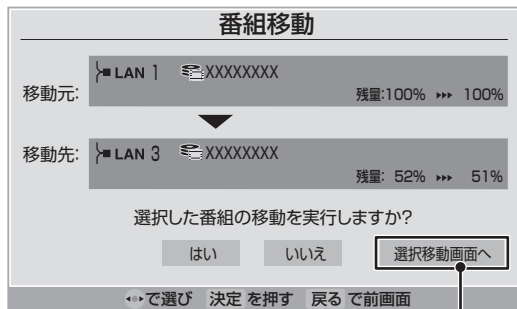
● 機器によってはロックできない場合があります。機器の取扱説明書をご覧ください。

レグザリンクを使う～番組再生～ つづき

録画リストの基本操作～ USB HDDやLAN HDDに録画した番組を見る～ つづき

録画リストではこんなこともできます！ つづき

■ 選んだ番組だけを移動する場合

①確認画面で、「はい」を◀･▶で選び、決定を押す
※番組の移動中は操作しないでください。

■ 複数の番組を移動する場合

①確認画面で、「選択移動画面へ」を◀･▶で選び、決定を押す

②「録画リスト」で移動したい番組を▲･▼で選び、決定を押す
- 決定を押すたびに☑⇔□に切り換わります。
- ロックを解除したい場合は、ロックされている番組を選んで緑を押します。

③移動したい番組をすべて選んで黄を押す

④確認画面で、「はい」を◀･▶で選び、決定を押す
※番組の移動中は操作しないでください。
※番組の移動中は本体前面の「録画中(赤)」表示が点灯します。

■ 移動を中止するには

❶リモコンの終了を押す

❷メッセージが表示されている間に、もう一度終了を押す

■ 録画番組を検索する

- ジャンル、キーワードなどの検索条件を指定して番組を検索できます。
※ USB HDDやLAN HDDでは録画中の検索はできません。

❶録画リスト画面で、クイックを押し、▲･▼で「録画番組検索へ」を選び、決定を押す
- 検索画面が表示されます。

❷▲･▼で「ジャンル」、「キーワード」を選び、決定を押す
- 選びかたは14 ❶、❷の手順で操作してください。
※ ジャンル、キーワードのどちらかは必ず指定してください。

❸日付を指定するときは、以下をする
① ▲･▼で「日付」を選び、決定を押す
② 日付指定画面で、指定する日付を▲･▼･◀･▶で選び、決定を押す
※ 画面の左端の項目を「指定する」にしたときに、検索開始日と終了日を指定できます。

❹チャンネルを指定するときは、以下をする
① ▲･▼で「チャンネル」を選び、決定を押す
② チャンネル指定画面で、◀･▶で指定する項目、▲･▼で指定する内容を選ぶ
- 放送の種類 ：地デジ／ BS ／ CS ／すべて
- 放送メディア ：テレビ／ラジオ／データ／すべて
- チャンネル ：すべて／上記の受信可能なチャンネル

③ 指定が終わったら、決定を押す

❺検索場所を指定するときは、以下をする
- USB HDD、LAN HDDの場合は、検索する場所(フォルダ)を指定することができます

① ▲･▼で「検索場所」を選び、決定を押す
② ▲･▼･◀･▶で「フォルダ」を選び、決定を押す
- 選んだフォルダの下の階層のフォルダ一覧が表示されます
- 上の階層に移動する場合は、「上の階層へ」を選び、を押してください。

③ 手順①、②の操作を繰り返して検索するフォルダを選ぶ
④ ▲･▼･◀･▶で「この中を検索」を選び、決定を押す

❻▲･▼･◀･▶で「検索開始」を選び、決定を押す
- 検索にはしばらく時間がかかります。

❼検索結果が表示されたら、▲･▼で番組を選ぶ
- 選んでいる番組の説明を見るには、番組説明を押します。18

❽決定を押す
- 選んだ番組の再生が始まります。
- 再生中に早送りなどの操作をしたいときは、リモコンで操作してください。42
- スキップ順やロックリピート順は、検索結果画面の古い順になります。

■ 番組の移動について
- 同一機器内のフォルダ間で移動をする場合は、状況をあらわすバーが表示されない場合があります。

リピート再生設定

● リピート再生やロックリピート再生の設定をします。

❶録画リスト画面で、クイックを押す

❷▲·▼で「リピート再生設定」を選び、決定を押す

❸▲·▼で設定項目を選び、決定を押す

● リピートオフ　：通常の再生をします。
● リピート再生　：一つの番組を繰り返して再生します。
● ロックリピート再生　：ロックしている番組を順次再生します。再生される順番は録画リスト43の古い番組順になります。

• ロックについては43、45をご覧ください。

※ 設定した「リピート再生」、「ロックリピート再生」のアイコンは、録画した番組を再生した際に、カウンター表示で確認できます。

※ 録画中の番組は、リピート再生できません。

フォルダ作成(DLNA認定サーバーにはありません)

● 新しいフォルダを作成します。
※ 録画中にフォルダの作成はできません。

❶クイックを押し、▲·▼で「フォルダ作成」を選び、決定を押す

❷文字入力画面でフォルダの名前を入力する

● 入力できない文字は、半角カタカナと¥/:*?<>¦$@,”などです。
● 文字入力のしかたは、26をご覧ください。

ショートカット作成(USB HDD、DLNA認定サーバーにはありません)

● ショートカットを作成することができます。
※ 録画中にショートカットの作成はできません。

※ ショートカットとは、録画番組が保存されているLAN HDDの場所(フォルダ)への入り口です。

❶ショートカットを作りたいフォルダを▲·▼で選び、クイックを押す

❷▲·▼で「ショートカット作成」を選び、決定を押す

● ショートカットが「機器選択」画面に作成されます。作成できる数は最大16個です。

❸ショートカットの作成が完了したら、決定を押す

名前の変更(DLNA認定サーバーにはありません)

● フォルダの名前を変更することができます。
※ 録画中に名前の変更はできません。

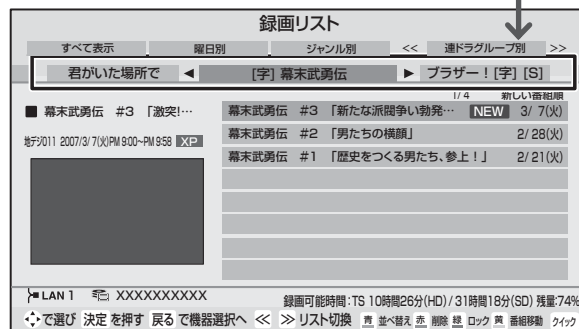
❶名前を変更したいフォルダを▲·▼で選び、クイックを押す

❷▲·▼で「名前の変更」を選び、決定を押し、新しい名前をつける

● 入力できない文字は、半角カタカナと¥/:*?<>¦$@,”などです。
● 文字入力のしかたは、26をご覧ください。

連ドラグループ名の変更(DLNA認定サーバーにはありません)

● 録画リストの表示モードを「連ドラグループ別」44にした場合に、連ドラグループのタブ名を変更することができます。
● ここで名前を変更すると、予約リストの予約番組名も同じ名前に変更されます。
● 番組の録画中は、名前の変更はできません。

❶「連ドラグループ別」の録画リスト画面で、名前を変更したいタブを◀·▶で選ぶ

❷クイックを押す

❸▲·▼で「連ドラグループ名の変更」を選び、決定を押す

❹文字入力画面で連ドラグループのタブ名を変更する

● 文字入力のしかたは26をご覧ください。
● 半角カタカナは入力できません。

レグザリンクを使う

■ ロックリピート再生について
● ロックリピート再生をする際は、再生の切り換わりに、まれに音がひずむことがあります。
● 頭出し再生は、ロックリピート再生時であっても全番組が頭出し再生の対象となります。
● ロックしていない番組を選んだ場合は、その番組だけを繰り返し再生します。
● 早戻しで番組の先頭に戻ると一時停止します。早送りで次のロックされた番組に移動すると通常再生になります。

■ 名前の変更について
● 機器によっては「名前の変更」ができない場合があります。

■ ショートカット作成について
● ショートカット作成後にフォルダの名前を変えると、ショートカットからアクセスできなくなります。

レグザリンクを使う～番組再生～ つづき

● 接続・設定については準備編 69 ～ 71 をご覧ください。
● つないだ機器の取扱説明書もよくお読みください。

録画リストの基本操作～ i.LINK機器に録画した番組を見る～

1 [レグザリンク] を押す

2 ▲·▼で「機器を選択する」を選び、[決定] を押す

●「機器選択」画面が表示されます。
※録画機器が一台しか接続されていない場合は、録画リストが表示されます。（下の図）

3 ▲·▼で機器を選び、[決定] を押す

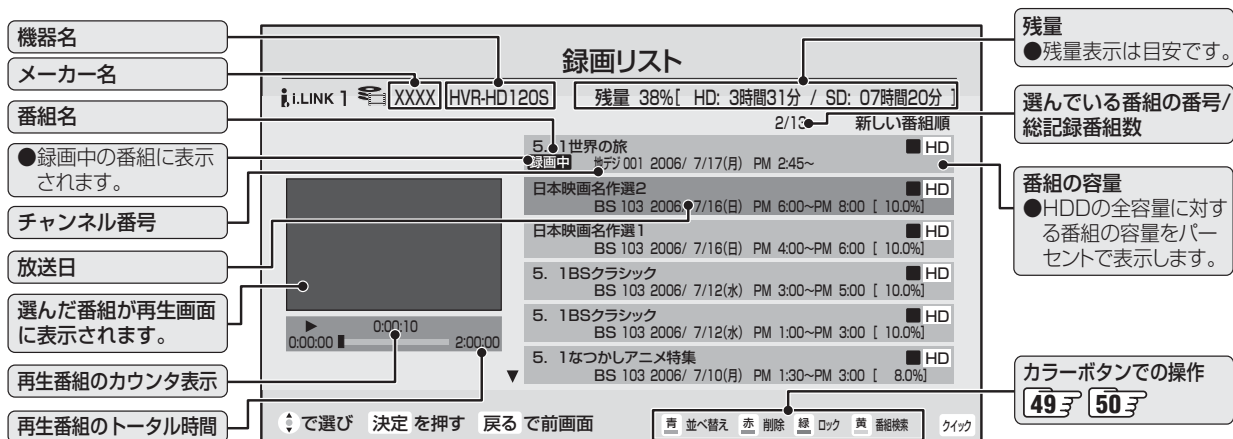
■ HDDビデオレコーダー（i.LINK接続）を選んだ場合

● 録画リストが表示されます。（一番下の図）

❶ ▲·▼で見たい番組を選ぶ
● 選んでいる番組の情報を見るには、[番組説明] を押します。18

❷ [決定] を押す
● 選んだ番組の再生が始まります。
※再生されるまでに時間がかかる場合があります。
●「録画中」の番組を選ぶと、録画している番組を再生します。（これを「追っかけ再生」と呼びます）たとえば、録画予約中に帰宅したとき、録画予約が終了するまで待たずに再生することができます。
● 停止、早送り、早戻しなどの操作はリモコンのボタンで行います。42

■ D-VHSビデオ（i.LINK接続）を選んだ場合

❶ [再生/一時停止 ▶/II] を押すと再生がはじまります。
● 停止、早送り、巻戻しなどの操作はリモコンのボタンで行います。42

■ 録画リストについて・他

● 録画リストでは、録画番組の削除やロックなどもできます。49、50
● 録画リストに表示できる最大数は、HDDビデオレコーダーで350までです。これを超えた機器では正しく動作しないことがあります。最大数は機器によっても制限されることがありますので、各機器の取扱説明書でご確認ください。
● 地上デジタル放送のチャンネル番号などは、本機のチャンネル設定が変更された場合や、本機以外の操作で録画した番組の場合には、録画リストに正しく表示されないことがあります。
● HDDビデオレコーダーでは、数秒程度の短い録画内容や、受信障害やコピー制限などで正常に録画できなかった番組は、レコーダー自身が自動的にそれらを削除することがあります。

■ 接続機器について

● 他の機器から本機がi.LINK操作されているときは、本機から操作することはできません。本機から操作するには、他の機器からの操作を終了させてください。
● i.LINK機器の場合、「機器に接続できません。」が表示されたときは、いったん機器操作モードを終了し、i.LINKケーブルをつなぎ直してから再び機器操作モードにしてください。
● ブロードキャスト（準備編 71 ）の場合は、「i.LINK機器選択」画面に「ブロードキャスト」と表示されます。本機で対応していないブロードキャスト出力信号の場合には、本機では視聴できません。
●「登録モード設定」で「手動」に設定している場合は、i.LINK機器の登録をしてください。（準備編 71 ）
● 本機のリモコンによる動作は、機器によって異なることがあります。各機器の取扱説明書をご覧ください。

●番組放送時間、カウンタ表示などは送信側の情報によっては正しく表示されない場合があります。

機器操作中にはこんなこともできます!

録画リストを表示する

● 録画リストを表示します。

❶機器操作中に、(レグザリンク) を押す

❷▲·▼で「機器を操作する」を選び、(決定)を押す

❸▲·▼で「録画リスト」を選び、(決定)を押す

電源を操作する

● i.LINK機器の電源のオン、オフをします。
※ 録画中は電源オフできません。
※「テレビ電源入連動」(準備編 71) を「連動する」にしていて、電源入連動機器に設定されている機器は電源オフできません。

❶機器操作中に、(レグザリンク) を押す

❷▲·▼で「機器を操作する」を選び、(決定)を押す

❸▲·▼で「電源」を選び、(決定)を押す

❹▲·▼で「電源オフ」または「電源オン」を選び、(決定)を押す

機器選択画面ではこんなこともできます!

機器の情報を見る

❶機器選択画面で情報を見たい機器を選び クイック を押す

❷「機器の情報」を選び、(決定)を押す
• メーカー名、形名などが表示されます。
• 情報を確認後 (決定) を押します

録画リストではこんなこともできます!

録画番組を並べ替える

❶録画リスト画面で、(青)を押す
● (青)を押すたびに「新しい番組順」⇔「古い番組順」と交互に切り換わります。

録画番組を削除する

ひとつの番組を削除する

❶削除したい番組を▲·▼で選び、(赤)を押す

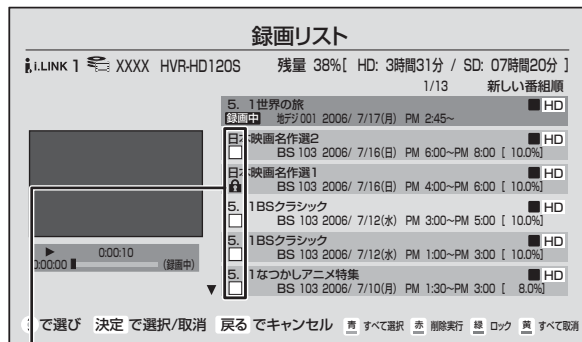
❷確認画面で、「はい」を◀·▶で選び、(決定)を押す
※ 削除中は操作しないでください。

❸「削除しました。」が表示されたら、(決定)を押す

複数の番組を削除する

❶録画リスト画面で、(赤)を押す

❷「選択削除」を◀·▶で選び、(決定)を押す
● 番組名の前にチェックボックスが表示されます。

ロックされた番組、録画中の番組にチェックは付きません。

❸削除したい番組を▲·▼で選び、(決定)を押す
● (決定)を押すたびに☑⇔☐に切り換わります。
● 手順❷の画面では、以下もできます。
• すべての番組を選択する場合は、(青)を押します。
※ 351個以上番組がある場合は、古い番組順に350個が選ばれます。
• 選択をすべて取消する場合は、(黄)を押します。
• ロックを解除したい場合は、ロックされている番組を選んで(緑)を押します。

❹(赤)を押す

❺確認画面で、「はい」を◀·▶で選び、(決定)を押す
※ 削除中は操作しないでください。

❻「削除しました。」が表示されたら、(決定)を押す

次のページにつづく

■ ロックリピート再生について
● ロックリピート再生する際は、再生の切り換わりに時に音がひずむことがあります。
● 頭出し再生は、ロックリピート再生時であっても全番組が頭出し再生の対象となります。
● ロックしていない番組を選んだ場合は、その番組だけを繰り返し再生します。

レグザリンクを使う～番組再生～ つづき

録画リストの基本操作～ i.LINK機器に録画した番組を見る～ つづき

録画リストではこんなこともできます! つづき

録画番組をロックする

- ロックは、録画した番組が削除されないようにする機能です。
  ※ 録画中は、ロックできません。

❶録画リスト画面で、ロックしたい番組を▲・▼で選び、[緑]を押す
- [緑]を押すたびにロック⇔解除と交互に切り換わります。
- ロックした番組にはアイコン「🔒」がつき、削除はできなくなります。

録画番組を検索する

- ジャンル、キーワードなどの検索条件を指定して番組を検索できます。

❶録画リスト画面で、[黄]を押す
- 検索画面が表示されます。

❷▲・▼で「ジャンル」、「キーワード」を選び、(決定)を押す
- 選びかたは 14❶、❷の手順で操作してください。

※ ジャンル、キーワードのどちらかは必ず指定してください。

❸日付を指定するときは、以下をする

① **▲・▼で「日付」を選び、(決定)を押す**

② **日付指定画面で、指定する日付を▲・▼・◀・▶で選び、(決定)を押す**

※ 画面の左端の項目を「指定する」にしたときに、検索開始日と終了日を指定できます。

❹チャンネルを指定するときは、以下をする

① **▲・▼で「チャンネル」を選び、(決定)を押す**

② **チャンネル指定画面で、◀・▶で指定する項目、▲・▼で指定する内容を選ぶ**
- 放送の種類 ：BS ／ CS ／地デジ／すべて
- 放送メディア ：テレビ／ラジオ／データ／すべて
- チャンネル ：すべて／上記の受信可能なチャンネル

③ **指定が終わったら、(決定)を押す**

❺▲・▼・◀・▶で「検索開始」を選び、(決定)を押す
- 検索にはしばらく時間がかかります。
- 351個以上番組がある場合は、検索対象は新しい番組から350個です。

リピート再生設定

- リピート再生やロックリピート再生の設定をします。

❶録画リスト画面で、[クイック]を押す

❷▲・▼で「リピート再生設定」を選び、(決定)を押す

❸▲・▼で設定項目を選び、(決定)を押す
- **リピートオフ** ：通常の再生をします。
- **リピート再生** ：一つの番組を繰り返して再生します。
- **ロックリピート再生** ：ロックしている番組を順次再生します。再生される順番は録画リスト48の古い番組順になります。

• ロックについてはこのページの左上の説明をご覧ください。

※ 設定した「リピート再生」、「ロックリピート再生」のアイコンは、録画した番組を再生した際に、カウンター表示で確認できます。

※ 録画中の番組は、リピート再生できません。

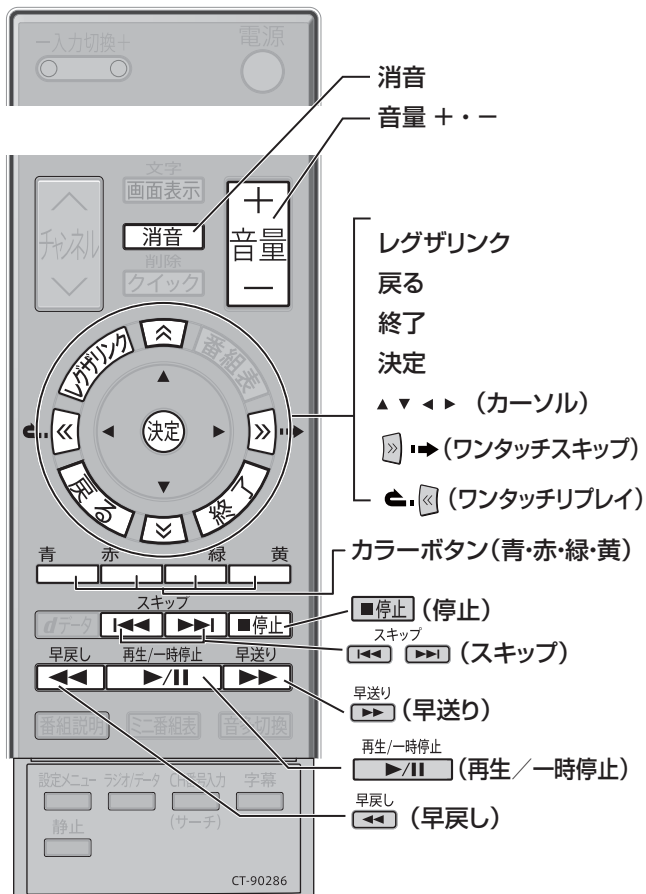
お知らせ
- 機器によってはロックできない場合があります。機器の取扱説明書をご覧ください。

レグザリンクを使う～HDMI連動機能～

HDMI連動機能対応機器を本機のリモコンで操作する

● HDMI連動機能対応の機器を接続した場合、本機のリモコンで次の操作をすることができます。
※ 以下は代表的な動作です。操作する接続機器によっては、動作が異なる場合があります。

[リモコン]

消音
音量 ＋・－
レグザリンク
戻る
終了
決定
▲ ▼ ◀ ▶ （カーソル）
（ワンタッチスキップ）
（ワンタッチリプレイ）
カラーボタン（青･赤･緑･黄）
■停止（停止）
スキップ（スキップ）
早送り（早送り）
再生/一時停止（再生／一時停止）
早戻し（早戻し）

ふたをあけた状態

再生／一時停止
- 番組を再生します。
- 再生中に押すと再生を一時停止します。

ワンタッチスキップ
- 再生中に押すと少し先に進んで再生します。

ワンタッチリプレイ
- 再生中に押すと少し戻って再生します。

停止
- 再生中に押すと再生を停止します。
- 録画中に押すと録画を停止します。

終了
- 操作の途中に押すと、操作を中断します。

スキップ
- スキップ⏮は、前に戻って頭出し再生します。
- スキップ⏭は、一つ先に進んで頭出し再生します。

早送り
- 再生中に押すと早送りします。

早戻し
- 再生中に押すと早戻しします。

■ リモコン動作対応表

※：そのときの状況に合わせて「再生」「一時停止」になります。

本機のリモコンボタン	HDMI連動機能対応 東芝レコーダー	HDMI連動機能対応 東芝パソコン	AVアンプ
再生・一時停止	○ ※	○ ※	―――
停止	○	○	―――
スキップ	○	○	―――
早送り・早戻し	○	○	―――
ワンタッチスキップ･リプレイ	○	○	―――
カーソル	○	○	―――
決定	○	○	―――
戻る	○	○	―――
終了	○	○	―――
カラーボタン･青	○(Blue/A)	○(A)	―――
カラーボタン･赤	○(Red/B)	○(B)	―――
カラーボタン･緑	○(Green/C)	○(C)	―――
カラーボタン･黄	○(Yellow/D)	○(D)	―――
音量 ＋・－	―――	―――	○
消音	―――	―――	○

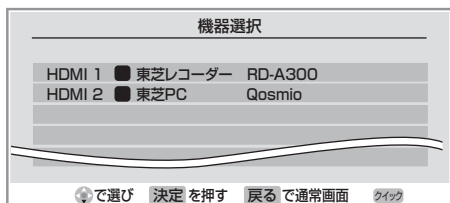
レグザリンクを使う～HDMI連動機能～ つづき

機器を選択する

● HDMI連動機能対応の機器を本機のリモコンで操作するときに、機器を選びます。(AVアンプは表示されません)

1 レグザリンクを押し、▲・▼で「機器を選択する」を選び、決定を押す

● 機器選択画面が表示されます。

※ 機器が一台しか接続されていない場合は、接続されている機器の画面に切り換わります。

2 操作したい機器を▲・▼で選び、決定を押す

● 選んだ機器の電源がはいり、画面が切り換わります。

● 選んだ機器によって、本機のリモコンで操作できることが変わります。詳しくは前ページの表をご覧ください。

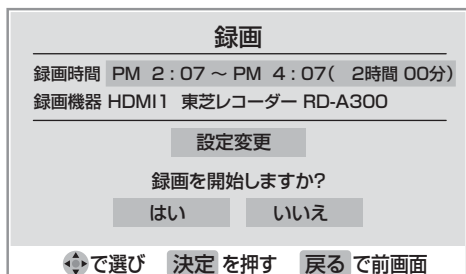
機器に録画する

はじめに

● 東芝RDシリーズ(アナログ／デジタル)に録画する場合はRDシリーズの電源を入れておきます。

録画機器の準備については 28 をご覧ください。

● HDMI連動機能を使って、他社製のHDDレコーダーに録画をすることはできません。

1 レグザリンクを押し、▲・▼で「機器に録画する」を選び、決定を押す

● 録画画面が表示されます。

2 29 手順3以降の操作をする

日時を指定して予約する

はじめに

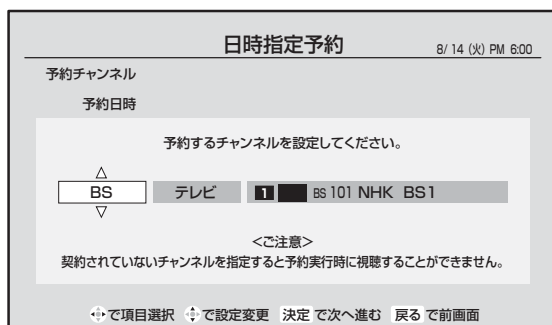
● 東芝RDシリーズ(アナログ／デジタル)に録画する場合はRDシリーズの電源を入れておきます。

● 録画機器の準備については 28 をご覧ください。

※視聴予約をする場合は、準備の必要はありません。

● HDMI連動機能を使って、他社製のHDDレコーダーに録画をすることはできません。

1 レグザリンクを押し、▲・▼で「日時を指定して予約する」を選び、決定を押す

● 日時指定予約画面が表示されます。

2 35 手順3以降の操作をする

音声をAVアンプ(テレビ)から出す

● 音声をテレビのスピーカーとAVアンプのどちらから出すかを切り換えることができます。

1 レグザリンクを押し、▲・▼で「音声をAVアンプから出す」または「音声をテレビから出す」を選び、決定を押す

● 本機のリモコンで操作できることについては前ページの表をご覧ください。

■ 音声をAVアンプから出すについて

● 音声をAVアンプから出しているときは、本機のヘッドホーン端子からも音声は出ません。

● 消音表示は数秒で消えます。

機器を操作する

はじめに

● 前ページ「機器を選択する」で、操作したい機器を選んでおきます。

1 **(レグザリンク)を押し、▲·▼で「機器を操作する」を選び、(決定)を押す**

● 機器操作メニューが表示されます。

2 **操作したい項目を▲·▼で選び、(決定)を押す**

● 選んだ機器によって、表示される項目が変わります。

HDMI連動機能対応東芝レコーダーの場合

番組選択

● 「見ながら選択」画面が表示されます。

DVDトップメニュー

● DVD視聴中に押すとDVDトップメニューが表示されます。

DVDメニュー

● DVD視聴中に押すとDVDメニューが表示されます。

ドライブ切換

● HDDとDVDを切り換えます。

W録切換

● 表示されるW録設定を切り換えます。

画面表示

● 状態表示の表示／非表示を切り換えます。

電源

● (決定)を押すと電源オン／オフをします。

HDMI連動機能対応東芝パソコンの場合

● 「HDMI連動設定」の「PC映像連動」（準備編 48）を「使用する」に設定すると、HDMI連動機能対応東芝パソコンをHDMI接続した際に、映像設定が最適に調整された状態でテレビ画面に表示されます。この初期状態から設定を手動で変更した場合は、変更した状態が新たな初期状態として記憶されます。

ソフトウェア選択

● 「Qosmio AV Center」「TOSHIBA HD DVD PLAYER」「Windows Media Center」のいずれかを▲·▼で選び(決定)を押すと、アプリケーションが起動します。

クイックメニュー

● Qosmioのクイックメニューが表示されます。

※ 「Qosmio AV Center」「TOSHIBA HD DVD PLAYER」「Windows Media Center」内の操作中に使用できます。

画面表示

● 状態表示の表示／非表示を切り換えます。

電源

● (決定)を押すと電源オン／オフをします。

■ HDMI連動機能対応東芝レコーダーについて

● 「見ながら選択」はRD-A300,RD-A600の例です。機種によっては表示内容が異なる場合があります。

■ HDMI連動機能対応東芝パソコンについて

● 選択したアプリケーションによっては、動作しないリモコン操作や「機器操作」の項目があります。

● アプリケーションの状態によってはパソコンでの操作が必要になる場合があります。

レグザリンクを使う～HDMI連動機能～ つづき

HDMI入力拡張切換

● 複数のHDMI連動機能対応機器を接続している場合、クイックメニューから使いたい機器を選ぶことができます。

1 入力切換で、使いたい機器がつながっている入力を「HDMI1」、「HDMI2」、「HDMI3」から選ぶ

2 クイックを押し、▲・▼で「その他の操作」を選び、決定を押す

3 ▲・▼で「HDMI入力拡張切換」を選び、決定を押す

● HDMI接続機器一覧が表示されます。

● オンキヨー製AVアンプの場合は、機器一覧にHDMI連動機能対応機器だけでなく、AVアンプの端子名も表示されます。(何も接続されていない端子も表示されます)

※ 各HDMI端子に機器が一台しか接続されていない場合は、選択できません。

4 ▲・▼で操作したい機器を選び、決定を押す

● 選んだ機器の電源がはいります。

※ AVアンプを選ぶことはできません。

5 選んだ機器を操作する

● HDMI連動機能対応機器の場合は、本機のリモコンで一部の操作ができます。51

HDMI連動機能対応機器を使用するときのご注意

■ 録画・録画予約について

● HDMI連動機能を利用して録画できるのはHDMI連動機能対応の東芝レコーダーだけです。
<RD-A300、RD-A600(HDMI連動機能対応にバージョンアップ後のもの)－2007年8月現在>

● 録画機器の状態によっては録画設定ができなかったり、録画設定に時間がかかったりすることがあります。

● 接続機器側が録画設定中の場合は、次の録画や録画予約をすることはできません。

● 録画設定中のメッセージが表示されているときに終了を押すと、メッセージ画面を消すことができますが、録画設定結果のメッセージは表示されません。

■ AVアンプについて

● AVアンプの入力状態によっては、テレビから音声が出ない場合があります。

● AVアンプ連動操作中にAVアンプ側の入力を切り換えたときに、実際の映像と画面右上の接続機器表示が一致しない場合があります。

レグザリンクを使う～写真を見る～

写真をテレビで見る

● USB機器(デジタルカメラ、USBメモリーカードリーダーに挿入したメモリーカード)、LAN HDD、DLNA認定サーバー(準備編 39)に記録されている写真(JPEGファイルの画像)を本機で見ることができます。
● USB機器の接続については、準備編 56 をご覧ください。

データのバックアップを取ることをお勧めします。
本機で使用したことでデータが変化・消失した場合の補償はできませんので、たいせつなデータは本機で使用する前にあらかじめバックアップをとっておいてください。

USB 機器を使用するときのお願いとご注意

●USB ケーブルを抜き差しするときは、必ず本機の電源を「切」にしてください。
●USB 機器の動作中に本機の電源を切ったり、電源プラグを抜いたりしないでください。記録されているデータが破壊されるおそれがあります。
●メモリーカードリーダーにメモリーカードを抜き差しするときは、本体の電源ボタンで電源を「切」にしてください。本機の電源が「入」や「待機」のときに抜き差しすると、メモリーカードの故障やデータの変化・消失の原因となります。

メッセージが表示されたとき
❶ 決定を押したあと、本体の電源ボタンを押して電源を切る
❷ 使用しない USB 機器をはずす
❸ 本体の電源を入れる

USB端子の電源容量を越えました。
必要な機器のみ接続してください。
決定を押す

本機で再生できる写真(静止画ファイル)について

● 本機で再生できるファイルの仕様は、下表のとおりです。下表の場合でもパソコンのアプリケーションを使って加工や編集をした写真は、再生できないことがあります。
※ JPEG圧縮ではないファイル(非圧縮のファイルも含みます)や動画ファイルは再生できません。

● 本機で再生できる写真(静止画ファイル)

圧縮方式	JPEG 準拠
静止画ファイルフォーマット	Exif ver2.2 準拠
画素数	6000 × 4000 ピクセル以内
ファイルサイズ	24MB 以内

●本機に対応しているファイルシステム(USB機器のPC接続モード時)

ファイルシステム	FAT12/FAT16/FAT32

1 レグザリンクを押し、▲･▼で「写真を見る」を選び、決定を押す

● 「写真機器選択」画面が表示されます。
▲･▼で見たい機器を選び、決定を押します。
● 写真やフォルダがマルチ表示されます。
※ USB写真再生機器が一台しか接続されていない場合は、機器のマルチ表示画面が表示されます。
※ LAN HDDを選んだ場合で、LAN HDDにアクセスするためのユーザー名とパスワードの入力画面が表示された場合は 29 をご覧ください。
※ 表示形式については、次ページの「写真の表示形式について」をご覧ください。

2 次の操作で写真を見る

1枚だけ拡大して表示する(シングル表示)

❶ **▲･▼･◀･▶で写真を選び、決定を押す**
● フォルダ別表示の場合に、フォルダの中の写真を見るには、▲･▼･◀･▶でフォルダを選び、決定を押してフォルダを開きます。
※ 上の階層に戻るときは、▲･▼･◀･▶で「上の階層へ」を選び、決定を押します。
● 写真の表示中に、◀･▶で前や次の写真が選べます。

自動的に順番に表示する(スライドショー表示)

❶ **マルチ表示やシングル表示のときに 緑 を押す**
● 今選んでいる写真から順番に表示します。
・スライドショーを一時停止するには 青 を押します。もう一度押すと再び再生します。
・見たい写真を◀･▶で選ぶことができます。
・マルチ表示に戻るには 緑 を押します。
・シングル表示に戻るには 黄 を押します。

3 写真を見終わったら 終了 を押す

●本機に対応している USB機器の規格

対応している規格	・Universal Serial Bus Mass Storage Class(この取扱説明書では PC 接続モードと表現します。) ※機器によってはマスストレージクラス、MassStorage などと表現されていることがあります。
	・Universal Serial Bus Still Image Capture Device(この取扱説明書ではプリンタ接続モードと表現します。) ※機器によっては PTP などと表現されていることがあります。

● メモリーカードや機器の取扱いについては、それぞれの取扱説明書をよくお読みください。

● メモリーカードにアクセス(再生)しているときは、メモリーカードを取り出したり、本機の電源を切ったりしないでください。記録されているデータが破壊されるおそれがあります。
● DLNA認定サーバーに保存された写真については、DLNA認定サーバー側で自動的にサイズを変更して表示する場合があります。

レグザリンクを使う～写真を見る～ つづき

カラーボタンでできること

並べ替え

- マルチ表示（通常表示）の写真を並べ替えることができます。
- DLNA認定サーバーの場合はできません。

❶ **通常表示のときに 青 を押す**

- 青 を押すたびに、「古い順」と「新しい順」が交互に切り換わります。
- 先にフォルダが並び、続いて写真が並びます。

写真を回転させる

❶ **シングル表示で写真を見ているときに 赤 を押す**

- 押すたびに時計回りに90度回転させることができます。
- 回転した状態は保存されません。

スライドショーの表示時間の間隔を変える

❶ **スライドショー表示のときに 赤 を押す**

❷ **▲･▼･◀･▶で表示時間の間隔を選び、決定を押す**

- 表示時間の間隔とは、写真の表示が完了してから次の写真の表示が始まるまでの時間のことです。

マルチ表示（通常表示）

写真再生
USB 4 XXXX XXXX DEVICE,INC USB2-6inRW
フォルダ別
機器選択
1/13 古い順
ファイル名:pdr_0281.jpg
更新日時:2006/ 5/19 AM 2:17 画像サイズ:2048×1536
で選び 決定 でシングル 《 》でページ切換 青 並び替え 赤 回転 緑 スライドショー 黄 表示モード切換

選択されているファイルやフォルダの情報
◀または▶が表示されている場合は、《・》で切り換えることができます。
写真が記録されている機器
総ファイル数（ファイルの検索中は---と表示されます）
選択されているファイル番号

- 複数の写真と、同じ階層にあるフォルダを同時に合計1000枚まで表示します。
  ※ 階層が深い場合や、ファイル名、フォルダ名が長い場合は表示できないことがあります。

マルチ表示（シームレス表示）

- 複数の写真が表示されます。（フォルダは表示されません。）ファイル数が多い場合や、JPEG 以外のファイルがある場合は表示に時間がかかることがあります。
  ※ PC 接続モードの場合は、第 1 階層にある DCIM フォルダや、その中にある第 6 階層までのフォルダに保存されている JPEG ファイルのみが最大 1000 ファイルまで表示されます。
  ※ プリンタ接続モードの場合は、JPEG ファイルのみが最大 1000 ファイルまで表示されます。
- シームレス表示ができる場合に、通常表示とシームレス表示を切り換えるには、黄 を押します。

写真の表示形式について

- 本機での写真の表示方法には以下の方法があります。
  - **マルチ表示**…………… 写真やフォルダをサムネイル（一覧表）で表示します。マルチ表示には、通常表示とシームレス表示の2種類があります。
  - **シングル表示** …………一枚の写真を画面に表示します。
  - **スライドショー表示** …シングル表示した写真を、自動で順番に表示します。

● 各機器で対応しているマルチ表示の形式

機器		形式
USB 機器	PC 接続モード	● 通常表示 ● シームレス表示（DCIMフォルダがあるときのみ）
	プリンタ接続モード	● シームレス表示
LAN HDD		● 通常表示
DLNA 認定サーバー		● 通常表示

※ シングル表示、スライドショー表示（前ページ手順**2**参照）は、どの機器でも表示できます。

- DCIMフォルダとは、デジタルカメラで写真を撮ったときに、その画像ファイルが保存されるフォルダのことです。
- 前ページ手順 **2** で写真以外の情報表示を消すには 画面表示 を押します。押すたびに表示と非表示を繰り返します。
- 写真（JPEGファイル）の表示中は、デジタル放送録画出力端子から映像・音声は出力されません。

インターネットなどを楽しむ

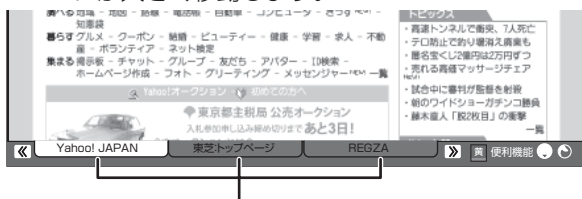
インターネットを楽しむ

● 接続、設定については、準備編 28 、85 をご覧ください。

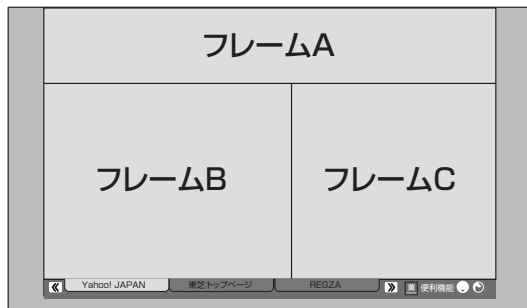
ホームページを見る／終了する

1 ブロードバンド を押し、▲･▼で「インターネット」を選び、決定 を押す

● インターネット画面が表示されます。

● ▲･▼･◀･▶を押し続けると、画面に表示しきれない部分を見ることができます。⏶･⏷･«･» を押すと、ページが大きく移動します。

● タブごとに画面をもっています。(各画面は«･»を押して切り換えられます)タブには設定されているホームページ名が表示されています。設定されているホームページは変更できます。

■ Webページがいくつものフレームで作られている場合にフレーム間を移動するとき

● Webページによっては、一つのページが複数のフレーム(それぞれが別々の内容を表示する領域)で構成されていることがあります。その場合は、以下の操作でフレームを選びます。

❶ **▲･▼･◀･▶を押してフレームを移動する**

※選んでいるフレームには青い枠がつきます

■ リンク先を別のタブに開くには

❶ **黄 を押し、◀･▶で(ウインドウ)を選び決定を押す。**

❷ **▲･▼で「新しいウインドウで開く」を選び決定を押す。**

● 新しいリンク先を別のタブで開くことができます。

● タブは最大5つまで開くことができます。

2 見たい項目を▲･▼･◀･▶で選び、決定 を押す

● 画面右下の▲･▼･◀･▶が明るく表示されている場合は、画面に表示しきれない部分が矢印の方向にあることを表しています。
▲･▼･◀･▶を押し続けると、その方向に進んで表示されます。
«･»を押すと、ページが大きく移動します。

3 インターネットを終了するには 終了 を押す

「便利機能」を使う

●「便利機能」はよく使う機能への入り口です。

1 Webページを見ているときに 黄 を押す

● 便利機能リストが表示されます。

2 ◀･▶で機能アイコンを選び、決定 を押す

ウインドウ　戻る　進む　再読込み　URL入力　ホーム　お気に入り　履歴表示　ポインター　検索　メニュー
http://www.yahoo.co.jp/

アイコン、機能名	内容
「ウインドウ」	新しいウインドウを開いたり閉じたりします。
「戻る」	一つ前のページに戻ります。
「進む」	一つ先のページに進みます。
「再読込み」 「中止」	再読込み: 表示しているページを読込みし直します。 中止: 読込み中に読込みを中止します。(読込み中のときは✕が表示され、それ以外のときは再読込みが表示されます)
「URL入力」	アドレス(URL)を入力してホームページを表示させるときに使います。58
「ホーム」	ホームに登録されているページに戻ります。登録のしかたは 60 をご覧ください。
「お気に入り」	あらかじめ登録したお気に入りのリストから選ぶときに使います。58
「履歴表示」	表示したページ履歴から選ぶときに使います。58
「ポインター」	ポインターのオン／オフ、ドラッグを切り換えます。 59
「検索」	検索画面を表示します。59
「メニュー」	ページ操作 60 や、いろいろな設定 60 ～ 62 をするときに使います。

● インターネットを終了するときは、必ず 終了 を押してください。終了前に本体の電源ボタンを押したり、電源プラグを抜いたりすると、お気に入りや履歴、Cookieなどのさまざまな情報が正しく保存されません。

● インターネットの利用中に、LANケーブルを抜いたり、ネットワーク接続環境を変更したりすると、本機の操作ができなくなることがあります。そのような状態になったときは、本体の電源ボタンで電源を切ってからもう一度入れてください。

● 本機からの録画中にはインターネットはできません。利用中に予約録画が始まると、インターネットは自動的に終了します。

● Webページが表示されるまでの時間は、接続業者との契約の種類や回線の混み具合などによって大きく異なります。

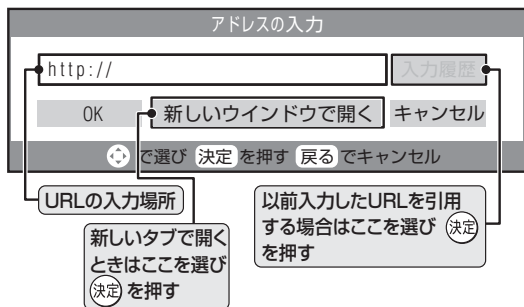
インターネットなどを楽しむ つづき

インターネットを楽しむ つづき

URLを入力してWebページを見る

1 黄を押し、◀·▶で「URL入力」を選び、決定を押す

2 ▲·▼·◀·▶で「URLの入力場所」を選び、決定を押し、見たいWebページのURLを入力する

- 入力文字は半角英数字と半角記号で254文字までです。文字入力のしかたは 26 をご覧ください。
- 今までに入力したURLを引用する場合は「入力履歴」から、引用するURLを選んでください。

3 ▲·▼·◀·▶で「OK」を選び、決定を押す

「お気に入り」リストからWebページを見る

1 黄を押し、◀·▶で「お気に入り」♡を選び、決定を押す

2 ▲·▼で「お気に入り一覧」を選び、決定を押す

3 ▲·▼で見たいWebページを選び、決定を押す

「お気に入り」一覧での便利機能

❶「お気に入り」を選んだ状態で黄を押し、▲·▼で項目を選び決定を押す

※項目の前の数字(❶など)はリモコンの1ボタンを押して選ぶこともできます。

1 新しいウインドウで開く：選んだお気に入りページを新しいタブで開きます。

2 編集：選んだWebサイトの名称やURLを編集します。

① ▲·▼·◀·▶で編集したい項目を選び決定を押す

- 文字入力のしかたは 26 をご覧ください。
- タイトルの入力文字数は、全角12文字(半角24文字)です。(お気に入りを最大登録可能数の50個まで登録した場合の目安です)
- URLの入力文字数は半角英数字/半角記号で254文字までです。

3 アドレスで表示：「お気に入りリスト」をURLで表示します。(「アドレスで表示」を選ぶと、項目名は「タイトルで表示」に換わります。)

4 上へ移動：ひとつ上へ順番を移動します。

5 下へ移動：ひとつ下へ順番を移動します。

6 削除：選んだお気に入りを削除します。

① ◀·▶で「はい」を選び決定を押す

7 すべて削除：登録してあるお気に入りをすべて削除します。

① ◀·▶で「はい」を選び決定を押す

Webページを「お気に入り」に登録する

- 最大50個のWebページを「お気に入り」に登録することができます。(お買い上げ時に登録されているものも含みます。)

1 登録したいWebページを開く

2 黄を押し、◀·▶で「お気に入り」♡を選び、決定を押す

3 ▲·▼で「お気に入りに登録」を選び、決定を押す

- お気に入りリストの一番下に追加されます。

履歴からWebページを見る

- 今までに見たWebページの履歴から選ぶことができます。

1 黄を押し、◀·▶で「履歴表示」を選び、決定を押す

2 ▲·▼で見たいWebページを選び、決定を押す

「履歴」一覧での便利機能

❶「履歴」を選んだ状態で黄を押し、▲·▼で項目を選び決定を押す

※項目の前の数字(❶など)はリモコンの1ボタンを押して選ぶこともできます。

1 新しいウインドウで開く
2 アドレスで表示
3 削除
4 すべて削除

1 新しいウインドウで開く：選んだ履歴ページを新しいタブで開きます。
2 アドレスで表示：「履歴一覧」をURLで表示します。（「アドレスで表示」を選ぶと、項目名は「タイトルで表示」に換わります。）
3 削除：選んだ履歴を削除します。
① ◀·▶で「はい」を選び決定を押す
4 すべて削除：履歴一覧をすべて削除します。
① ◀·▶で「はい」を選び決定を押す

画面の操作方法を換える

● 画面を操作するときのツールを「ポインター」または「ドラッグ」に変更することができます。

1 黄を押し、◀·▶で「ポインター」を選び、決定を押す

2 以下の操作で「」または「」に切り換える

■「ポインター」を選ぶ場合
❶ ▲·▼で「ポインター：ON」を選び決定を押す

■「ドラッグツール」を選ぶ場合
❶ ▲·▼で「ポインター：ON」を選び決定を押す
❷ 手順1を繰り返し、▲·▼で「ドラッグモード」を選び決定を押す

● 画面に（）または（）が表示されます。
● ポインターやドラッグツールを使わない場合は、「ポインター：OFF」を選びます。

■「」の使いかた
❶ ▲·▼·◀·▶で「」アイコンが「」表示になる場所まで移動し決定を押す

■「」の使いかた
❶ 画面上で決定を押す
❶ アイコンが「」に換わっている状態で▲·▼·◀·▶でお好みの位置まで移動する
※「」は一部のWebページ（地図ページなど）でしか使用できません。

検索機能を使う

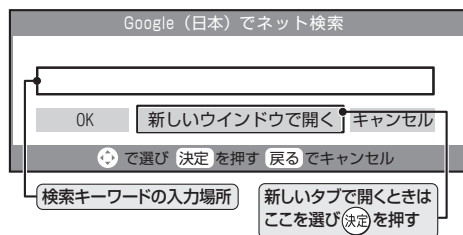
● google（グーグル）、yahoo!（ヤフー）を使っての検索画面が表示されます。

1 黄を押し、◀·▶で「検索」を選び、決定を押す

2 ▲·▼で検索方法を選び、決定を押す

Google（日本）でネット検索
Yahoo!（Japan）でネット検索
ページ内検索

・Googleでネット検索：Googleを利用してインターネット検索をします。
・Yahoo!でネット検索：Yahoo!を使用してインターネット検索をします。
・ページ内検索：表示しているWebページ内を検索します。

3 検索キーワードを入力し、決定を押す

● 入力文字は半角英数字と半角記号で254文字までです。文字入力のしかたは26をご覧ください。

■ ホームページとWeb（ウェブ）ページについて
● ホームページは階層構造になっています。この取扱説明書では、下の階層を含めた全体をホームページと記載し、個々のページをWebページと記載しています。（Webページまたは、ページと略して記載している個所もあります）
■ インターネット機能使用時の文字入力では、さらに以下の機能を使うことができます。
● 改行ができるようになります。（記号一覧末尾に改行記号が追加されます）
● URLの入力時にwww.などの定型文を一覧から選んで入力することができます。
■ 定型文の入力方法
❶ URLの入力時に文字画面表示を押す
❷ ▲·▼·◀·▶で定型文一覧から選び、決定を押す
［定型文］
www. co.jp/ .ne.jp/ .ac.jp/ .or.jp/ .com/ http:// https://

インターネットなどを楽しむ つづき

インターネットを楽しむ つづき

いろいろな設定 ～ページ操作～

1 黄 を押し、◀･▶で「メニュー」🔧を選び、決定を押す

2 ◀･▶で「ページ操作」を選び、▲･▼で設定項目を選び、決定を押す

- 設定できる項目と内容は下表のとおりです。
- 設定できない項目名は薄く表示されます。
- 「フレーム切り替え」を選んだ場合は、フレームが移動します。

※項目の前の数字（❶など）はリモコンの 1 ボタンを押して選ぶこともできます。

3 設定したい状態を▲･▼で選び、決定を押す

4
でWebページに戻る

設定項目	内容
❶ホームページに設定	現在表示されているWebページをホームページとして設定します。
❷フレーム切り替え	「ホームページを見る/終了する」57 の「Webページがいくつものフレームで作られている場にフレーム間を移動するとき」と同じ動作です。

いろいろな設定 ～表示～

1 黄 を押し、◀･▶で「メニュー」🔧を選び、決定を押す

2 ◀･▶で「ページ操作」を選び、▲･▼で設定項目を選び、決定を押す

- 設定できる項目と内容は下表のとおりです。
- 設定できない項目名は薄く表示されます。
- 「詳細設定」の設定項目については次ページの「設定項目を選んだ場合」をご覧ください。

※項目の前の数字（❶など）はリモコンの 1 ボタンを押して選ぶこともできます。

3 設定したい状態を▲･▼で選び、決定を押す

4 戻る でWebページに戻る

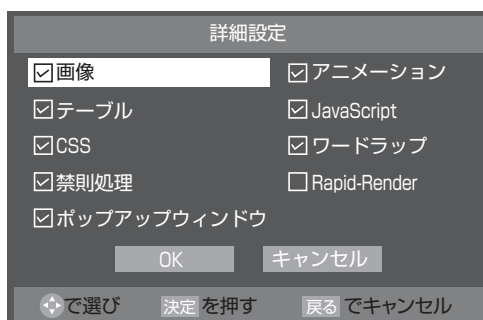
設定項目	内容
❶表示モード	**「通常」**にするとWebページをそのままのサイズで表示します。 **「Just-Fit Rendering」**にするとWebページの横幅を、本機の表示エリアの幅に合わせて表示します。
❷文字サイズ	画面の文字サイズを変更します。 **「最大」、「大」、「中」、「小」、「最小」**から選びます。 ※この文字サイズはWebページだけの設定です。
❸表示倍率	Webページの表示を拡大・縮小することができます。 **「200%」、「150%」、「125%」、「100%」、「75%」、「50%」**から選びます。 ※Webページによっては拡大・縮小できない場合もあります。
❹エンコード	日本語の文字コードが異なっている場合は、文字コードを変更してください。 ●一般的に日本語のWebページは**「Shift-JIS」**ですが、**「EUC-JP」**の場合もあります。
❺詳細設定	次ページの説明をご覧ください。
❻ページ情報	現在見ているWebページの情報を表示します。
❼サーバ証明書	「サーバ証明書」を表示します。

お知らせ

- 各項目の用語については、準備編 113 をご覧ください。

■「5詳細設定」を選んだ場合

❶ ▲･▼･◀･▶で設定したい項目を選び、(決定)を押す

※選んだ項目のチェックボックスにチェックが付きます。もう一度(決定)を押すとチェックがはずれます。

❷ ▲･▼･◀･▶で「OK」を選び(決定)を押す

設定項目	内容
画像	画像の表示／非表示を設定します。 非表示にすると、画像がある場所に画像アイコンが表示されます。
テーブル	テーブルタグの有効/無効を設定します。
CSS	CSS の有効/無効を設定します。
禁則処理	禁則処理の有効/無効を設定します。 有効にすると、Webページの見栄えを良くするために、句読点などが前の行または次の行に配置されます。
ポップアップウィンドウ	ポップアップウィンドウの表示の有効/無効を設定します。無効にするとWebページを開いたときに出てくるポップアップウィンドウタイプの広告表示が出ません。
アニメーション	アニメーション画像の表示/非表示を設定します。 非表示にすると、静止画像が表示されます。
JavaScript	JavaScript の有効/無効を設定します。
ワードラップ	ワードラップの有効/無効を設定します。 有効にすると文章を折り返すときに行末で収まりきれない単語が強制的に次の行に配置されます。
Rapid-Render	Rapid-Renderの有効/無効を設定します。 有効にすると、まず文章のみが読み込まれ、その状態で選択部分の移動などの基本操作を行うことができます。 最終的にはWebページが通常表示されます。

インターネットを楽しむ　つづき

いろいろな設定　～設定～

1 黄 を押し、◀·▶で「メニュー」🔧を選び、決定 を押す

2 ◀·▶で「ページ操作」を選び、▲·▼で設定項目を選び、決定 を押す

● 設定できる項目と内容は下表のとおりです。
● 設定できない項目名は薄く表示されます。
※項目の前の数字(❶など)はリモコンの 1 ボタンを押して選ぶこともできます。

3 設定したい状態を▲·▼で選び、決定 を押す

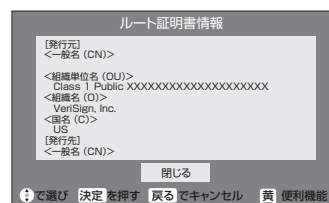
4 でWebページに戻る

設定項目	内容
❶スタートアップ設定	**「ホームページを表示」**にするとインターネットを起動した際に、ホームページに設定されているWebページが表示されます。 **「最後に表示したページを表示」**にすると前回インターネットを見たときに最後に表示していたWebページを表示します。
❷セキュリティ	**「保護あり/なしのページ間の移動時に通知する」**にチェックを付けると保護あり→保護なしのページへの移動時に、その旨のメッセージを表示してお知らせします。 **「使用するSSLバージョン：SSL2.0、SSL3.0、TLS1.0」**ではSSLバージョンを選びます **「ルート証明書」**では証明書の内容確認と有効/無効の設定ができます。 **「CA証明書」**では証明書の内容確認と有効/無効の設定ができます。 ※**「ルート証明書」「CA証明書」**については、右の「「ルート証明書」「CA証明書」を選んだ場合」をご覧ください。
❸Cookie	※Cookieについては「お知らせ」をご覧ください。 **「受信する」**を選ぶとCookieを受信し、本機内に記録します。 **「受信しない」**を選ぶと、Cookieの受信はしません。 **「受信前に通知する」**を選ぶとCookieを受信する際、メッセージを表示してお知らせします。
❹Cookieを削除する	本機内に記録されているCookieをすべて削除します。
❺キャッシュ	**「キャッシュを使用する」**にチェックを付けるとキャッシュ(以前表示したページを再度見る場合に本機内に保存されている過去のデータを表示して表示時間を短縮すること)を使用します。 **「キャッシュを全て削除」**を押すと、本機に保存されているキャッシュをすべて削除します。
❻ブラウザ情報	ブラウザの情報を表示します。

■「ルート証明書」または「CA証明書」を選んだ場合

● 証明書のリストが表示されます。
● 証明書を選び 決定 を押すと、詳細画面が表示されます。
● 以下の操作で、証明書の内容確認、証明書の有効／無効の設定ができます。
※ この設定はアクトビラでも有効です。

❶ ▲·▼で証明書を選び 黄 を押す
※　押すたびに「❶無効にする」と「❶有効にする」が切り換わります。

❷ 戻る を押す

お知らせ

● **Cookie（クッキー)とは……**
ユーザーの情報やアクセスした履歴などの情報をWebサーバからの指示で本機内に自動的に受信、記録して、インターネットブラウザとWebサーバ間でやりとりをするための仕組み、またはその受信・記録されるファイルのことです。Netscape社によって開発され、本機をはじめ、各種のインターネットブラウザが対応しています。多くの場合、ユーザーがWebサイトをより使いやすくするために使用されますが、個人情報の流出につながるとの指摘もされています。本機では左側手順**3**の操作でWebサイトから送られてくるこのCookieを受信するかしないかの設定をすることができます。
※ Cookieを受信しないように設定すると、Webサイトによってはまったく利用できなくなる場合があります。

アクトビラを楽しむ

はじめに

アクトビラとは

- 「アクトビラ」は、テレビポータルサービス(株)が提供する、テレビ向けインターネット・サービスです。

アクトビラには以下のようなサービスがあります（2007年8月現在）

◆**テレビ生活をもっと楽しむ！**
テレビ番組や番組に関連する情報が充実！だからテレビをもっと楽しむことができます。

◆**テレビで気になる話題をチェック！**
話題の商品／映画／音楽／ランキングなど、気になるトレンドをすぐチェックできます。

◆**テレビでいつでも最新情報！**
ニュース／天気／株価／交通情報など、いつでも知りたい情報が簡単に手に入ります。

アクトビラを楽しむための準備

LANの接続（準備編 28）と
設定（準備編 85）をする

初めてアクトビラを使うとき……

- 初めてアクトビラを使うときに、本機に組み込まれた識別情報が自動で送信されます。
その後、郵便番号の入力をする画面が表示されます。
画面の指示に従って入力してください。
郵便番号を入力しないと、アクトビラの一部の機能が使用できない場合があります。
※ 一度、郵便番号の入力が終われば、2 回目からは入力画面は表示されません。

アクトビラの見かた

1 ブロードバンド を押し、▲·▼ で「アクトビラ」を選び、決定 を押す

- しばらくするとアクトビラのトップページが表示されます。

※ **回線の状態によっては、時間がかかります。**

アイコンを押してタブを切り換えると、さまざまなジャンルの情報を楽しむことができます。

2 ▲·▼·◀·▶ で見たい項目を選び、決定 を押す

- リンク先の画面が開きます。
- 目的の項目になるまで上記を繰り返します。

3 アクトビラを終了するには 終了 を押す

インターネットなどを楽しむ

- 手順**1**や手順**2**の画面では、黄 を押して、「便利機能」を使うことができます。64（「便利機能」は、アクトビラがサービスしている機能ではなく、本機独自の機能です）
- アクトビラの視聴中に録画予約や視聴予約の開始時刻になると、アクトビラを終了して予約を実行します。
- USB HDDやLAN HDD、i.LINK接続した機器への録画中には、アクトビラ視聴できません。
- アクトビラサービスをUSB HDD、LAN HDDやi.LINK機器にデジタル録画することはできません。

アクトビラを楽しむ　つづき

アクトビラの「便利機能」を使う

※「便利機能」は、アクトビラがサービスしている機能ではなく、本機独自の機能です。

1 **アクトビラを見ているときに 黄 を押す**

● 便利機能リストが表示されます。

2 **◀・▶で機能を選び、決定を押す**

● 機能（アイコン）を選ぶと、機能（アイコン）が反転します。

アイコン、機能名	内容
「戻る」	一つ前のページに戻ります。
「進む」	一つ先のページに進みます。
「再読み込み」 「中止」	再読み込み：表示しているページを読み込みし直します。 中止：読込み中に読込みを中止します。 ※読込み中のときは中止が表示され、それ以外のときは再読み込みが表示されます。
「ホーム」	アクトビラのトップページに戻ります。
「お気に入り」	・**「お気に入り一覧」**…一覧からページを見ることができます。 ・**「お気に入りに登録」**…見ているページをお気に入りに登録します。 ※詳しい操作は 58 をご覧ください。 ※ここで登録したお気に入りは「アクトビラ」専用です。
「履歴表示」	今までに見たページの履歴から選ぶことができます。 ※詳しい操作は 58 をご覧ください。
「ポインター」	画面を操作するツールを「矢印」たは「手」に変更することができます。 ※詳しい操作は 59 をご覧ください。
「検索」	・**「ページ内検索」**を利用して表示しているページ内の検索をすることができます。 ※詳しい操作は 59 をご覧ください。

4th MEDIA(フォースメディア)を楽しむ

はじめに

4th MEDIAとは

- インターネットの光回線(NTT東日本、またはNTT西日本のフレッツ回線)を利用して多チャンネル放送やビデオなどを楽しめる有料のブロードバンド映像配信サービスです。(あらかじめ、接続と設定が必要です)
- 標準画質でのサービスのほかに、ハイビジョンでのサービスもあります。
  ※ ご使用の回線のスピードによっては、ハイビジョンサービスをご利用になれない場合があります。

4th MEDIAにはテレビサービスとビデオサービスなどがあります(2007年8月現在)

- テレビサービス … 50チャンネル以上の放送があります。
- ビデオサービス … 映画やドラマなど数多くのビデオをお好きな時間に楽しむことができます。早送り、早戻し、一時停止などもできます。

※ サービスの内容は、契約内容(料金プラン)によって異なります。上記サービスのほか、スペシャルサービス、カラオケサービスなどもあります。

この取扱説明書では、基本操作のみを記載しています

- ほかの操作については、「4th MEDIAのお問い合わせ・お申し込みはこちらから」(準備編123)をご覧ください。
- 画面のイラストは一例であり、ご契約のプロバイダーによって異なります。

4th MEDIAを楽しむための準備

「4th MEDIAのお問い合わせ・お申し込みはこちらから」(準備編123)を参照の上、4th MEDIAの申込みをする

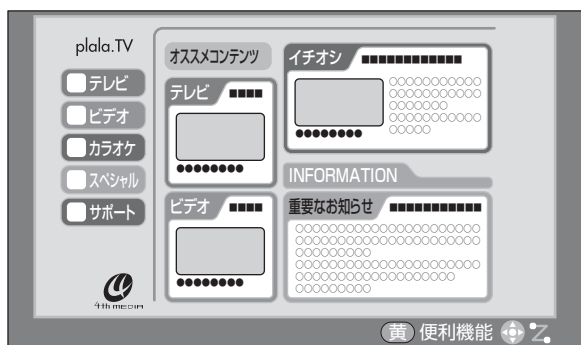
4th MEDIAの接続(準備編29)と設定(準備編90)をする

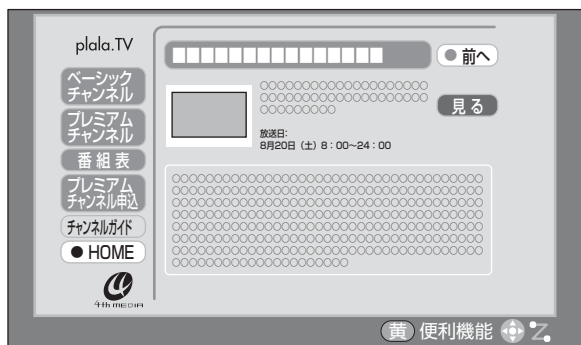
4th MEDIAの見かた

1 ブロードバンドを押し、▲・▼で「4th MEDIA」を選び、決定を押す

- しばらくすると4th MEDIAのトップページが表示されます。

※ **回線の状態によっては、時間がかかります。**

- 4th MEDIA設定(準備編90)をしていない場合は、その旨のメッセージが表示されます。

2 ▲・▼・◀・▶で「テレビ」または「ビデオ」を選び、決定を押す

- テレビサービス、またはビデオサービスのトップページが表示されます。

3 ▲・▼・◀・▶で項目やチャンネルを選び、決定を押す

- この操作を繰り返してチャンネルやビデオを選びます。(視聴画面での操作は次ページをご覧ください)
- 購入画面などが表示されたら、画面の表示に従って操作してください。

4 4th MEDIAを終了するには 終了 を押す

- 「4th MEDIAを終了してよろしいですか?」が表示された場合は、◀・▶で「はい」を選んで、決定を押してください。

- 手順**1**や手順**2**の画面では、黄を押して、「便利機能」を使うことができます。67(「便利機能」は、4th MEDIAがサービスしている機能ではなく、本機独自の機能です)
- 4th MEDIAの視聴中に録画予約や視聴予約の開始時刻になると、4th MEDIAを終了して予約を実行します。
- USB HDD、LAN HDDへの録画中には、4th MEDIAは視聴できません。
- 4th MEDIAサービスをUSB HDDやLAN HDD、i.LINK機器にデジタル録画することはできません。

インターネットなどを楽しむ つづき

4th MEDIA(フォースメディア)を楽しむ　つづき

テレビサービスの視聴画面での操作

チャンネルを変える

● 順に選ぶとき

❶ チャンネル を押す

● チャンネルを指定して選ぶとき

❶ CH番号入力(ふたの中)を押す

❷ 1 〜 10 0(0)で3ケタのチャンネル番号を押す

※ 間違えて入力したときは、CH番号入力を押して、入力画面を消してから、再度 CH番号入力を押して入力し直してください。

音多切換をする

● 音声多重のテレビサービスでは、主音声と副音声が同時に聞こえます。

● 聴きたい音声を選ぶには、音多切換 を押します。音多切換 を押すたびに、次のように切り換わります。

※ 選局操作などをすると「主：副」に戻ります。

テレビサービスの選択画面に戻るには

❶ 戻る または ■停止 を押す

チャンネルなどの情報を見るには

❶ 画面表示 を押す

● 情報表示を消すには、もう一度押します。

4th MEDIA テレビ 513　PM 9:25
主：副　スーパーライブ
SD　Dコピー×　コピー×　G→コピー×

ビデオサービスの視聴画面での操作

※ サービス提供者側の状況によっては、各操作が実行されるのに時間がかかる場合があります。

基本の操作

● 再生/一時停止 ▶/II、早送り ▶▶、早送り ▶▶ で操作します。

● 「ワンタッチスキップ：» ➡」「ワンタッチリプレイ：⬅ «」もできます。42

時間を指定して再生する(タイムサーチ)

❶ (サーチ)(ふたの中)を押す

● 画面右上に サーチ－－:－－:－－ が表示されます。

❷ 1 〜 10 0 で時間を指定する

例)最初から1時間25分5秒後の位置を指定するとき

➡ 10 0　1　2 ABC　5 JKL　10 0　5 JKL

と6ケタの数字を押す

※ 間違えて入力したときは、(サーチ)を押して、入力画面を消してから、再度(サーチ)を押して入力し直してください。

音多切換をする

● 音声多重のビデオサービスでは、主音声と副音声が同時に聞こえます。

● 聴きたい音声を選ぶには、音多切換 を押します。音多切換 を押すたびに、次のように切り換わります。

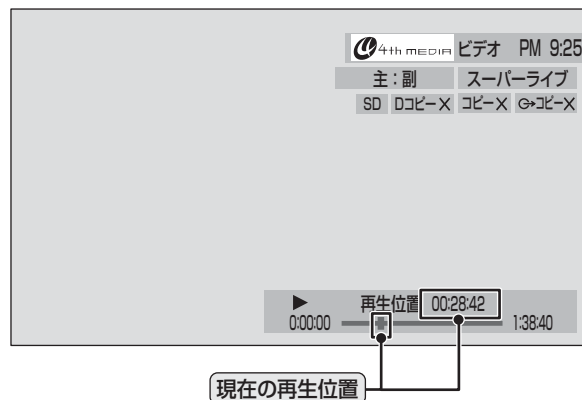
※ ビデオの視聴を終了すると「主：副」に戻ります。

ビデオ再生開始前の画面に戻るには

❶ 戻る または ■停止 を押す

ビデオなどの情報を見るには

❶ 画面表示 を押す

● 情報表示を消すには、もう一度押します。

4th MEDIAの「便利機能」を使う

※「便利機能」は、4th MEDIAがサービスしている機能ではなく、本機独自の機能です。

1 4th MEDIAを見ているときに 黄 を押す

● 便利機能リストが表示されます。

2 ◀·▶で機能を選び、決定を押す

● 機能(アイコン)を選ぶと、機能(アイコン)が反転します。

※ ここで設定した内容は、4th MEDIA を終了すると設定前の状態に戻ります。

アイコン、機能名	内容
「戻る」	一つ前のページに戻ります。
「進む」	一つ先のページに進みます。
「再読み込み」 ✕「中止」	:表示しているページを読み込みし直します。 ✕: 読込み中に読込みを中止します。 (読込み中のときは✕が表示され、それ以外のときはが表示されます)
「ホーム」	4th MEDIA のトップページに戻ります。
「メニュー」	・**「表示」**…「いろいろな設定～表示～」60 をご覧ください。 ・**「設定」**…「いろいろな設定～設定～」62 をご覧ください。 ※4th MEDIAのメニューに「ページ操作」、「設定」内「スタートアップ設定」はありません。また、「表示」内「詳細設定」と「ページ情報」、「設定」内「セキュリティ」と「Cookie」と「Cookie を削除する」は選択できません。

4th MEDIAの視聴制限について

● 4th MEDIAの視聴制限には、視聴年齢制限と番組購入制限があります。(視聴制限の設定については準備編 90 をご覧ください)
チャンネルやビデオを視聴する際に、視聴制限を超えている場合は暗証番号の入力が必要です。(その際、「ペアレンタルロックが設定されています。暗証番号を入力してください。」などのメッセージが表示されます)
※ ペイ・パー・ビューなどデジタル放送の視聴制限(準備編 93)と、4th MEDIAの視聴制限は別の設定です。

● 視聴年齢制限のあるプレミアムチャンネルの申込みをする際には、年齢認証キー※1の入力が必要です。(※1印については、別途お申込みが必要です)

お好みや使用状態に合わせて設定する

お好みの映像を選ぶ

1 クイックを押し、▲·▼で「映像設定」を選び、決定を押す

2 ▲·▼で「映像メニュー」を選び、決定を押す

3 ▲·▼でお好みの映像を選び、決定を押す（詳しくは、下表をご覧ください）
- 終わったら、終了を押します。

映像メニュー
あざやか
標準
映画
メモリー
テレビプロ
映画プロ

映像メニュー	内　容
あざやか	明るく、迫力ある映像で楽しむとき
標準	お部屋で落ち着いた雰囲気で楽しむとき（日常、ご家庭で使用するときの推奨設定です）
映画	暗くした部屋で映画館のような雰囲気で楽しむとき（暖かみのある色あいを再現します）
メモリー	お好みに調整した映像で楽しむとき
テレビプロ	テレビ番組を見るのに適した設定です（お好みにあわせて、さらに細かな調整を記憶させることができます）
映画プロ	映画を見るのに適した設定です（お好みにあわせて、さらに細かな調整を記憶させることができます）
ゲーム	ゲームのレスポンスを重視し、ゲームをするのに適した画質設定です（入力切換を「ビデオ入力1 ～ 4」「HDMI1、2、3」「D-sub」のどれかに切り換えているときに選べます）
PCファイン	PCの画面を表示するのに適した設定です。（入力切換を「HDMI1、2、3」「D-sub」のどれかに切り換えているときに選べます）

※「メモリー」、「テレビプロ」、「映画プロ」、「ゲーム」、「PCファイン」には、それぞれ異なったお好みの調整を記憶させることができます。
※ 映像メニューは、入力端子ごとにそれぞれ記憶させることができます。

お好みの映像に調整する

- 上記の「お好みの映像を選ぶ」で「テレビプロ」、「映画プロ」、「ゲーム」、「PCファイン」を選んで調整すると、調整した状態をそれぞれに記憶できます。それ以外を選んでいたときは、調整した状態が映像メニューの「メモリー」に記憶され、映像メニューも「メモリー」に設定されます。また、入力端子ごとに「メモリー」に記憶できます。

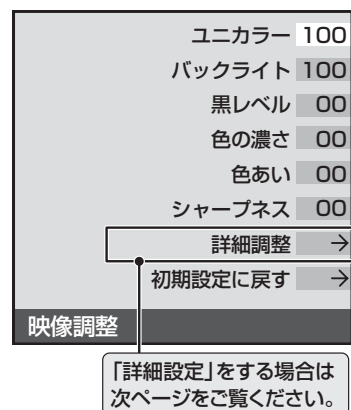
1 クイックを押し、▲·▼で「映像設定」を選び、決定を押す

2 ▲·▼で「映像調整」を選び、決定を押す

3 ▲·▼で調整項目を選び、決定を押す
- 調整項目の詳しい内容については、下表をご覧ください。

4 ◀·▶でお好みの映像に調整し、決定を押す
- いくつもの項目を設定する場合は、手順 **3**、**4** を繰り返してください。
- 決定を押さずに▲·▼で調整項目を切り換えることもできます。
- 調整が終わったら、終了を押します。

ユニカラー 100
バックライト 100
黒レベル 00
色の濃さ 00
色あい 00
シャープネス 00
詳細調整 →
初期設定に戻す →
映像調整

「詳細設定」をする場合は次ページをご覧ください。

調整項目	内　容	◀·▶を押したとき
ユニカラー	コントラスト・明るさ・色の濃さが同時に調整できます。	00 ～ 100 淡くなる⇔濃くなる
バックライト	お好みの見やすい画面の明るさに調整できます。	00 ～ 100 暗くなる⇔明るくなる
黒レベル	黒の階調を調整します。（黒髪などを見やすくします）	－50 ～ ＋50 暗くなる⇔明るくなる
色の濃さ	色の濃さが調整できます。	－50 ～ ＋50 淡くなる⇔濃くなる
色あい	色あいが調整できます。（肌の色に注目して調整します）	－50 ～ ＋50 紫っぽくなる⇔緑っぽくなる
シャープネス	映像の鮮明さが調整できます。	－50 ～ ＋50 やわらかい映像になる⇔くっきりした画像になる
詳細調整	さらに細かく映像を調整できます。	次ページをご覧ください。
初期設定に戻す	調整した項目をお買い上げ時の状態に戻します。	――――

映像をより細かく調整する

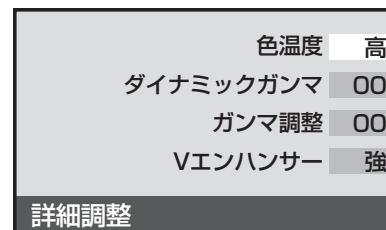
1 クイック を押し、▲·▼で「映像設定」を選び、決定 を押す

2 ▲·▼で「映像調整」を選び、決定 を押す

3 ▲·▼で「詳細調整」を選び、決定 を押す

詳細調整	
色温度	高
ダイナミックガンマ	00
ガンマ調整	00
Vエンハンサー	強

4 ▲·▼で調整項目を選び、決定 を押す
- 調整項目の詳しい内容については、下表をご覧ください。

5 ◀·▶または▲·▼でお好みの映像に調整し、決定 を押す
- 数字の調整項目は、◀·▶で調整します。それ以外は▲·▼でレベルを選び 決定 を押してください。
- いくつもの項目を設定する場合は、手順 **4**、**5** を繰り返してください。
- 調整が終わったら、終了 を押します。

映像の何を調整するか？	詳細調整項目		調整レベル	映像状態
色あいの調整 映像のホワイトバランスや肌色などを好みに合わせて生彩にします。	色温度 ※1		「低」「中」「高」	色調を調整します。 **低**：暖色系、**高**：寒色系
	色温度「低」「中」「高」	Gドライブ	－15～00～+15	明るい部分の色温度を微調整します。「＋」方向で緑(G)または青(B)が強くなります。
		Bドライブ	－15～00～+15	
階調の調整 映像の明部と暗部のコントラストのバランスを細かく調整します。	ダイナミックガンマ		00～+10	それぞれのシーンに最適な階調を調整し、調整を強くするに従って、メリハリ感が強調されます。
	ガンマ調整		－04～00～+04	映像の明部と暗部のコントラストのバランスを補正します。 「＋」方向で画面全体が明るくなります。
輪郭の調整 映像の輪郭などを強調したり弱めたりすることができます。	Vエンハンサー ※2 （垂直輪郭補正）		「オフ」「強」「中」「弱」	横線の輪郭を補正します。調整を強くするに従って、輪郭が強調されます。

※1 色温度調整は、まず▲·▼で「低」「中」「高」を選び、決定 を押します。そのあと、GドライブとBドライブのそれぞれの調整をしてください。
※2 Vエンハンサーは、入力切換が「D-sub」に切り換わっているときや「映像メニュー」で「PCファイン」を選択しているときには調整できません。

■ 映像調整をお買い上げ時の状態に戻すとき

❶ 上記の手順 **3** で▲·▼で「初期設定に戻す」を選び、決定 を押す
❷ ◀·▶で「はい」を選び、決定 を押す

お知らせ
- 設定メニュー(ふたの中)を押してメニューから「映像設定」を選ぶこともできます。

お好みや使用状態に合わせて設定する つづき

色を細かく調整する(カラーイメージコントロールプロ)

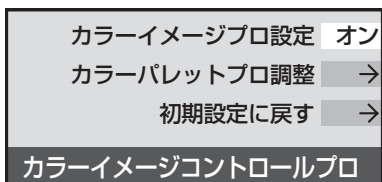
カラーイメージコントロールプロのオン/オフを設定する

● 下の「カラーパレットプロ調整」をする場合は、「オン」に設定します。(お買い上げ時は「オン」に設定されています)

1 クイック を押し、▲·▼で「映像設定」を選び、決定を押す

2 ▲·▼で「映像機能設定」を選び、決定を押す

3 ▲·▼で「カラーイメージコントロールプロ」を選び、決定を押す

4 ▲·▼で「カラーイメージプロ設定」を選び、決定を押す

5 ▲·▼で「オン」または「オフ」を選び、決定を押す

● 設定が終わったら、終了を押します。

カラーパレットプロ調整

● カラーパレットプロ調整には、「ベースカラー調整」と「ユーザーカラー調整」があります。

● 調整した内容は、「映像メニュー」68の「メモリー」に記憶されます。

ベースカラー調整

● レッド、グリーン、ブルーなどの色ごとに、色あいや色の濃さ、明るさを調整できます。

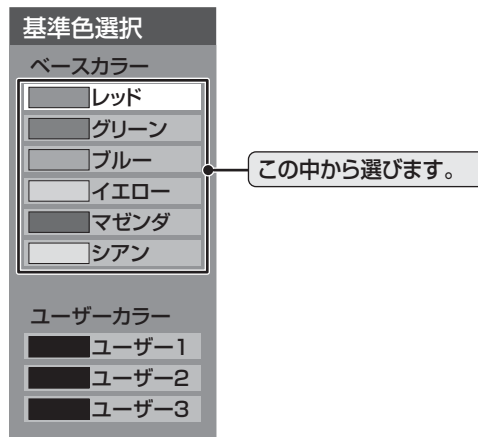
❶ 以下の操作で、「カラーパレットプロ調整」の画面にする

① クイック を押し、▲·▼で「映像設定」を選び、決定を押す

② ▲·▼で「映像機能設定」を選び、決定を押す

③ ▲·▼で「カラーイメージコントロールプロ」を選び、決定を押す

④ ▲·▼で「カラーパレットプロ調整」を選び、決定を押す

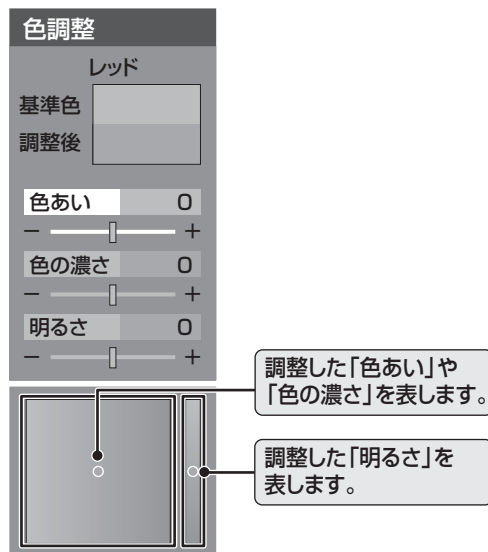
❷ ▲·▼で調整したい色を選び、決定を押す

❸ 以下の操作でお好みの色に調整する

① 青 を押して静止画にする

(もう一度押すと静止画が解除されます)

● 動画のままでも調整できますが、静止画のほうが調整しやすくなります。

② ▲·▼で「色あい」、「色の濃さ」、「明るさ」のどれかを選んだあと、◀·▶で調整する

※ 元の色(初期状態)に戻すには、赤 を押します。

③ 手順②で他の項目を選び、同様に調整する

④ 選んだ色の調整が終わったら、戻る を押す

※ いくつもの色を調整する場合は、手順❷、❸を繰り返します。

❹ 調整が終わったら、終了を押す

● 設定メニュー(ふたの中)を押してメニューから「映像設定」を選ぶこともできます。

● ベースカラーの調整範囲は−30 ～+30です。

● テレビを公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテルなどで、「カラーパレットプロ調整」を利用して、オリジナルの映像と異なる色の画面を表示すると、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがありますので、ご注意願います。

カラーパレットプロ調整　つづき

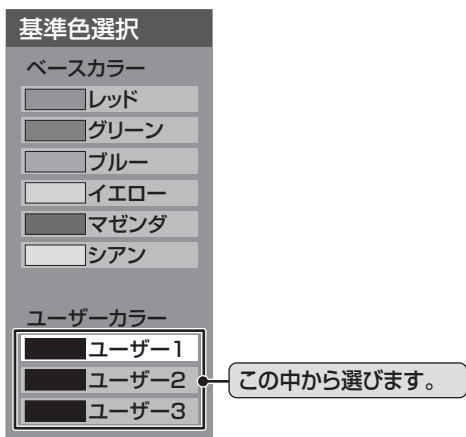
ユーザーカラー調整

- 実際にテレビ画面に表示されている色を指定して、その色の色あいや色の濃さ、明るさを調整できます。調整した結果は、指定した色と同じ色すべてに、同じように反映されます。肌色をお好みの色に調整する場合などに便利な機能です。

❶以下の操作で、「カラーパレットプロ調整」の画面にする

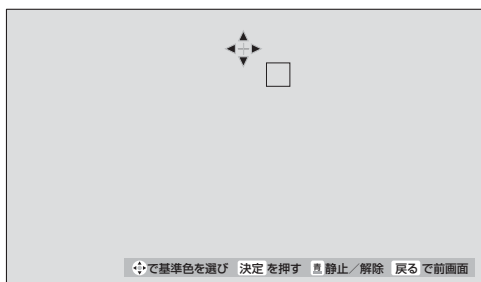
① クイック を押し、▲･▼で「映像設定」を選び、決定 を押す
② ▲･▼で「映像機能設定」を選び、決定 を押す
③ ▲･▼で「カラーイメージコントロールプロ」を選び、決定 を押す
④ ▲･▼で「カラーパレットプロ調整」を選び、決定 を押す

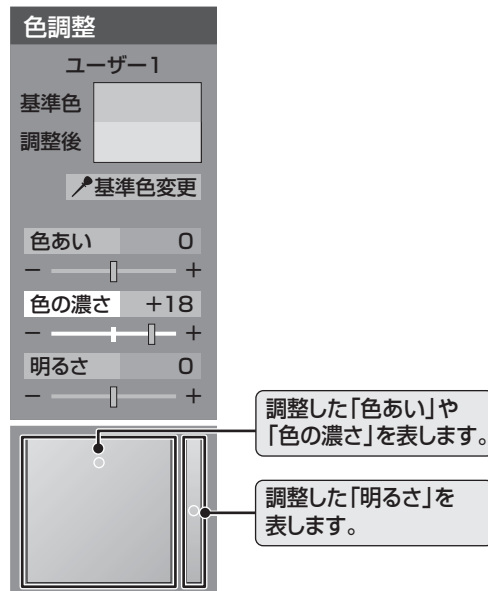
❷▲･▼で「ユーザー 1」「ユーザー 2」「ユーザー 3」のどれかを選び、決定 を押す

- 選んだパレットに記憶します。

❸以下の操作で調整したい色を登録する

① 青 を押して静止画にする
（もう一度押すと静止画が解除されます）
- 動画のままでも調整できますが、静止画のほうが調整しやすくなります。

② ▲･▼で「基準色変更」を選び、決定 を押す
- カーソルが表示されます。

③ ▲･▼･◀･▶でカーソルを調整したい色の上まで移動し、決定 を押す
- 「基準色」に色が登録されます。

❹以下の操作で新しく登録したい色に調整する

① 青 を押して静止画にする
② ▲･▼で「色あい」、「色の濃さ」、「明るさ」のどれかを選び、◀･▶で色を調整する
※ 元の色（初期状態）に戻すには、赤 を押します。

③ 手順②で他の項目を選び、同様に調整する
④ 色の調整が終わったら、戻る を押す

❺ 終了 を押して、メニューを消す

カラーイメージコントロールプロをお買い上げ時の状態に戻すとき

- すべての色がお買い上げ時の状態に戻ります。

❶以下の操作で、「カラーイメージコントロールプロ」の画面にする

① クイック を押し、▲･▼で「映像設定」を選び、決定 を押す
② ▲･▼で「映像機能設定」を選び、決定 を押す
③ ▲･▼で「カラーイメージコントロールプロ」を選び、決定 を押す

❷▲･▼で「初期設定に戻す」を選び、決定 を押す

❸初期設定に戻す場合は、◀･▶で「はい」を選び、決定 を押す

❹ 終了 を押して、メニューを消す

- ユーザーカラーの調整範囲は－30 ～＋30です。

お好みや使用状態に合わせて設定する つづき

ノイズリダクション(NR)設定

● 映像のノイズやざらつきを減らします。
※ 映像によっては、効果がわかりにくい場合があります。
● 設定した内容は、「映像メニュー」68の「メモリー」に記憶されます。

1 クイックを押し、▲·▼で「映像設定」を選び、決定を押す

2 ▲·▼で「映像機能設定」を選び、決定を押す

MPEG NR 弱
ダイナミックNR オート
ノイズリダクション設定

3 ▲·▼で「ノイズリダクション設定」を選び、決定を押す

4 設定したい項目を▲·▼で選び、決定を押す
● 設定項目については、下表をご覧ください。

5 ▲·▼でお好みの映像に調整し、決定を押す
● 別の項目を設定する場合は、手順 **3**、**4** を繰り返してください。
● 調整が終わったら、終了を押します。

映像の何を調整するか？	設定項目	設定レベル	映像状態
ノイズ量の調整 映像のノイズ量を調整します。	MPEG NR（エムペグ）	「オフ」「強」「中」「弱」	デジタル放送やDVDなどの動きの速い映像の、ブロックノイズ(モザイク状のノイズ)を減らす機能と、モスキートノイズ(輪郭のまわりにつく、ちらつきノイズ)を減らす機能です。 ※強くかけると精細感をそこなう場合があります。
	ダイナミック NR	「オート」「強」「中」「弱」「オフ」	画像のざらつきノイズやちらつきを減らす機能です。 ※強くかけると残像が気になる場合があります。 通常は「オート」に設定してください。

※ 75の「ドット·クロスカラーリダクション」を「オン」に設定すると、「ダイナミックNR」は働きません。
※ ノイズリダクション設定は、外部入力が「D-sub」になっているときには調整できません。

ヒストグラムバックライト制御

● 「オン」にすると映像の明るさに応じてバックライトの明るさを自動調整し、メリハリのある映像にします。
● 「オン」に設定すると、「映像メニュー」68は「メモリー」になります。

1 クイックを押し、▲·▼で「映像設定」を選び、決定を押す

2 ▲·▼で「映像機能設定」を選び、決定を押す

3 ▲·▼で「ヒストグラムバックライト制御」を選び、決定を押す

4 ▲·▼で「オン」または「オフ」を選び、決定を押す
● 設定が終わったら、終了を押します。

モーションクリア

● 「オン」に設定すると、動きの速い映像で生じるブレやぼやけを減らすことができます。
※ 「映像メニュー」68で「ゲーム」を選んでいるときには、設定できません。

1 クイックを押し、▲·▼で「映像設定」を選び、決定を押す

2 ▲·▼で「映像機能設定」を選び、決定を押す

3 ▲·▼で「モーションクリア」を選び、決定を押す

4 ▲·▼で「オン」または「オフ」を選び、決定を押す
● 設定が終わったら、終了を押します。

オートファインシネマ設定

● 映画ソフトのもつ映像の動きと画質を再現します。

1 クイックを押し、▲·▼で「映像設定」を選び、決定を押す

2 ▲·▼で「映像機能設定」を選び、決定を押す

3 ▲·▼で「オートファインシネマ」を選び、決定を押す

4 ▲·▼で以下の項目から選び、決定を押す
- 5-5フィルムモード‥ 映画などの映像フィルムを原画に忠実な映像に再現します。(お買い上げ時の状態です)
- スムーズモード‥ 映画などのフィルム映像を原画よりもなめらかな映像に再現します。
- オフ……… 特別な処理をせずにそのまま映します。

※ 「5－5フィルムモード」、「スムーズモード」を選んだときに映像に違和感がある場合は、「オフ」に設定してください。
● 設定が終わったら、終了を押します。

お好みや使用状態に合わせて設定する

● 設定メニュー(ふたの中)を押してメニューから「映像設定」を選ぶこともできます。
■ モーションクリア、オートファインシネマ設定について
● 映像によっては、効果がわかりにくい場合があります。
● モーションクリアを「オン」、またはオートファインシネマを 「5－5フィルムモード」や「スムーズモード」にしている場合、映像が乱れることがあります。

お好みや使用状態に合わせて設定する つづき

画面のスキャンサイズを設定する

● 「画面サイズ切換」で「フル」または「ノーマル」を選んだときに、画面に表示する映像の範囲を設定します。

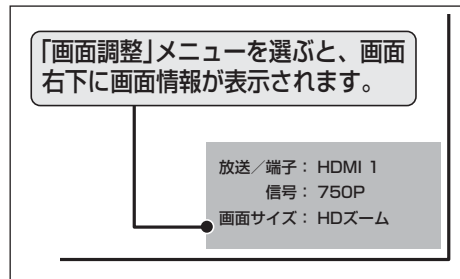
1 クイック を押し、▲·▼で「映像設定」を選び、決定 を押す

2 ▲·▼で「画面調整」を選び、決定 を押す

3 ▲·▼で「スキャンサイズ切換」を選び、決定 を押す

4 ▲·▼で希望の設定を選び、決定 を押す

- **ジャスト**········映像を画面内にすべて表示するモードです。
- **オーバー 1**······映像を少し大きめに表示するため、周囲の映像が画面の外に隠れることがあります。
  ※「ジャスト」を選んだときに映像の周りの黒いフチやチラツキが気になる場合、選んでください。
- **オーバー 2**······「オーバー 1」よりも、さらに大きめに表示するモードです。

● 設定が終わったら、終了 を押します。

画面の位置や幅を調整する

● 「画面調整」は、画面右下に表示されている「放送／端子、信号、画面サイズ」の組み合わせごとに設定内容を記憶します。

放送や外部機器（PC以外）からの映像の場合

● 周囲の映像が隠れたり、字幕がはいりきらないとき調整することができます。

1 クイック を押し、▲·▼で「映像設定」を選び、決定 を押し、「画面調整」を選び 決定 を押す

2 ▲·▼で調整したい項目を選び、決定 を押す

- **上下振幅調整**····映像の縦のサイズを調整します。
- **上下画面位置**····映像の表示位置を上下に調整します。
- **左右振幅調整**····映像の横のサイズを調整します。

3 ◀·▶でお好みの状態に調整し、決定 を押す

● 上下振幅や左右振幅は－03 ～＋03、映像の表示位置は、－10 ～＋10の範囲で調整できます。
● 調整画面では◀·▶を押さないと数秒でメニュー画面に戻ります。
● 調整が終わったら、終了 を押します。

PCからの信号の場合（D-sub端子に接続したときのみ）

● D-sub端子にPCを接続したときに、左右画面位置やチラツキが気になるときには、以下を調整してください。

1 クイック を押し、▲·▼で「映像設定」を選び、決定 を押し、「画面調整」を選び 決定 を押す

2 ▲·▼で調整したい項目を選び、決定 を押す

- **上下振幅調整**····映像の縦のサイズを調整します。
- **上下画面位置**····映像の表示位置を上下に調整します。
- **左右振幅調整**····映像の横のサイズを調整します。
- **左右画面位置**····映像の表示位置を左右に調整します。
- **クロック位相**····文字などのチラツキを調整します。
- **クロック周波数**····縦じま状のチラツキを調整します。

3 ◀·▶でお好みの状態に調整し、決定 を押す

● 左右画面位置は、－10～＋10、上下画面位置は、－10 ～＋10、クロック位相は－30 ～＋30、クロック周波数は－5 ～＋5の範囲で調整できます。
● 調整画面では◀·▶を押さないと数秒でメニュー画面に戻ります。
● 調整が終わったら、終了 を押します。

お知らせ

■ 画面のスキャンサイズ切換について
● 見ている信号によっては、調整できない場合があります。

■ 画面調整について
● VGA（640×480）·75Hzの信号を入力した場合、上下位置調整は、－8 ～＋8の範囲で調整できます。
● 見ている信号と画面サイズによっては、調整できない場合があります。

■ 画面調整をお買い上げ時の状態に戻すとき

❶ 上記の手順 **2** で▲·▼で「初期設定に戻す」を選び、決定 を押す
❷ ◀·▶で「はい」を選び、決定 を押す

色空間

● 色を表現する範囲を広げ、より色を鮮やかに再現することができます。
● 外部入力が「HDMI1」、「HDMI2」、「HDMI3」に切り換わっているときに選ぶことができます。
● お買い上げ時は「オート」に設定されています。

1 クイックを押し、▲·▼で「映像設定」を選び、決定を押す

2 ▲·▼で「色空間」を選び、決定を押す

3 ▲·▼で「オート」、「ワイド」、「スタンダード」のいずれかを選び、決定を押す

- **オート**……見ている信号によって自動的に「ワイド」「スタンダード」を切り換えます。
- **ワイド**……色の再現域を広げ、鮮やかな色彩を表現します。
- **スタンダード**…特別な処理をせずにそのまま映します。

● 設定が終わったら、終了を押します。

明るさセンサー

● 「オン」に設定すると、周囲の明るさにあわせて、画面の明るさを自動で調整します。
● お買い上げ時は「オン」に設定されています。

1 クイックを押し、▲·▼で「映像設定」を選び、決定を押す

2 ▲·▼で「明るさセンサー」を選び、決定を押す

3 ▲·▼で「オン」または「オフ」を選び、決定を押す

● 設定が終わったら、終了を押します。

ドット・クロスカラーリダクション設定

● 画像のざらつきノイズを減らす設定です。
● 「オン」に設定すると、つぶ状のノイズや虹状のにじみを減らします。
※ 映像によっては残像が気になる場合や、効果がわかりにくい場合があります。

1 クイックを押し、▲·▼で「映像設定」を選び、決定を押す

2 ▲·▼で「ドット・クロスカラーリダクション」を選び、決定を押す

3 ▲·▼で「オン」または「オフ」を選び、決定を押す

● 調整が終わったら、終了を押します。

※ 「ノイズリダクション設定」72で、「ダイナミックNR」を「オフ」以外に設定すると「ドット·クロスカラーリダクション」は自動的に「オフ」になります。
※ 「ドット·クロスカラーリダクション」は、標準画質の番組をハイビジョンに変換して放送している場合と、デジタル標準テレビ放送(SD)に効果が発揮されますが、それ以外の場合には残像が気になることがあります。そのため「オン」の設定は一時的なものとなっており、**選局や電源切(待機)/入などをすると、自動的に「オフ」となります。**
※ 「ドット·クロスカラーリダクション」は、地上アナログ放送、S端子、D端子、HDMI端子から以外のアナログビデオ信号、750p(720p)、1125p(1080p)の信号、PCフォーマットの映像では「オン」に設定できません。

● 設定メニュー(ふたの中)を押してメニューから「映像設定」を選ぶこともできます。

■ **明るさセンサーについて**

● 明るさセンサーの近くに物を置いたり、ふさいだりしないでください。明るさセンサーが正しく動作しなくなることがあります。明るさセンサーの位置は4をご覧ください。

お好みや使用状態に合わせて設定する つづき

お好みの音声を選ぶ

● 「音声メニュー」は、入力端子ごとにそれぞれ記憶させることができます。

音声メニュー
ダイナミック
標準
映画
メモリー
テレビプロ
映画プロ

1 クイック を押し、▲·▼で「音声設定」を選び、決定 を押す

2 ▲·▼で「音声メニュー」を選び、決定 を押す

3 ▲·▼でお好みの音声を選び、決定 を押す（詳しくは、下表をご覧ください）
● 終わったら、終了 を押します。

音声メニュー	内　容
ダイナミック	音楽やドラマなどを楽しむとき（イコライザー、サラウンド、低音補正が最適に調整されます）
標準	ニュースや情報番組などを楽しむとき（イコライザー、サラウンド、低音補正が最適に調整されます）
映画	映画を楽しむとき（イコライザー、サラウンド、低音補正が最適に調整されます）
メモリー	お好みに調整した映像で楽しむとき
テレビプロ	お買い上げ時は「標準」メニューと同様の設定です。（お好みにあわせて、さらに細かな調整を記憶させることができます）
映画プロ	お買い上げ時は「映画」メニューと同様の設定です。（お好みにあわせて、さらに細かな調整を記憶させることができます）

※「メモリー」、「テレビプロ」、「映画プロ」には、それぞれ異なったお好みの調整を記憶させることができます。

音声をより細かく調整する

イコライザー

● イコライザーで設定をすると、より詳細に音質の調整をすることができます。

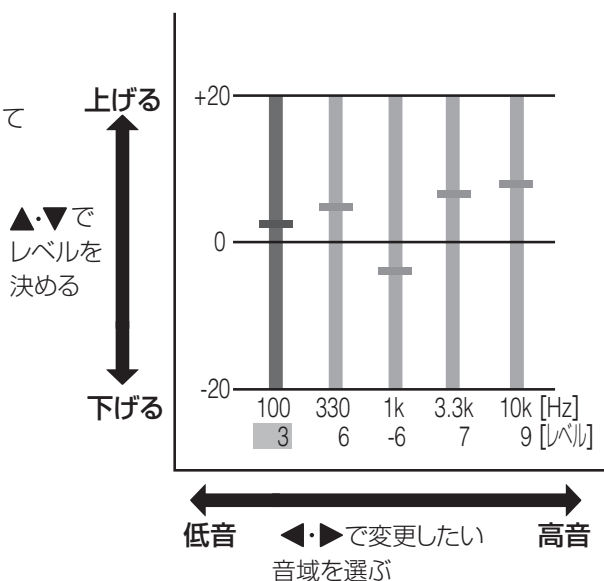
1 クイック を押し、▲·▼で「音声設定」を選び、決定 を押す

2 ▲·▼で「音声調整」を選び、決定 を押す

3 ▲·▼で「イコライザー」を選び、決定 を押す

4 ◀·▶で調整したい音域を選び、▲·▼でレベルを変更する

●いくつもの項目を設定する場合は、手順 **4** を繰り返してください。
● 変更前の音に戻すには、赤 を押します。
● 調整が終わったら、終了 を押します。

使用例①：セリフなどがこもった感じで聞き取りにくい場合は、330Hzのレベルを上げる。
使用例②：バラエティ番組等のにぎやかな感じを抑えたい場合は、3.3kHzと1kHzを少し下げる。

● 設定メニュー（ふたの中）を押してメニューから「音声設定」を選ぶこともできます。
● 電波の弱いステレオ放送のときに雑音が気になる場合は、「モノラル音声」に切り換えることができます。（準備編 80）

サラウンド

● サラウンドは本機のスピーカーだけで、ステレオ音声の音に広がりを持たせる機能です。

1 クイック を押し、▲·▼で「音声設定」を選び、決定 を押す

2 ▲·▼で「音声調整」を選び、決定 を押す

3 ▲·▼で「サラウンド」を選び、決定 を押す

イコライザー	→
サラウンド	シネマサラウンド
低音補正	→
初期設定に戻す	→
音声調整	

4 ▲·▼でお好みの調整項目を選び、決定 を押す

- **ライブサラウンド** …… 音楽番組等のステレオ放送を視聴するのに適したモードです。音の左右に広がり感を出します。
- **シネマサラウンド** …… ステレオ放送や外部機器からのドルビーサラウンド(Lt/Rt)信号に適したモードです。左右の広がり感にあわせて、奥行き感も加わります。
- **オフ** …………………… サラウンド機能をオフにします。

● 調整が終わったら、終了 を押します。

低音補正

● 低音補正は低音域をより細かく調整する機能です。

1 クイック を押し、▲·▼で「音声設定」を選び、決定 を押す

2 ▲·▼で「音声調整」を選び、決定 を押す

3 ▲·▼で「低音補正」を選び、決定 を押す

4 ▲·▼でお好みの調整項目を選び、決定 を押す

音声の何を調整するか？	詳細調整項目	調整レベル	説明
低音 低音をより強調します。	低音補正設定	「オン」「オフ」	低音補正を使用する場合は、**「オン」**に設定します。
	低音補正周波数	「200Hz」「150Hz」「100Hz」	低音補正をしたい周波数を選びます。**「100Hz」**が一番低い低音になります。
	低音補正レベル	「強」「中」「弱」	それぞれの周波数のレベルを3段階に調整することができます。

■ 音声調整をお買い上げ時の状態に戻すとき

❶ 上記の手順 **3** で▲·▼で「初期設定に戻す」を選び、決定 を押す

❷ ◀·▶で「はい」を選び、決定 を押す

お好みや使用状態に合わせて設定する

■ サラウンドについて
● 音声多重放送を視聴しているときには働きません。

お好みや使用状態に合わせて設定する つづき

左右のスピーカーバランスを調整する

● 左右のスピーカー音声のバランスを調整することができます。

1 クイック を押し、▲·▼で「音声設定」を選び、決定を押す

2 ▲·▼で「バランス」を選び、決定を押す

3 ◀·▶でお好みのバランスに調整し、決定を押す

● 調整が終わったら、終了を押します。

自動レベル補正

● レベルの大きい音を下げて、音声を聞きやすくする設定です。テレビ番組からコマーシャルに切り換わったときなどに起こりがちな急な音量の変化を減らします。

1 クイック を押し、▲·▼で「音声設定」を選び、決定を押す

2 ▲·▼で「自動レベル補正」を選び、決定を押す

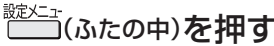
3 ▲·▼で「オン」または「オフ」を選び、決定を押す

ドルビーダイナミックレンジコントロール

● USB HDD、HDMI端子やLAN端子に接続した機器から、ドルビーデジタルで記録された番組などを見る場合に使用できます。
※ デジタル放送を視聴する場合には働きません。
●「自動レベル補正」と同時に使用することができます。

1 クイック を押し、▲·▼で「音声設定」を選び、決定を押す

2 ▲·▼で「ドルビーダイナミックレンジコントロール」を選び、決定を押す

3 ▲·▼で「オン」または「オフ」を選び、決定を押す

● 設定メニュー(ふたの中)を押してメニューから「音声設定」を選ぶこともできます。

■ ドルビーダイナミックレンジコントロールについて
●「自動レベル補正」と同時に使用すると、各機能を単独で使用した場合に比べ、効果が分かりにくい場合があります。
● HDMI接続した機器からの番組を視聴しているときには、ドルビーデジタルの音声信号が出力されるよう接続機器側を設定してください。

省エネ設定

1 設定メニュー(ふたの中)を押す

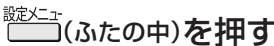
2 ▲·▼で「機能設定」を選び、決定を押す

3 ▲·▼で「省エネ設定」を選び、決定を押す

4 設定する項目を▲·▼で選び、決定を押す
● 各設定項目の内容は下表のとおりです。

5 希望の設定を▲·▼で選び、決定を押す
● いくつもの項目を設定する場合は、手順 **3**、**4** を繰り返してください。
● 設定が終わったら、終了を押します。

消費電力	標準
番組情報取得設定	取得する
無操作自動電源オフ	動作しない
オンエアー無信号オフ	待機にする
外部入力無信号オフ	待機にする

省エネ設定

設定項目	設定と内容
消費電力	・**標準** ……標準の明るさです。 ・**減1** ……画面の明るさをおさえて、消費電力を低減します。 ・**減2** ……明るさと消費電力を「減1」よりさらにおさえたモードです。
番組情報取得設定	・**取得する** ………電源が「待機」状態(リモコンの電源ボタンで電源を切った状態)のときにデジタル放送の番組情報を取得します。取得時に電力を消費します。 ・**取得しない** ……番組情報を取得しません。そのため、番組表の内容が表示されない場合があります。
無操作自動電源オフ	・**待機にする** ……テレビの無操作状態が約3時間続くと、電源が切れ待機状態になります。 ・**動作しない** ……テレビの無操作状態が続いても電源が切れません。
オンエアー無信号オフ	・**待機にする** ……放送受信時に、無信号状態が約15分間続くと、電源を切り待機状態にします。 ・**動作しない** ……無信号状態が続いても電源が切れません。 ※ビデオ入力(外部入力)を選んでいるときは機能しません。
外部入力無信号オフ	・**待機にする** ……外部入力選択時やi.LINK機器操作モードのときに、無信号状態が約15分間続くと、電源が切れ待機状態になります。 ・**動作しない** ……無信号状態が続いても電源が切れません。

その他

B-CASカード番号表示

● B-CASカードに登録されている番号をテレビ画面で確認することができます。

1 設定メニュー(ふたの中)を押す

2 ▲·▼で「機能設定」を選び、決定を押す

3 ▲·▼で「B-CASカード番号表示」を選び、決定を押す
● テレビ画面にB-CASカードの情報が表示されます。
● 内容を確認したら、終了を押します。

ダウンロードについて

ダウンロード機能とは

- 本機のソフトウェアを書き換える機能です。機能の追加や改善をします。
- ダウンロードには、下表の三つの場合があります。

BSや地上Dの放送波で送られる自動ダウンロード用ソフトウェアをダウンロードする	あらかじめ設定しておくことによって、自動ダウンロード用のソフトウェアが送られてきたときに、本機が自動的にダウンロードします。
BSや地上Dの放送波で送られる任意ダウンロード用ソフトウェアをダウンロードする	任意ダウンロードについての情報があるときは「本機に関するお知らせ」25 でお知らせします。 ダウンロードをする場合は、下の操作でダウンロード予約をしてください。
東芝サーバーからソフトウェアをダウンロードする（次ページ）	イーサネット通信（LAN端子の接続）によって、東芝サーバーからソフトウェアのダウンロードをします。

ダウンロード中は、電源プラグを抜いたり、本体の電源ボタンで電源を切ったりしないでください。
ソフトウェアの書込みが中断され、本機が正常に動作しなくなる場合があります。

放送波で送信されるソフトウェアをダウンロードする

- ダウンロードをするには、あらかじめ、電源「入」の状態でBSまたは地上デジタル放送を数分間受信する必要があります。（本機がダウンロード情報を取得するためです）
- ダウンロードは電源が「待機」のときにだけ行われます。

自動ダウンロードの設定をする

- お買い上げ時は自動ダウンロードするように設定されています。
- 「ダウンロードしない」に設定した場合は、自動ダウンロードサービスが行われていることを「本機に関するお知らせ」25 でお知らせします。

1 設定メニュー（ふたの中）を押し、▲·▼で「機能設定」を選び、決定を押す

2 ▲·▼で「ソフトウェアのダウンロード」を選び、決定を押す

3 ▲·▼で「放送からのダウンロード」を選び、決定を押す

4 ▲·▼で「自動ダウンロード」を選び、決定を押す

5 ▲·▼で「ダウンロードする」または「ダウンロードしない」を選び、決定を押す

- 青を押して自動ダウンロードの日時一覧を確認することができます。
- 設定が終わったら、終了を押します。

任意ダウンロードをするには

- 任意ダウンロードの情報があるときには「本機に関するお知らせ」25 でお知らせします。
ダウンロードする場合は、以下の操作でダウンロードの予約をしてください。

1 左の手順 1 ～ 3 をする

2 ▲·▼で「ダウンロードの予約」を選び、決定を押す

3 画面の説明を読み、ダウンロード予約する場合は、◀·▶で「はい」を選び、決定を押す

4 ▲·▼で予約日時を選び、決定を押す

5 画面のメッセージを読み、決定を押す

- 予約できるダウンロードは一つです。
- 終わったら、終了を押します。
- **予約の開始時刻の前までにリモコンの電源ボタンを押して電源を「待機」にしておいてください。**

- 任意ダウンロード用のソフトウェアは、お客様が任意で採用するものであり、自動ダウンロード用のソフトウェアとは異なります。
- ダウンロードによって、一部の設定内容がお買い上げ時の状態に戻ったり、予約やお知らせが削除されたりする場合があります。
- 任意ダウンロードの開始時刻に本機からの録画をしていると、ダウンロード予約は取り消されます。
- 悪天候の場合や録画予約との重複などによってダウンロードが取り消された場合、「本機に関するお知らせ」25 でお知らせします。

放送波で送信されるソフトウェアをダウンロードする つづき

任意ダウンロードをするには つづき

任意ダウンロード予約の日時を変更するには

❶前ページの「任意ダウンロードをするには」の手順 **1** ～ **3** の操作で、予約日時一覧の画面にする
❷変更後の日時を▲･▼で選び、(決定)を押す
❸◀･▶で「はい」を選び、(決定)を押す
❹画面のメッセージを読み、(決定)を押す
- 終わったら、(終了)を押します。
- 予約開始時刻の前までに、リモコンの(電源)を押して電源を「待機」にしておいてください。

任意ダウンロード予約を取り消すには

❶前ページの「任意ダウンロードをするには」の手順 **1** ～ **3** の操作で、予約日時一覧の画面にする
❷予約済みのダウンロード日時を▲･▼で選び、(決定)を押す
❸画面のメッセージを読み、◀･▶で「はい」を選び、(決定)を押す
- 終わったら、(終了)を押します。

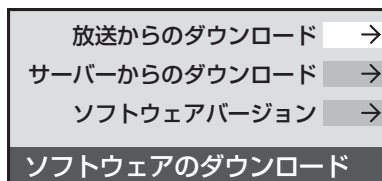
東芝サーバーからダウンロードする

- イーサネット通信を利用して東芝サーバーに接続し、ソフトウェアをダウンロードします。
- あらかじめ、LAN端子の接続と設定が必要です。（準備編 28、85）

ダウンロードの自動確認を設定する

- 「ダウンロードの自動確認」を「確認する」に設定しておくと、東芝サーバーからのダウンロードの情報があるときには「本機に関するお知らせ」25 でお知らせします。

1 (設定メニュー)（ふたの中）を押し、▲･▼で「機能設定」を選び、(決定)を押す

2 ▲･▼で「ソフトウェアのダウンロード」を選び、(決定)を押す

3 ▲･▼で「サーバーからのダウンロード」を選び、(決定)を押す

4 ▲･▼で「ダウンロードの自動確認」を選び、(決定)を押す

5 ▲･▼で「確認する」または「確認しない」を選び、(決定)を押す
- 終わったら、(終了)を押します。

ダウンロードをする

- 東芝サーバーからソフトウェアをダウンロードして、本機内部のソフトウェアを更新します。

1 左下の手順 **1** ～ **3** をする

2 ▲･▼で「ダウンロード開始」を選び、(決定)を押す

3 ◀･▶で「はい」を選び、(決定)を押す
- ソフトウェアのダウンロードが始まります。

4 画面の説明文を読んだあと◀･▶で「はい」を選び、(決定)を押す
- ソフトウェアの更新をしない場合は「いいえ」を選びます。

5 画面の指示に従って、操作する
- ソフトウェアの更新にはしばらく時間がかかる場合があります。
- ソフトウェアの更新が終了したあとで(決定)を押すと、電源が「待機」になってから再び「入」になり、通常の視聴ができるようになります。

ソフトウェアのバージョンを確認する

1 左の手順 **1**、**2** をする

2 ▲･▼で「ソフトウェアバージョン」を選び、(決定)を押す

3 ソフトウェアのバージョンを確認して、(決定)を押す
- 確認したら、(終了)を押します。

その他

- 回線の速度が遅い場合には、正しくダウンロードできないことがあります。このとき、「通信エラー」が表示されます。サーバーが一時的に停止していることもありますので、LAN端子の接続や設定（準備編 28、85）を確認し、数時間後にもう一度ダウンロードしてみてください。

困ったときには...

以下をご確認ください

自然現象や本機の特性に関すること

BS・110度CSデジタル放送での一時的な映像障害

- アンテナへの積雪や豪雨などで電波が弱くなったときには、映像にノイズが多くなったり、映らなくなったりすることがあります。
- 春分、秋分、日食など、太陽と衛星の方向が一致する食のときには、放送が休止になります。

キャビネットからの「ピシッ」というきしみ音

- 「ピシッ」というきしみ音は、部屋の温度変化でキャビネットが伸縮するときに発生する音です。画面や音声などに異常がなければ心配ありません。

本機内部からの「カチッ」という音

- 本機は、電源が「待機」のときに番組情報取得などの動作をします。このときに、本機内部から「カチッ」という音が聞こえることがあります。

本機内部からの「ジー」という音

- 本機から「ジー」という液晶パネルの駆動音が聞こえる場合がありますが、故障ではありません。

蛍光管について

- お買い上げ時、蛍光管の特性上、画面にちらつきが出ることがあります。この場合、本体の電源をいったん「切」にして、もう一度電源を入れ直して確認してください。

■ 修理・改造・分解はしない
内部には電圧の高い部分があり、感電・火災の原因となります。
内部の点検・調整および修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

- 電源プラグがはずれたり、アンテナなどに異常があると本機の故障と間違えることがあります。
修理を依頼される前に以下のことをお調べください。

基本操作

このようなとき	確認事項	対処のしかた・その他
電源がはいらない	• 待機表示ランプ(赤)は点灯していますか。	• 待機表示ランプ(赤)が点灯していない場合は、電源プラグがコンセントに正しく差し込まれているかご確認ください。本体の電源ボタンを押して電源を入れてください。4
	• 待機表示ランプ(赤)が点滅していますか。	• 電源プラグをコンセントから抜き、一分以上たってからもう一度コンセントに差し込んでも待機表示ランプ(赤)が点滅しているときは故障です。本体の電源ボタンで電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ店にご相談ください。
リモコンが動作しない	• 待機表示ランプ(赤)は点灯していますか。	• 待機表示ランプ(赤)が点灯していないときは、本体の電源ボタンを確実に押して電源を入れてください。4
	• リモコンを本機のリモコン受光部に向けて操作していますか。	• リモコンをリモコン受光部に向けてください。(準備編 20)
	• リモコンの乾電池が消耗していませんか。	• 新しい乾電池に交換してみてください。(準備編 20)
	• リモコンの乾電池の極性(＋、－)が逆向きにはいっていませんか。	• 極性(＋、－)を正しく入れてください。(準備編 20)
	• 本体のボタンで音量調整などの操作ができますか。	• 上記を確認してもリモコンで操作ができない場合はリモコンの故障が考えられます。お買い上げ店にご相談ください。(準備編 20)
すべての操作ボタンが動作しない	• 電源プラグがコンセントに正しく差し込まれていますか。 ※ソフトウェアのダウンロード 80 をしている場合は、終了するまで操作ボタン(本体、リモコンの 電源 以外のボタン)は動作しません。**ソフトウェアのダウンロード中は、絶対に電源プラグを抜いたり、本体の電源ボタンで電源を切ったりしないでください。**ソフトウェアの書き込みが中止され、正常に動作しなくなることがあります。	• 本体の電源ボタンを押して電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。約10秒後に電源プラグをコンセントに差し込み、本体の電源ボタンを押して電源を入れてください。(リセット)

このようなとき	確認事項	対処のしかた・その他
地上アナログ放送の番組表が表示されない	• 正しい接続・設定をしていますか。	• 13 冒頭、番組表についての説明をご覧ください。
番組表の文字が小さい	―――	•「文字サイズ変更」17 で文字の大きさを変更してください。

映像

このようなとき	確認事項	対処のしかた・その他
放送の映像が出ない	• アンテナ線がはずれていませんか。	• アンテナ線を正しく接続してください。（準備編 24）
	• アンテナ、アンテナ線が破損、または断線していませんか。	• アンテナ、アンテナ線をご確認ください。
	• アンテナは正しい方向に向いていますか。	• アンテナを正しい方向に向けてください。
	• 音声は出ていますか。	• 音声が出ている場合は、本体の電源ボタンで電源を切り、もう一度電源を入れてください。
映像や番組表が表示されるまでに時間がかかる	• 本体の電源ボタンで電源「入」にしましたか。	• 本体の電源ボタンで電源「入」にしたときは時間がかかります。（リモコンで電源「入」にしたときよりも時間がかかります）
	• 別の放送メディアのチャンネルを選局しましたか。	• 別の放送メディアのチャンネルを選局した場合は映像が表示されるまでやや時間がかかります。
接続した機器の映像が出ない	• 接続コードが正しく接続されていますか。	• 接続した映像コードの入力、出力が合っているか確認してください。
	• 入力切換は合っていますか。	• 本体またはリモコンの 入力切換 で外部機器を接続した入力端子を選んでください。
色がつかない、色がおかしい、画面が暗い	• ご希望の映像メニューや映像調整になっていますか。	• 映像メニューをご確認ください。68 映像メニューを選択してもご希望の映像にならない場合は「映像調整」68 でご希望の映像に設定します。
映像が二重、三重になる（ゴースト）	• 山やビルなどからの反射電波が考えられます。アンテナの位置、高さ、向きは合っていますか。	• アンテナの位置、高さ、向きを変えてみてください。（お買い上げの販売店にご相談ください）
雪や雨が降ったような画面になる	• アンテナの向きがずれていませんか。 • アンテナ線がはずれたり、切れたりしていませんか。	• アンテナの向き、アンテナ線の接続（準備編 24）に問題がない場合は、チャンネル設定が正しいか確認してください。（準備編 72）
画面にはん点が出る	• 平行フィーダー線（準備編 24 お知らせ）をお使いではありませんか。	• 自動車、オートバイ、電車、高圧線、ネオンサイン、クリーナー、ヘアードライヤーなどからの妨害が原因と考えられます。アンテナ線の位置を原因妨害源（道路など）から離れた位置に移動することをお勧めします。 • 平行フィーダー線から電波妨害に強い同軸ケーブルに変えてみることをお勧めします。 ※上記の対処で直らない場合は、お買い上げ店などにご相談ください。
画面にしま模様が出る	• 平行フィーダー線（準備編 24 お知らせ）をお使いではありませんか。	• 近くのテレビやパソコン、テレビゲーム、ビデオ、オーディオ機器、DVD 機器、携帯電話などや無線局などからの電波の混信が考えられます。 • アンテナ線は他の機器の電源コードや接続ケーブルからできるだけ離してみてください。 ※上記の対処で直らない場合は、お買い上げ店などにご相談ください。
映像の輪郭が乱れる	―――	•「映像設定」内の「モーションクリア」73 や「オートファインシネマ」73 を「オフ」にしてみてください。

困ったときには… つづき

音声

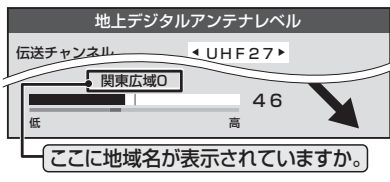
このようなとき	確認事項	対処のしかた・その他
音声が出ない	• 音量が最小になっていませんか。	• [+音量−]で音量を上げてみてください。4
	• 画面に「消音」マークが表示されていませんか。	• [消音]を押すと消音を解除できます。4 （[+音量−]を押しても解除されます）4
ときどき音声が出ない、音がとぎれる	• 電波が弱いチャンネルではありませんか。	• 無信号消音機能が働いていることが考えられます。「無信号消音設定」を「オフ」にしてみてください。（準備編80）。

デジタル放送関係

デジタル放送全般

このようなとき	確認事項	対処のしかた・その他
デジタル放送だけが映らない	• B-CASカードが正しく挿入されていますか。（カードの上下や裏表は正しいですか）	• B-CASカードを挿入しないと、放送や「放送局からのお知らせ」の受信ができません。B-CASカードを正しい方向で入れてください。（準備編22）
	• アンテナをさえぎる障害物はありませんか。 • アンテナ線がはずれていませんか。 • アンテナの向きがずれていませんか。	• BS・110度CSアンテナの方向を確認・調整してください。（準備編32） • 地上デジタル放送に対応したアンテナ線が正しく接続されているかをご確認ください。
	• BS、110度CS放送の場合、アンテナ電源供給が「供給しない」になっていませんか。	• マンションなどの共聴アンテナ以外ではアンテナ電源供給を「供給する」にします。（準備編32）
映像や音声が（ときどき）出たり、出なかったりする 映像の動きが（ときどき）停止する	• 電波の種類（BS、110度CS、地上デジタル）に適合したアンテナを使用していますか。 • 衛星デジタル放送の場合、地域に適したサイズ（口径）のアンテナを使用していますか。	• 放送に適合したアンテナをご使用ください。
	• アンテナをさえぎる障害物はありませんか。 • アンテナ線がはずれていませんか。 • アンテナの向きがずれていませんか。	• BS・110度CSアンテナの方向を確認・調整してください。（準備編32） • 地上デジタル放送に対応したアンテナ線が正しく接続されているかをご確認ください。
	• 積雪や豪雨、雷などが発生していませんか。	• 天候が回復すればもとの状態に戻ります。
有料放送が視聴できない	• B-CASカードは正しく入れてありますか。	• B-CASカードを正しい向きに入れてください。（準備編22）
	• 有料放送を視聴するための手続きはお済みですか。	• 付属のファーストステップガイド（有料放送加入申込書）で視聴手続きをしてください。
	• 電話回線の接続や設定は正しいですか。	• 電話回線の接続や設定が正しいかご確認ください。（準備編27、82）
引っ越しをしたら、データ放送や文字スーパー表示が表示されなくなった	• データ放送用の地域設定は正しいですか。	• 新住所に合わせて「郵便番号と地域の設定」をしてください。（準備編81）

映像／音声

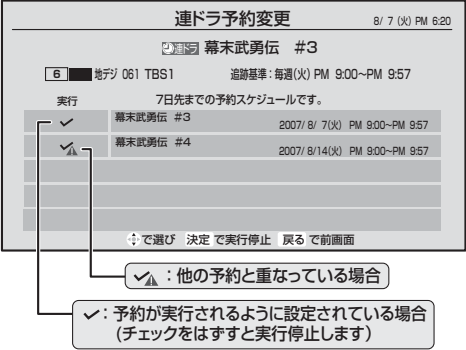
このようなとき	確認事項	対処のしかた・その他
特定のチャンネルの映像や音声が出ない	• アンテナとの接続にデジタル放送に非対応のケーブルや機器などを使用していませんか。	• 携帯電話など本機の受信周波数帯域に相当する周波数を使用している機器の影響によって、映像や音声が出なくなる場合があります。 • デジタル放送に対応したケーブルや機器などをご使用ください。（準備編24、26の「お知らせ」を参照）
不自然なブロックノイズ（モザイク状のノイズ）が見えるときがある	• 積雪や豪雨、雷などが発生していませんか。 • 特に動きの激しい画面でブロックノイズが見えますか。	• デジタル放送受信の特性上、発生することがあります。 以下の場合は故障ではありません。 • 降雨対応放送の映像の場合 • 悪天候などで、受信状態が悪化した場合 • 画面の激しい変化に映像処理が対応できない場合

お知らせ

このようなとき	確認事項	対処のしかた・その他
「お知らせ」アイコンが消えない	•「お知らせ」の内容を確認しましたか。	• メニューの「お知らせ」画面から「放送局からのお知らせ」「本機に関するお知らせ」の内容を表示させると消えます。25
未読の「お知らせ」がなくなっている · 放送局からのお知らせ · 本機に関するお知らせ · ボード	•「設定の初期化」をしませんでしたか。	•「設定の初期化」をすると「お知らせ」は削除されます。（準備編 95 ）
	•「お知らせ」は最大件数を超えていませんか。	•「放送局からのお知らせ」「本機に関するお知らせ」については、最大数を超えて受信した場合は未読でも自動的に削除されることがあります。詳しくは 25 の「お知らせ」をご覧ください。
	•「ボード」については、そのとき受信したものしか表示されません。	――――
「放送局からのお知らせ」が受信できない	• B-CASカードは正しく入れてありますか。	• B-CASカードを正しい向きに入れないと「お知らせ」は受信できません。（準備編 22 ）

地上デジタル放送の受信や予約など

このようなとき	確認事項	対処のしかた・その他
地上デジタル放送がまったく受信できない ※以下も含みます • 地上デジタル放送の番組表などが表示されない • 本体の放送切換ボタンを押しても地上デジタル放送に切り換わらない	• B-CASカードは正しく入れてありますか。	• B-CASカードを正しい向きに入れてください。（準備編 22 ）
	• 地上デジタル放送用アンテナは正しく接続されていますか。	• 地上デジタル用アンテナの接続をご確認ください。（準備編 24 、25 ）
	• アンテナの方向は正しいですか。	• 地上デジタル用アンテナを地上デジタルの放送局側に向けてください。 • アンテナレベルの数値を確認しながら、アンテナの方向調整をしてみてください。（準備編 31 ）
	•「初期スキャン」をしましたか。	• 初期スキャンをしてください。（準備編 73 ） • 受信できたチャンネルについては「番組表」で確認できます。13
	• お住まいの地域は地上デジタル放送の受信可能エリアですか。	• 地上デジタル放送が行われているかをもよりの放送局にお問い合わせください。 以下のホームページのリンク先で確認することもできます。 http://www.toshiba.co.jp/product/tv/naruhodo/
	• 共聴システムをご使用の場合、共聴システムは地上デジタルに対応（パススルー方式）になっていますか。	• CATVの場合はご契約のCATV会社に、その他の場合は共聴システムの管理者にお問い合わせください。（CATVがパススルー方式でない場合はCATV用チューナーが必要な場合があります）
引越しをしたら、地上デジタル放送が受信できなくなった	• 引越し後、地上デジタル放送の「初期スキャン」または「再スキャン」を実施しましたか。	• 県外に引越しをした場合は、「初期スキャン」（準備編 73 ）をしてください。 • 県内で引越しをした場合は、「再スキャン」（準備編 74 ）をしてください。 •「初期スキャン」または「再スキャン」をしても受信できない場合は、上の「地上デジタル放送がまったく受信できない」の内容もご確認ください。
一部の地上デジタル放送が受信できない	• 放送は行われていますか。	• 地上デジタル放送が行われているかをもよりの放送局にお問い合わせください。
複数台のテレビで、地上ダイレクト選局ボタンのチャンネルが異なっている 複数台のテレビで、枝番 9 が異なっている	• 初期スキャンなどを異なる時間にしませんでしたか。	• 3000、3500シリーズ以外の東芝製テレビや他社メーカーのテレビの場合は、チャンネルの割り当てや枝番が同じにならないことがあります。 •「チャンネル設定」の「手動設定」（準備編 75 ）でチャンネルの割り当てを変更することができます。

困ったときには… つづき

地上デジタル放送の受信や予約など つづき

このようなとき	確認事項	対処のしかた・その他
地上デジタルアンテナレベル画面では受信できるチャンネルがそれ以外のときには受信できない	地上デジタルアンテナレベル 伝送チャンネル UHF27 関東広域0 46 低 高 ここに地域名が表示されていますか。	• 表示されている場合は、再スキャンをしてください。(準備編 74) ※表示されている場合でも、背景が黒画面の場合は通常の選局では受信できません。 • 表示されていない場合は、検査放送なので通常の選局では受信できません。
受信できなくなった放送局が番組表表示などから消えない	―――	• 初期スキャンをしてください。(準備編 73)
地上ダイレクト選局ボタンに設定してあった放送局が別の放送局に変わっている ※以下も含みます ・以前選局できた放送がなくなっている	•「本機に関するお知らせ」の中に「放送局からの変更がありました。」などのお知らせがありますか。	• 放送の運用規定などに基づいて、設定内容が変更される場合があります。「本機に関するお知らせ」の内容をご確認ください。25
チャンネル での選局時に同じ3ケタのチャンネル番号が複数表示される	• 枝番 9 で区別されているチャンネルではありませんか。	•「番組説明」18 で枝番の有無をご確認ください。枝番があれば正常な動作です。
地上デジタル放送で、リモコンボタンに手動設定したチャンネルが消えている	•「初期スキャン」(準備編 73)をしませんでしたか。 •「再スキャン」(準備編 74)で「すべて設定し直す」を選択しませんでしたか。	• 必要に応じて再度「手動設定」をしてください。(準備編 76)
番組表を表示させても番組名などが表示されない場合や、実際の内容と合っていない場合が多い	―――	• 番組情報を取得してください。情報取得には時間がかかる場合があります。16 • 番組データ全体を取得するには、毎日2時間以上本機の電源を「待機」にしてください。(準備編 14)
録画予約で、予約した番組が放送時間を繰り上げて放送されたが、「放送時間」を「連動する」に設定していたのに、連動して録画されなかった	―――	• 本機は放送時間の繰り上げには、対応していません。

通信・双方向サービス・通信設定など

このようなとき	確認事項	対処のしかた・その他
イーサネット通信ができない(LAN端子を使った双方向サービスができない)	• LAN端子は正しく接続されていますか。	• 接続をご確認ください。(準備編 28)
	•「LAN端子設定」は正しく行われていますか。	• 正しい「LAN端子設定」をしてください。(準備編 85～86) • 最後に「接続テスト」で、正しく通信できているかご確認ください。(準備編 86)
ダイヤルアップ通信ができない	• 電話回線は正しく接続されていますか。	•「通信環境設定」を「イーサネット優先」に設定してください。(準備編 85)
通信速度が遅い、不安定	• 接続ケーブルが長すぎませんか。	• ケーブルが長すぎると通信速度が遅くなる場合があります。短い接続ケーブルに換えてみてください。
	• 回線が混んでいるためではありませんか。	• イーサネット通信の場合、通信環境によるもの(ADSLの場合、局から遠いなど)ではありませんか。 • 接続機器の使用状況によっては、通信速度が遅くなる場合があります。(データ量が多い場合など) • 時間をおいてから通信をしてみてください。 ※通信速度については、インターネット接続業者にご相談ください。
ダイヤルアップ接続している通信が勝手に切れてしまう	• 通信切断前の確認画面表示を「表示しない」に設定していませんか。	•「接続確認メッセージ設定」を「表示する」に変更すると、通信切断前に確認画面を表示させることができます。(準備編 84)

録画・再生

連ドラ予約

このようなとき	確認事項	対処のしかた・その他
「連ドラ予約」が正しく録画できない	• 追跡キーワードや追跡基準は正しく設定されていますか。	• 「連ドラ予約確認画面」で、追跡キーワードや追跡基準を正しく設定しなおしてください。32
	• 連ドラ予約と通常の録画予約が重複していませんか。	• 「連ドラ変更画面」で、連ドラ予約番組をその回だけ、予約実行／実行停止させることができます。 **連ドラ予約番組の実行／実行停止をするには** ❶ クイックを押し、▲·▼で「予約リスト」を選び、決定を押す ❷ ◀·▶で「連ドラ予約変更」を選び、決定を押す ❸ 録画を実行／実行停止する回を選び、決定を押す 連ドラ予約変更 8/ 7 (火) PM 6:20 連ドラ 幕末武勇伝 #3 6 地デジ 061 TBS1 追跡基準：毎週(火) PM 9:00~PM 9:57 実行 7日先までの予約スケジュールです。 ✓ 幕末武勇伝 #3 2007/ 8/ 7(火) PM 9:00~PM 9:57 ✓⚠ 幕末武勇伝 #4 2007/ 8/14(火) PM 9:00~PM 9:57 で選び 決定 で実行停止 戻る で前画面 ✓⚠：他の予約と重なっている場合 ✓：予約が実行されるように設定されている場合（チェックをはずすと実行停止します） • 番組を選んで決定を押すたびに実行と実行停止が切り換わります。

東芝RDシリーズ（東芝製ビデオレコーダー）の場合

このようなとき	確認事項	対処のしかた・その他
本機と東芝RDシリーズで、「テレビdeナビ予約」ができない	• 本機と東芝RDシリーズの接続、設定をしましたか。	• 「東芝RDシリーズ（東芝製ビデオレコーダー）をつなぐ」に従って、接続、設定をしてください。（準備編 42 ～ 45）
設定した録画開始時刻に録画が始まらない	• 東芝RDシリーズの時刻は正しく設定されていますか。	• 時刻設定が違っている場合は、東芝RDシリーズの取扱説明書を参照して正しい時刻に修正してください。
「東芝RDアナログでの予約」で録画中に録画を中止したが、本機でチャンネルを切り換えることができない	• 東芝RDシリーズ側で録画を中止しただけではありませんか。（本機側で録画中止しましたか）	• 本機のリモコンの 終了 を2回押して本機側を録画中止にしてください。 （東芝RDシリーズ側で録画を中止した場合は、本機でも録画中止の操作をしないとチャンネルが切り換えられません）
「東芝RDアナログでの予約」で録画中に録画を中止したが、東芝RDシリーズの録画が中止されない	• 本機側で録画を中止しただけではありませんか。（東芝RDシリーズ側で録画中止しましたか）	• 東芝RDシリーズ本体の「停止」ボタンを2回押して録画中止にしてください。 （本機側で録画を中止した場合は、東芝RDシリーズ側でも録画中止の操作をしてください）

困ったときには… つづき

録画・再生 つづき

LAN HDDの場合

このようなとき	確認事項	対処のしかた・その他
HDD専用LAN端子に接続したLAN HDDが「機器選択」画面に表示されない	• LAN HDDを接続した直後ではありませんか。	• LAN HDDを本機に接続してから自動登録されるまで10分ほどかかります。登録されるまでお待ちください。
	•「登録モード設定」を「自動」に設定していますか。(準備編 68)	• 通常は「自動」に設定して使用してください。「登録モード設定」を「手動」に設定した場合は、手動で登録してください。(準備編 68)
	• LAN HDDが正しく接続・設定されていますか。	• 正しく接続・設定してください。(準備編 61～68) • IPアドレスの設定で、本機側を自動取得、LAN HDD側を手動・設定にしているなどの矛盾はありませんか。
汎用LAN端子に接続したLAN HDDが「機器選択」画面に表示されない	• LAN HDDが正しく接続・設定されていますか。	• 正しく接続設定してください。(準備編 62～68) [汎用LAN端子に接続したLAN HDDは自動登録されませんので、上記ページの操作で登録してください。]
	• IPアドレスが「192.168.XXX.XXX」、「10.XXX.XXX.XXX」、「172.XX.XXX.XXX」のいずれかになっていますか。(XXXは数字。「168」の部分は異なっている場合があります)	• ほかのIPアドレスに設定されたものは、本機に接続できません。(準備編 62)
録画先に指定したLAN HDDに正しく録画できない	• 録画先に指定したLAN HDDが「機器選択」画面 41 に表示されていますか。	• 表示されない場合は、上の「HDD専用LAN端子に接続したLAN HDDが「機器選択」画面に表示されない」と、「汎用LAN端子に接続したLAN HDDが「機器選択」画面に表示されない」の内容をご確認ください。
	• 録画先に指定したLAN HDDに十分な残量がありますか。	• 残量が少ない場合は、不要な番組を消すか、または残量のある録画先を選択してください。
LAN HDDに記録されているファイル(録画番組や写真)が再生できない	• LAN HDDの電源がはいっていますか。	※以下をすると再生できるようになる場合があります。 • LAN HDDの電源を入れ直して、10分間待つ。

USB HDDの場合

このようなとき	確認事項	対処のしかた・その他
HDD専用USB端子に接続したUSB HDDが「機器選択」画面に表示されない	• USB HDDの電源ははいっていますか。	• 電源を入れてください。
	• USB HDDを接続した直後ではありませんか。	• USB HDDを本機に接続してから自動登録されるまで1分ほどかかります。登録されるまでお待ちください。
	• USB HDDが正しく接続・設定されていますか。	• 正しく接続・設定してください。(準備編 57～59)
録画先に指定したUSB HDDに正しく録画できない	• 録画先に指定したUSB HDDが「機器選択」画面 41 に表示されていますか。	• 表示されない場合は、上の「HDD専用USB端子に接続したUSB HDDが「機器選択」画面に表示されない」の内容をご確認ください。
	• 録画先に指定したUSB HDDに十分な残量がありますか。	• 残量が少ない場合は、不要な番組を消すか、または残量のある録画先を選択してください。
USB HDDを使用できない	• 使用したい機器が「機器選択」画面に表示されていますか。	• 表示されない場合は、上の「HDD専用USB端子に接続したUSB HDDが「機器選択」画面に表示されない」の内容をご確認ください。 • それでも使用できない場合は、以下をしてみてください。 ①テレビ本体の電源ボタンを押して電源を切る ②本機に接続しているUSB HDDをはずす ③USB HDDを本機に接続する ④本機の電源ボタンを押して電源を入れる
USB HDDに録画した番組が消えた	• USB HDDを使用中に停電や雷などによる瞬間的な停電、USB HDDの電源プラグを抜く、ブレーカーを落とすなどで、電源が切れませんでしたか。	• 左記の場合、録画した番組が消える場合があります。録画した番組がすべて消えた場合や、USB HDDが動作しない場合は、「USB HDD初期化」(準備編 59)をしてください。

■ DLNA認定サーバー関係（再生のみ）

このようなとき	確認事項	対処のしかた・その他
DLNA認定サーバーが「機器選択」画面に表示されない	• DLNA認定サーバーは正しく接続されていますか。	• 準備編 62 を参照して、正しく接続してください。（必ずルーターを通して接続してください。）
	• 本機のLAN端子およびDLNA認定サーバーはIPアドレスを自動取得する設定になっていますか。	• 「通信接続設定」（準備編 85 ）の「LAN端子設定」で、「IPアドレス自動取得」を「する」に設定してください。 • DLNA認定サーバーについてはDLNA認定サーバーの説明書に従って設定してください。
	• ＩＰアドレスが192 .168. XXX .XXX 、172.16.XXX.XXX ～ 172.31.XXX.XXXまたは10.XXX.XXX.XXXになっていますか。	• 準備編 66 の手順でIPアドレスを確認してください。ほかのIPアドレスに設定されたものは、本機に接続できません。
	• ルーターのIPアドレスは192.168.XXX.XXX、172.16.XXX.XXX ～ 172.31.XXX.XXまたは10.XXX.XXX.XXX範囲で割り当てる設定になっていますか。	• ルーターの説明書に従って、左記のIPアドレスがDLNA認定サーバーと本機に割り当てられるように設定してください。
	• 複数のDLNA認定サーバーを接続していますか。	• 2台目以降のDLNA認定サーバーが「機器選択」画面に表示されるまで15分程度かかることがあります。 • 「機器選択」画面を終了して、もう一度「機器選択」画面を表示すると、機器が表示される場合があります。
録画リストが表示されない	• DLNA認定サーバーによっては、アクセス後一定時間経過しないと録画リストを表示できないことがあります。	• しばらくお待ちください。
	• DLNA認定サーバーのアクセス制限は正しく設定されていますか。	• DLNA認定サーバーによってはMACアドレスによるアクセス制限をしている場合があります。DLNA認定サーバーの説明書に従って正しく設定してください。 ※本機のMACアドレスは、「通信接続設定」（準備編 85 ～ 86 ）の「LAN端子設定」で確認することができます。
DLNA認定サーバーのコンテンツが見られない	• DLNA認定サーバーが公開しているコンテンツは、本機が再生できる種類のものですか。	• 本機が再生できるコンテンツのフォーマットは、準備編 66 に記載のとおりです。DLNA認定サーバーが公開しているコンテンツのフォーマットは、DLNA認定サーバー側でご確認ください。

困ったときには… つづき

HDMI連動機能

このようなとき	確認事項	対処のしかた・その他
推奨機器を接続しても連動動作できない	• 接続は正しいですか。	• 接続をご確認ください。（準備編 46） • HDMIケーブルはHDMIロゴ表示のついた規格にあったものを使用してください。 • はじめて連動機能対応機器を接続したときや、接続を変更したときには、AVアンプに接続している機器も含めてすべての機器が連動しているか（画面右上の接続機器表示に「HDMI連動」アイコンが表示されます）を確認してください。
	• 接続機器側の設定は正しいですか。 • 本機の設定は正しいですか。	• 接続機器側の設定をご確認ください。 • 「レグザリンク設定」の「HDMI連動設定」をご確認ください。（準備編 48）
	• 接続機器は本機の推奨機器ですか。	• 本機で推奨している機器を使用してください。 ※推奨機器以外の機器をHDMI接続した場合にHDMI連動機能対応機器と認識し、一部の連動操作ができることがありますが、その動作については保証の対象ではありません。
	• 接続している機器は東芝パソコンQosmio（G40/97D）ですか。	• Qosmioを再起動してからHDMIケーブルをはずし、本機と接続しなおしてください。
本機のリモコンの操作と連動機器側の動作があわない	• 接続機器は本機の推奨機器ですか。	• 本機で推奨している機器を使用してください。 • 推奨機器を接続しているにもかかわらず、リモコンの操作と機器の動作が合わない場合は、接続機器側のリモコンで操作してください。
接続した外部スピーカーから音が出ない	• 接続機器側の設定は正しいですか。 • 本機の設定は正しいですか。 • 本機との接続は正しいですか。	• AVアンプ側の設定をご確認ください。 • 「HDMI連動設定」の「AVアンプ連動」を「使用する」に設定していますか。（準備編 48） • AVアンプの接続をご確認ください。（準備編 46） ※HDMIケーブル以外にオーディオケーブルを接続しないと、スピーカーからテレビの音は出ません。
映像機器からの映像と、AVアンプからの音声が違う	• 映像機器とAVアンプが別々のHDMI端子に接続されていませんか。	• 以下の操作をしてください。 ①「レグザリンク」の「機器を選択する」で映像機器を選びなおしてください。 ②映像機器をAVアンプ端子に接続してください。 ③テレビ放送を視聴してから①をしてください。
	• 接続している映像機器は、東芝レコーダーRD-A300、RD-A600ですか。	• RD-A300、RD-A600の接続をご確認ください。（準備編 46）その後、「レグザリンク」の「機器を選択する」で映像機器を選びなおしてください。

USB機器関係

このようなとき	確認事項	対処のしかた・その他
USB機器の画像が見られない	• 本機のUSB端子に正しく接続していますか。	• USB機器の接続をご確認ください。（準備編56）
	• 本機に接続できる機器ですか。	• 「USB端子に接続できる機器について」をご覧ください。105
	• 使用したい機器以外がつながっていませんか。	• 使用していない機器を取りはずしてください。
	• USB機器の接続設定を変更できますか。	• USB機器の接続設定を変更してみてください。（変更方法はUSB機器の取扱説明書でご確認ください。）
USB機器の一部の画像が見られない	• USB機器内に1000枚以上のファイルが保存されていませんか。	• パソコンやデジタルカメラなどで不要なファイルを削除してください。
	• ファイル名やフォルダ名に長い名前のものがありませんか。	• ファイル名を短くしてください。 ※ 見たいファイルのファイル名とそのファイルが収容されているフォルダ名の合計文字数を200文字以内にしてください。
画像が表示されるのが非常に遅い	• USB機器の接続設定を変更できますか。	• USB機器の接続設定を変更してみてください。（変更方法はUSB機器の取扱説明書でご確認ください。）
	• ファイルサイズが大きくありませんか。	• パソコンなどでファイルサイズを小さくしてください。
写真再生で表示モード切換ができない	• USB機器の接続設定を確認してください。	• 表示モード切換は USB 機器の接続設定が PC 接続モードの場合にのみできます。

4th MEDIA（フォースメディア）関係

このようなとき	確認事項	対処のしかた・その他
4th MEDIAを視聴できない	• 「4th MEDIA設定」（準備編90）の「システム情報」で、「ネットワーク状態」が「接続中」になっていますか。	• 「ネットワーク状態」が「未接続」の場合は、「4th MEDIA 設定」の「接続テスト」をしてみてください。
	• 接続・設定は正しいですか。	• 正しく接続、設定してください。（準備編29、90）
	• 4th MEDIAの申込みをしていますか。	• 「4th MEDIAのお問い合わせ・お申し込みはこちらから」（準備編123）を参照して申し込んでください。
	• 回線終端装置のLED表示が点灯していますか。	• 点灯していない場合は、ご契約のプロバイダーにお問い合わせください。

※ 上記をしても視聴できない場合は、「4th MEDIAのお問い合わせ・お申し込みはこちらから」（準備編123）にご相談ください。

インターネット関係

このようなとき	確認事項	対処のしかた・その他
インターネット画面が表示されない	• プロバイダーなどとのインターネットをするための契約はお済みですか。	• 契約、費用などについては、プロバイダーまたはお買い上げの販売店にご相談ください。
	• LAN端子は正しく接続されていますか。	• 「LAN端子の接続（1）」（準備編28）に従って、正しく接続してください。
	• インターネットをするための設定は正しいですか。	• 「通信接続設定」（準備編85）に従って、「通信環境設定」と「LAN端子設定」をしてください。 ※インターネット起動時に暗証番号の入力が必要となるようにする場合は、「インターネット制限設定」（準備編94）で設定してください。
音声が出ない	• インターネットの音声は出力されません。	――――
リモコンボタンの効きが悪い	• Webサイトのデータ読込中などは、リモコンボタンの効きが悪くなる場合があります。	――――

困ったときには… つづき

エラー表示、メッセージ表示について

全般 （代表的なもの）

● 代表的なエラー表示、メッセージ表示について説明します。

画面に出るエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・その他
「信号が受信できません。 ・アンテナの接続をご確認ください。 ・本機のアンテナ設定やアンテナレベルをご確認ください。コード：E202」	• 適合したアンテナでないため。 • 雨や雷、雪などの気象条件によって一時的に受信できない。 • アンテナ線がはずれたり、切れたりしている。 • アンテナの設定値が合っていない。 • アンテナの方向ずれや故障。 • 電波が弱くて視聴できない。	• 放送に適合したデジタル放送用アンテナであることをご確認ください。 • アンテナの接続や設定が合っているかご確認ください。（準備編 24 ～ 26 、31 ～ 32 ） • アンテナ線をご確認ください。 ※選局しているチャンネルでの放送が休止中の場合も表示することがあります。
「このチャンネルはご覧になれません。コード：E210」	• 部分受信サービス（準備編 100 ）を選局したため。	• 本機は対応していないので受信できません。
「電波の受信状態が良くありません。クイックメニューから降雨対応放送に切り換えられます。コード：E201」	• 気象条件などによって信号レベルが下がり、降雨対応放送切換が可能な状態になったため。	• 降雨対応放送に切り換えることができます。24
「現在放送されていません。コード：E203」	• 選局したチャンネルでの放送が休止中。 • 放送が終了している。	• 番組表などで放送時間をご確認ください。 • 放送中のチャンネルを選局してください。 ※雨や雷、雪などの気象条件によって一時的に受信できない場合も表示することがあります。
「放送チャンネルではないためご覧になれません。コード：E200」	• 通信など通常の放送形態でないチャンネルを選局した。 • ホテルなどで特定の視聴者向けのサービスとして放送しているチャンネルを選局した。	• 通常の放送チャンネルを選局してください。
「ご案内チャンネルに切り換えますか？」	• 有料の放送事業者のチャンネルを選局した場合など。	• 選んだチャンネルの契約のしかたなどをご覧になる場合は、「ご案内チャンネル」に切り換えてください。
「表示するチャンネルがありません。」	• 番組表で、表示するチャンネルがまったくないため。	• BS―CS、地デジ―地アナ や、ラジオ/データ（ふたの中）で、表示できるチャンネルを選んでください。
「B-CASカードが正しく挿入されていません。B-CASカードをご確認ください。」	• B-CASカードが挿入されていない、または正しく挿入されていない。	• カードを抜き差ししてみてください。 • B-CASカードが正しく挿入されているかご確認ください。（準備編 22 ）
「B-CASカードの交換が必要です。B-CASカスタマーセンターへご連絡ください。コード：6400または6581」	• B-CASカードが故障している、または交換の必要がある。	• カードを抜き差ししてみてください。 • それでも正常にならない場合は、カードに記載されているB-CASカスタマーセンターにお問い合わせください。
「このB-CASカードはご使用になれません。B-CASカスタマーセンターへご連絡ください。コード：A104またはA105またはA106またはA107」	• B-CASカードが登録されていない。	• B-CASカードの登録をしてください。カードに記載されているB - CASカスタマーセンターにお問い合わせください。
「このICカードはご使用になれません。使用可能なB-CASカードを挿入してください。」	• 同梱のB-CASカード以外のカードを挿入している。	• 同梱のB-CASカードを挿入してください。
「このICカードはご使用になれません。使用可能なICカードを挿入してください。コード：EC01」	• このICカードは無効です。	
「このB-CASカードはご使用になれません。コード：A1FFまたはA102」	• 使用できないB-CASカードを挿入している。	
「B-CASカードが故障しています。」	• B-CASカードが故障している、または交換の必要がある。	• B-CASカスタマーセンターに、交換についてお問い合わせください。

全般 （代表的なもの） つづき

画面に出るエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・その他
「時刻情報を取得できませんでした。」	• デジタル放送が受信できないため、時刻情報を自動取得できない。	• しばらくしてからデジタル放送を受信して、時刻情報を自動取得してください。
「この番組には視聴制限があります。」	• 設定した視聴年齢を超えた番組を選局した。 • 設定した購入限度額よりも高い料金の番組を選局した。	• 視聴年齢を設定していない場合は「視聴年齢制限設定」（準備編 93）で視聴年齢を設定してください。 • ご覧になる場合は暗証番号を入力してください。（準備編 94）
「番組に視聴制限があるためご覧になれません。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。コード：8903または8503または8303」	• 選んだチャンネル（番組）の視聴地域が限定されているため、視聴できない。	• 詳しくはご覧のチャンネルのカスタマーセンターにご連絡ください。
「番組購入情報がいっぱいのため新たに購入ができません。電話回線の接続をご確認の上、B-CASカスタマーセンターへご連絡ください。コード：8109」	• B-CASカード内のペイ・パー・ビュー購入履歴メモリーがいっぱいになっている。	• 電話回線が正しく接続されているのを確認してから（準備編 27）、「番組購入情報の送信」12 をしてください。
「購入受付時刻を過ぎたためご覧になれません。コード：8108」	• ペイ・パー・ビューの購入可能時間が終了したため。	• 番組によっては、購入できる時間が番組開始からある時間までに限られている場合があります。その場合は、それ以降は購入できませんのでご注意ください。 • 別の時間帯でも放送していて購入できる場合があります。詳しくはご覧のチャンネルのカスタマーセンターにご確認ください。

■ デジタル放送を受信中にメッセージが表示された場合

● メッセージ表示の中に、「【画面表示】を押し続けると消去」という文章が表示された場合は、画面表示を数秒間押し続けると、メッセージ表示を消すことができます。

● 「【画面表示】を押し続けると消去」の文章は、メッセージが表示されてから数秒後に自動的に消えます。
この文章が消えたあとも、画面表示を数秒間押し続けると、表示されている他のメッセージ表示を消すことができます。

USB機器に関するエラー表示

画面に出るエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・その他
「機器（メディア）が接続されていません。」	――――	• 本機が対応しているメディア、または機器を使用してください。
「機器（メディア）を認識できません。」	• 正常にフォーマットされていないメディアまたは機器が接続された。	• 本機が対応しているフォーマット形式のものを使用してください。
	• その他の原因。	• テレビ本体の電源ボタンを押して電源を切り、機器を接続してから、もう一度本機の電源を入れてください。
「機器（メディア）にアクセスできません。」	• USB接続に異常が発生した。	• USB機器をはずしてから、もう一度接続してください。
「USB端子の電源容量を越えました。 必要な機器のみ接続してください。」	• USB過電流エラーが発生した。 （USB機器を多くつないでいる場合には、使用できなくなる場合があります）	• 以下の方法で復帰をしてください。 ①テレビ本体の電源ボタンを押して電源を切る ②本機に接続しているUSB機器をすべてはずす ③本機の電源ボタンを押して電源を入れる ④使いたいUSB機器だけを接続する

困ったときには… つづき

通信（電話回線やLAN端子を使った通信）に関するエラー表示 （代表的なもの）

画面に出るエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・その他
「ダイヤルトーンの検出ができませんでした。電話機コードが正しく接続されているかご確認ください。コード：C100」	• 電話がつながらなかったため。	•「電話回線の接続」（準備編 27）および「電話回線設定」（準備編 82～83）で接続・設定の状態をご確認ください。
「接続に失敗しました。電話回線の設定をご確認ください。コード：C103」	• 電話回線を使用した通信ができなかったため。	
「サーバーと通信できませんでした。詳しくは取扱説明書をご覧ください。」	• サーバーからのダウンロードに失敗したため。	• 回線が混みあっているなどの場合も考えられますので、時間帯を変えて、もう一度操作してください。 •「LAN端子の接続」（準備編 28）および「LAN端子設定」（準備編 85～86）で接続・設定の状態をご確認ください。
「本機にルート証明書が設定されていないため、サーバーに接続できません。」	• 本機にルート証明書が設定されていない。	• ルート証明書番号（準備編 81）を確認し、東芝家電ご相談センター（裏表紙参照）にお問い合わせください。 番号が確認できなかった場合は、数時間後にもう一度、番号を確認してください。それでも確認できない場合は、東芝家電ご相談センターにお問い合わせください。
「現在設定されているルート証明書ではサーバーの安全性を確認できないため、接続できません。」	• ルート証明書は本機内に設定されているが、接続先のサーバー証明書との検証が取れない。	• ルート証明書番号（準備編 81）を確認し、正しいルート証明書であるかを東芝家電ご相談センター（裏表紙参照）にお問い合わせください。
「現在設定されているルート証明書の有効期限が切れているため、サーバーに接続できません。」	• ルート証明書の有効期限が切れている。	
「サーバーの証明書の有効期限が切れているため、接続できません。」	• 接続先の証明書が有効期限切れになっている。	• 接続先の安全性に問題があります。本機は、一部の接続先については、安全性の確認ができない場合、接続を行いません。（本機の動作は正常です）
「サーバーの証明書には表示するページの名前が含まれていないため、接続できません。」	• サーバー証明書に表示しようとしているページの名前がない。	
「サーバーの証明書の不正が検出されたため、接続を中断します。」	• 接続先の証明書が改ざんされている。	
「サーバーの証明書に問題があるため、接続を中断します。」	• 認証エラーが発生した。	
「接続できません。通信環境設定をご確認ください。」	• 本機の通信環境設定が正しく設定されていない。	•「通信環境設定」を正しく設定し直してください。（準備編 85）

東芝RDシリーズに「テレビdeナビ予約」をするときと、HDMI連動機能対応の東芝レコーダーに録画・予約するときのエラー表示

画面に出るエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・その他
「録画時間に一部重複があります。録画機器で設定内容をご確認ください。」	• 予約はできたが、録画機器側の予約時間と、本機の「テレビdeナビ予約」の時間が一部重なっている。	• 録画機器の予約内容をご確認ください。
「録画機器で設定が変更されました。録画機器で設定内容をご確認ください。」	• 予約はできたが、録画機器側で録画設定が変更されている。	• 録画機器で録画設定の内容をご確認ください。
「録画機器の動作により登録できません。しばらく待ってからもう一度操作してください。」	• 録画機器側の動作との競合（何らかの操作、動作、表示をしている）がある。	• しばらくしてからやり直すか、または、録画機器側の操作などを中止してください。
「録画機器の予約がいっぱいです。」	• 録画機器側の予約数がいっぱいになっている。	• 録画機器側で、どれか予約を取り消してください。
「指定した時刻情報では予約を登録できません。」	• 録画機器側が対応していない形式で時刻を設定した。	• 録画機器の取扱説明書で、指定できる時刻の形式をご確認ください。
「録画機器の予約時間と重複するため、設定できません。」	• 録画機器側の予約と、本機からの予約時間時間が重なっている。	• 録画機器側で予約している時間帯は、本機からの予約はできない場合があります。

東芝RDシリーズに「テレビdeナビ予約」をするときと、HDMI連動機能対応の東芝レコーダーに録画・予約するときのエラー表示 つづき

画面に出るエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・その他
「録画機器に時刻が設定されていません。」	• 録画機器の時刻設定をしていない。	• 録画機器の時刻設定をしてください。
「予約を設定できませんでした。」 または 「録画を設定できませんでした。」	• 録画機器の電源がはいっていない。	• 録画機器の電源を入れてください。
	• 録画機器が正しく接続されていない。	• 本機と東芝RDシリーズを直接つなぐときは、クロスタイプのLANケーブルを使用してください。（準備編 42） • ルーターを通してつなぐときは、ストレートタイプのLANケーブルを使用し、ルーターの電源も入れてください。（準備編 44） • HDMIケーブルで接続しているときは、規格に合ったケーブルを使用しているかをご確認ください。（準備編 46）
	• ネットワークの設定が正しくない。	• 本機と東芝RDシリーズを直接つないだときは、「直接つなぐ場合の設定をする」（準備編 43）で正しく設定してください。 • ルーターを通してつないだときは、「ルーターを通してつなぐ場合の設定をする」（準備編 45）で正しく設定してください。 • HDMI連動機能で録画する場合は、設定を確認してください。（準備編 46）
「このレコーダーでは、TSフォーマットの映像をDVDに録画することはできません。」	• 東芝RDシリーズが「TS」モードでのDVDへの録画に対応していないため。	• 録画モードを「TS」以外にするか、録画先を「HDD」に変更してください。

i.LINKに関するエラー表示 （代表的なもの）

画面に出るエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・その他
「機器に接続できません。」	•「機器選択」画面で選んだ機器への接続に失敗した。 • i.LINK操作中に接続変更があり、その接続処理に失敗した。	• i.LINK機器の接続をご確認ください。 • 機器の操作をし直すか、「機器選択」画面で選び直してください。 41 • 相手機器の電源を入れ直してください。 • 相手機器のi.LINK設定をご確認ください。
「ブロードキャスト出力機器はありません。」	• ブロードキャスト出力している機器がない。	• i.LINK接続機器をご確認ください。
「現在入力されているブロードキャスト信号には対応していません。」	• 本機が対応していないブロードキャスト信号を入力したため。	• この機器から出力されている信号は本機では視聴できません。 • 本機が対応する信号を出力するi.LINK機器を接続してください。
「i.LINK機器の接続に変更がありました。接続状態を確認しています。」	• i.LINK接続ケーブルがはずれている、または接続が不十分。 • i.LINK接続に変更があった。	• 接続状態を確認中です。1分たっても終了しない場合は、機器の操作を終了し、i.LINK機器の接続、設定をご確認ください。（準備編 69～71）
「i.LINK機器の接続を確認してください。」	• i.LINK機器との接続が正しくない。	• i.LINK機器はループ状態には接続できません。正しく接続してください。（準備編 69）
	• i.LINK機器を64台以上接続している。	• 64台以上のi.LINK機器は接続できません。本機を含めて63台以下にしてください。
「外部機器から接続されています。」	• 外部のi.LINK機器から接続（制御）されているため、i.LINK操作ができません。	• i.LINK機器を操作するには、外部機器から本機へのi.LINK接続（制御）を終了してください。
「使用可能な帯域を超えているため操作できません。他の機器の接続をはずしてご使用ください。」	• 使用する帯域が確保できないため信号の通信ができません。	• 使用していないi.LINK機器でブロードキャスト出力設定されている場合は、ブロードキャスト出力を「切」にしてください。 • 同時に使用する機器の数を少なくしてください。 • 接続機器の電源プラグを抜き差ししてください。

困ったときには… つづき

i.LINKに関するエラー表示 （代表的なもの） つづき

画面に出るエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・その他
「対応したデジタル信号が入力されていません。」	• DV機器などフォーマットの異なる機器をつないだため。	• DV機器などフォーマットの異なる機器は、接続してもデータのやりとりなどはできません。
「i.LINK制御機能が正しく動作していません。番組を正常に送受信できない場合があります。詳しくは取扱説明書をご覧ください。」	• i.LINK処理に用いる内部情報が壊れているため。	• お買い上げの販売店にエラー表示をご説明のうえ、修理をご相談ください。
「機器操作中は切り換えられません。」	• 機器操作中に、番組表、二画面などの操作をしようとしたため。	• 機器の操作を終了してから、選局などの操作をしてください。
「録画機器が操作を受け付けません。録画機器側での設定を確認してください。」	• 録画機器の制御ができないため。	• 録画機器側が外部制御できない設定になっていないかご確認ください。録画機器の取扱説明書をご確認ください。

LAN HDDに関するエラー表示

画面に出るエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・その他
「機器に接続できません。」	• 接続ケーブルがはずれている。 • LAN HDDの電源がはいっていない。 • LAN HDDにエラーが発生した。	• 接続を確認してください。 • LAN HDDの電源を入れてください。 • LAN HDDの電源を入れなおしてください。
「再生できません。」	• 本機で対応しているファイルフォーマットではないため。	• 本機では再生できません。
「システム情報にエラーがあるため、録画番組を再生できない場合があります。」	• システムフォルダに含まれるシステム情報がこわれている。	• システムフォルダがこわれているため、このLAN HDDは再生できません。
「一部のシステム情報が欠落しているため、再生できない録画番組があります。」	• システムフォルダ内の情報が不足している。	• 本機では再生できません。

USB HDDに関するエラー表示

画面に出るエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・その他
「機器に接続できません。」	• 接続ケーブルがはずれている。 • USB HDDの電源がはいっていない。 • USB HDDにエラーが発生した。	• 接続を確認してください。 • USB HDDの電源を入れてください。 • USB HDDの電源を入れなおしてください。
「再生できません。」	• 本機で対応しているファイルフォーマットではないため。	• 本機では再生できません。
「USB端子（HDD専用）の電源容量を越えました。接続機器をはずし、本体の電源ボタンで電源を切り、もう一度電源を入れてください。」	• USB過電流エラーが発生した。	• 以下の方法で復帰をしてください。 ①テレビ本体の電源ボタンを押して電源を切る ②本機に接続しているUSB HDDをはずす ③本機の電源ボタンを押して電源を入れる ④USB HDDを本機に接続する

DLNA認定サーバーに関するエラー表示

画面に出るエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・その他
「検索に失敗しました。」	• DLNA認定サーバーが正しく接続されていない。	• 準備編 62 を参照して、正しく接続してください。
「機器(メディア)にアクセスできません。」	• DLNA認定サーバーが正しく接続されていない。	• 準備編 62 を参照して、正しく接続してください。
	• DLNA認定サーバーのアクセス制御が正しく設定されていない。	• DLNA認定サーバーによってはMACアドレスによるアクセス制限をしている場合があります。 DLNA認定サーバーの説明書に従って正しく設定してください。 ※本機のMACアドレスは、「通信接続設定」(準備編 85 ～ 86)の「LAN端子設定」で確認することができます。
「再生できません。」	• コンテンツが本機で対応しているフォーマットではないため。	• 本機では再生できません。
「サーバー側の設定やアクセス状態により現在アクセスできません。しばらくしてからやり直してください。」	• DLNA認定サーバーが起動準備中。 • DLNA認定サーバーが他の機器で使用中。	• しばらくしてからやり直してください。
「システム情報にエラーが発生したため、番組を再生できません。」	• コンテンツ再生処理に使用する内部情報が壊れているため。	• お買い上げの販売店にエラー表示をご説明のうえ、修理をご相談ください。

PCに関するエラー表示

画面に出るエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・その他
「この信号は対応していません。」	• 接続しているPCの設定が正しくない。	• PCを本機で表示可能な設定に変更してください。

インターネットに関するエラー表示 (代表的なもの)

画面に出るエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・その他
「ページの安全性を確認できません。 サーバが証明書をサポートしていません。接続しますか?」	• 証明書認証時にブラウザの証明書DBに発行元のルートCA証明書がない場合	• この画面で「OK」を選んだ場合は、選んだページを表示します。 この画面で「キャンセル」を選んだ場合は、ページを見ることはできません。
「ページの安全性を確認できません。 ルートCA証明書の有効期限が切れています。接続しますか?」	• ルートCA証明書の有効期限が切れている場合	• この画面で「OK」を選んだ場合は、選んだページを表示します。 この画面で「キャンセル」を選んだ場合は、ページを見ることはできません。
「ページの安全性を確認できません。 サーバ証明書のCNがホスト名と一致しません。接続しますか?」	• サーバ証明書のCN(一般名)がホスト名と一致しない場合	• この画面で「OK」を選んだ場合は、選んだページを表示します。 この画面で「キャンセル」を選んだ場合は、ページを見ることはできません。
「ページの安全性を確認できません。 サーバ証明書の有効期限が切れています。接続しますか?」	• サーバ証明書の有効期限が切れている場合	• この画面で「OK」を選んだ場合は、選んだページを表示します。 この画面で「キャンセル」を選んだ場合は、ページを見ることはできません。
「DNS でエラーが発生しました。」	• HTTPリクエスト、リゾルブ中にURL、プロキシ設定に誤りがある場合	• 「LAN端子設定」(準備編 85 ～ 86)の「DNS設定」「プロキシ設定」が正しく設定されているかご確認ください。
「DNS が設定されていません。」	• HTTPリクエスト、リゾルブ中にDNSサーバが設定されていない場合	• 「LAN端子設定」(準備編 85 ～ 86)の「DNS設定」が正しく設定されているかご確認ください。

困ったときには… つづき

インターネットに関するエラー表示（代表的なもの） つづき

画面に出るエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・その他
「DNS からの応答がありません。」	• HTTPリクエスト、リゾルブ中にDNSサーバからのリクエストが無くタイムアウトした場合	• 「LAN端子設定」（準備編 85～86）の「DNS設定」が正しく設定されているかご確認ください。
「サーバが見つかりません。」	• HTTPリクエスト、リゾルブ中にDNSサーバが見つからない場合	• 「LAN端子設定」（準備編 85～86）の「DNS設定」が正しく設定されているかご確認ください。
「接続できません。 TCPでオープンエラーが発生しました。」	• TCPオープンに失敗した場合	• 読込み途中のページを「便利機能」57 で読込み「中止」にしてください。
「接続できません。 TCPで接続エラーが発生しました。」	• TCPコネクトに失敗した場合	• 接続先サーバーのURLをご確認ください。また、「LAN端子の接続（1）」（準備編 28）が正しく接続されているかご確認ください。
「接続できません。 TCPで読み込みエラーが発生しました。」	• TCP読み込みに失敗した場合	• 「LAN端子の接続（1）」（準備編 28）が正しく接続されているかご確認ください。
「接続できません。 TCPで書き込みエラーが発生しました。」	• TCP書き込みに失敗した場合	• 送信先サーバーが正しいかご確認ください。また、「LAN端子の接続（1）」（準備編 28）が正しく接続されているかご確認ください。
「SSL通信ができません。 プロキシに接続できません。」	• コネクトの応答フォーマットが誤っている場合	• 左記の原因でこのページを表示できません。（もう一度接続しても同様の場合は、このページは見ることはできません）
「SSL通信ができません。 SSL で Handshake エラーが発生しました。」	• SSLハンドシェイクに失敗した場合	• 左記の原因でこのページを表示できません。（もう一度接続しても同様の場合は、このページは見ることはできません）
「SSL通信ができません。 SSLで読み込みエラーが発生しました。」	• SSL読み込みに失敗した場合	• 左記の原因でこのページを表示できません。（もう一度接続しても同様の場合は、このページは見ることはできません）
「SSL 通信ができません。 SSL で書き込みエラーが発生しました」	• SSL書き込みに失敗した場合	• 左記の原因でこのページを表示できません。（もう一度接続しても同様の場合は、このページは見ることはできません）
「HTTP リクエストの送信中にタイムアウトしました。」	• HTTPリクエスト送信中にタイムアウトした場合	• 接続先サーバーは正しいかご確認ください。また、「LAN端子の接続（1）」（準備編 28）が正しく接続されているかご確認ください。
「表示しようとしているページがキャッシュに保存されていません。」	• キャッシュのみからコンテンツを取得する設定のとき、キャッシュにコンテンツが存在しない場合	• 左記の原因でこのページを表示できません。（再読み込みしても同様の場合は、このページは見ることはできません）
「表示しようとしているキャッシュ内のページは有効期限が切れています。」	• 再読み込み、進む、戻るの操作を行ったとき、POSTを行おうとした場合	• 左記の原因でこのページを表示できません。（再読み込みしても同様の場合は、このページは見ることはできません）
「この認証タイプはサポートされていません。」	• 認証のタイプがBasic認証でもDigest認証でもない場合	• 左記の原因でこのページを表示できません。（もう一度接続しても同様の場合は、このページは見ることはできません）
「サーバからの応答に含まれている認証パラメータが正しくありません。」	• 認証の際にHTTPヘッダが不正である場合	• 左記の原因でこのページを表示できません。（もう一度接続しても同様の場合は、このページは見ることはできません）
「サーバからの応答が正しくありません。 リダイレクトできません」	• リダイレクトの際にHTTPヘッダが不正である場合	• 左記の原因でこのページを表示できません。（もう一度接続しても同様の場合は、このページは見ることはできません）
「HTTP リクエストのヘッダサイズが大きすぎます。」	• HTTPリクエストのヘッダサイズが制限値を超えた場合	• 左記の原因でこのページを表示できません。（もう一度接続しても同様の場合は、このページは見ることはできません）

画面に出るエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・その他
「HTTP リクエストのボディサイズが大きすぎます。」	• HTTPリクエストのボディサイズが制限値を超えた場合	• 左記の原因でこのページを表示できません。（もう一度接続しても同様の場合は、このページは見ることはできません）
「HTTP レスポンスのヘッダサイズが大きすぎます。」	• HTTPレスポンスのヘッダサイズが制限値を超えた場合	• 左記の原因でこのページを表示できません。（もう一度接続しても同様の場合は、このページは見ることはできません）
「これ以上HTTPレスポンス（100Continue）を受信できません。」	• Continueの数が制限値を超えた場合（無制限に設定しているため発生しない）	• 左記の原因でこのページを表示できません。（もう一度接続しても同様の場合は、このページは見ることはできません）
「サーバが TLS をサポートしていません。」	• サーバがTLS v.1.0に未対応の場合	• 左記の原因でこのページを表示できません。（もう一度接続しても同様の場合は、このページは見ることはできません）
「HTTP レスポンスの受信中にタイムアウトしました。」	• HTTPレスポンス受信中にタイムアウトした場合	• 接続先サーバーが正しいかご確認ください。また、「LAN端子の接続（1）」（準備編 28ページ）が正しく接続されているかご確認ください。
「ファイルを開けません」	• 入力されたURLがfile:スキームのとき、ファイルを開くのに失敗した場合	• このページを見ることはできません。
「ファイルを読み込めません。」	• 入力されたURLがfile:スキームのとき、ファイルを読込むのに失敗した場合	• このページを見ることはできません。
「ページサイズが大きすぎます。正しく表示できない可能性があります。」	• コンテンツのサイズが制限値を超えた場合	• 左記の原因でこのページを表示できません。（もう一度接続しても同様の場合は、このページは見ることはできません）
「ページがありません。」	• コンテンツが見つからなかった場合	――――
「読み込みを中止しました。」	• リダイレクトがキャンセルされた場合	――――
「サーバからの応答が正しくありません。これ以上リダイレクトできません。」	• 制限値以上のリダイレクトを行った場合（制限値は30）	• このページを見ることはできません。
「MIMEタイプが正しくありません。」	• 処理できないMIMEタイプのコンテンツを開こうとした場合	• このページを見ることはできません。
「エラーが発生しました。」	• ブラウザ内で未分類のエラーが発生した場合	• このページを見ることはできません。
「アドレスが正しくありません。」	• 処理できないスキームを開こうとした場合	• 「URL入力」が正しいか確認してください。正しい「URL入力」を入力しても同様のメッセージが出る場合、このページを見ることはできません。
「JavaScriptのwindow.closeが実行されましたが、ウィンドウは１つのため閉じることはできません。」	• タブが1枚のみ開かれている状態でwindow.closeが実行された場合	――――
「保護あり/保護なしのページが混在しています。」	• 取得したコンテンツにHTTPとHTTPSのものが混在していた場合	――――
「メモリ不足です。他のタブの内容を消去して再読み込みしますか？」	• コンテンツ表示途中でメモリ不足が発生した場合	• 他のタブを消去してよい場合は、で「OK」を選び、決定を押してください。消去しない場合は「キャンセル」を選んでください。
「メモリ不足のため、コンテンツを表示できませんでした。」	• 極度のメモリ不足状態から強制復帰した場合	• 他のタブを消去してから「再読込み」をしてください。上記操作をしても同様のメッセージが出る場合は、このページを見ることはできません。
「このタイプの文書は表示できません。」	• Content-Typeが対応形式外の場合	• このページを見ることはできません。

メニュー 一覧

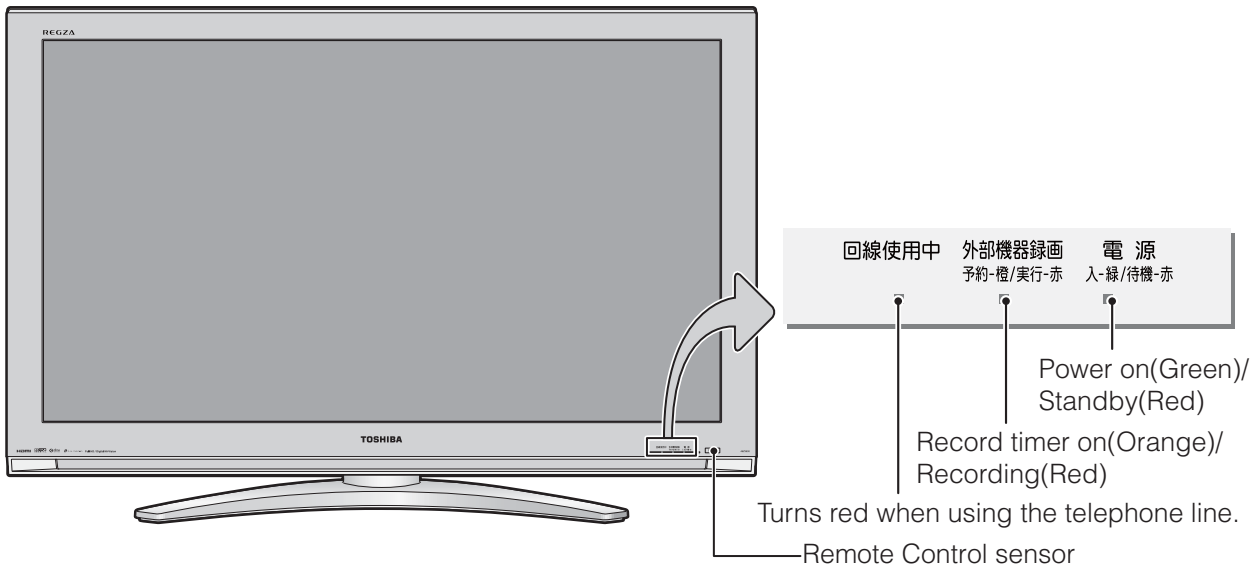
● 設定・調整のメニュー 一覧を下図に示します。（薄く記載している部分は、別冊「準備編」で使用する部分です）
「準備編」のメニュー 一覧は、準備編 97 ～ 98 をご覧ください。

● メニューで選択できる項目は、映像や音声の種類などによって変わり、選択できない項目はメニュー画面で薄く表示されます。

設定メニュー
初期設定
はじめての設定
アンテナ設定
地上デジタル アンテナレベル
BS・110度CS アンテナレベル
BS・110度CS アンテナ電源供給
BS中継器切換
110度CS中継器切換
チャンネル設定
地上アナログ自動設定
地上デジタル自動設定
初期スキャン
再スキャン
自動スキャン
手動設定
地上アナログ
地上デジタル
BS
110度CS
チャンネル スキップ設定
地上アナログ
地上デジタル
BS
110度CS
ステレオ／モノラル
無信号消音設定
初期設定に戻す
データ放送設定
郵便番号と地域の設定
文字スーパー表示設定
ルート証明書番号
通信設定
電話回線設定
ダイヤル方式
外線発信番号
電話会社の設定
電話番号通知設定
電話回線テスト
待ち時間の設定
通信接続設定
通信環境設定
LAN端子設定
IPアドレス設定
DNS設定
プロキシ設定
MACアドレス
接続テスト
LAN HDD端子設定
IPアドレス設定
DHCPサーバー設定 →DHCPサーバー →開始IPアドレス →リースアドレス数
MACアドレス
接続確認 メッセージ設定
通信エラー履歴
右側につづく
初期設定 つづき
レグザリンク設定
USB HDD設定
機器の登録
USB HDD省エネ設定
USB HDD取りはずし
USB HDD再検出
USB HDD動作テスト
USB HDD初期化
LAN HDD設定
機器の登録
登録モード設定
LAN HDD動作テスト
i.LINK設定
機器の登録
登録モード設定
ブロードキャスト入力設定
最大データ転送速度設定
D-VHSテープ検出
外部機器からの制御
テレビ電源入連動
電源入連動機器
HDMI連動設定
HDMI連動機能
連動機器→テレビ入力切換
連動機器→テレビ電源
テレビ→連動機器電源オフ
PC映像連動
AVアンプ連動
優先スピーカー
テレビdeナビ設定
東芝RDアナログ
東芝RDデジタル1
東芝RDデジタル2
東芝RDデジタル3
ワンタッチ操作設定
ワンタッチスキップ設定
ワンタッチリプレイ設定
メール設定
基本設定
POP3サーバーアドレス
POP3ユーザー名
POP3パスワード
APOP
POP3アクセス間隔
SMTPサーバーアドレス
メールアドレス
メール録画予約設定
メール録画予約機能
録画機器
メール予約パスワード
予約設定結果通知
指定メールアドレス
予約アドレス登録
4th MEDIA設定
フレッツの「お客様ID」/「Sub NO.」
ユーザー名
パスワード
視聴制限設定
視聴年齢制限設定
番組購入限度額設定
暗証番号設定
暗証番号削除
接続テスト
システム情報
簡易確認テスト
設定の初期化

Basic Operations

- For more information on operations, safety instructions, maintenance,etc, please contact your local dealer.

[TV Front Panel]

[TV Right Side Panel]

- **You can operate the TV by using the buttons.**

B-CAS card slot

- **To view digital broadcasting programs,insert the B-cas card into the card slot.**
(without B-cas card, you CANNOT receive digital broadcasting.)

B-CAS
B-CAS card

電 源
- **Push the Main power switch to turn on.**

▲ チャンネル ▼ — For changing the program position.

＋ 音 量 − — For adjusting the volume.

入力切換 — For selecting input from external sources.

放送切換 — For switching between analog and digital broadcasting.

Headphone jack

[Remote controller]

アイコン一覧

番組についてのアイコン

アイコン	説　明	アイコン	説　明
テレビ	テレビ放送	MV	マルチビューサービス（24 おしらせ」）
ラジオ	ラジオ放送	HD	デジタルハイビジョン放送
データ	データ放送	HD:1125i	放送フォーマットが1125i信号のデジタルハイビジョン放送
テレビd	データ放送がある場合（テレビ）	HD:750p	放送フォーマットが750p信号のデジタルハイビジョン放送
ラジオd	データ放送がある場合（ラジオ）	SD	デジタル標準テレビ放送
16：9	画面の横と縦の比が16：9の番組の放送	SD:525i	放送フォーマットが525i信号のデジタル標準テレビ放送
4：3	画面の横と縦の比が4：3の番組の放送	SD:525p	放送フォーマットが525p信号のデジタル標準テレビ放送
ステレオ	ステレオ音声放送	信号切換	複数の映像、または音声またはデータがある場合
サラウンド	サラウンドステレオ放送	ペイ・パー・ビュー	ペイ・パー・ビュー番組
二重音声	二重音声放送	年齢	視聴年齢制限が設定されている番組の場合
字	字幕放送		

※ テレビd が表示されていなくても、データ放送（番組に連動していないもの）がある場合があります。
テレビd が表示されていても、放送局側の運用によってはデータ放送が番組に連動していない場合があります。

お知らせ、予約、録画、録画リスト、その他についてのアイコン

アイコン	説　明	アイコン	説　明
データ取得中	データの取得中です。	Dコピー×	デジタル録画できない番組の場合
i	未読の「おしらせ」	コピー可	光デジタル録音できます。
i	既読の「おしらせ」	コピー¥	録画購入すれば光デジタル録音できます。
	録画予約	コピー1	1回のみ光デジタル録音できます。
	連ドラ予約（赤：予約設定されているとき　灰色：予約実行を停止しているとき）	コピー×	光デジタル録音できません。
	毎予約		連ドラ予約している番組と、他の予約が重複している場合
✔	視聴予約		録画予約している番組と連ドラ予約が重複している場合
コピー可	アナログ録画できます。		視聴予約している番組と連ドラ予約が重複している場合
コピー¥	録画購入すればアナログ録画できます。		フォルダや録画した番組にロックをかけている場合
コピー×	アナログ録画できません。		上書き録画を「する」に設定した番組 36
Dコピー可	デジタル録画できます。		非リンク型サービス（通信番組） 10
Dコピー¥	録画購入すればデジタル録画できる番組の場合		SSLなどの暗号通信をしている場合 10
Dコピー1	1回のみデジタル録画できる番組の場合		

USB端子に接続できる機器について

- 下表の1 ～ 47番までの機器は、本機に接続して「写真をテレビで見る」 55 で使用できることを確認済みです。
  また、48番以降のUSBキーボードは、本機に接続して「市販のUSBキーボードを使う」 27 で使用できることを確認済みです。ただし、どちらの場合もすべての動作を保証するものではなく、機種によってはいくつかの機能が正常に動作しない場合もありますので、ご了承ください。
- 下表以外の機器については、正しく動作しない場合があります。
- 接続のしかたとUSB機器を使用する際の注意については、「USB機器をつなぐ」（準備編 56 ）に記載していますので、よくお読みください。
- 接続できる機器については、ホームページで順次公開していく予定です。（ホームページについては準備編 15 を参照）

■ USB端子に接続できる機器

番号	機器の分類	メーカー	型名等
1	デジタルカメラ	キヤノン	IXY DIGITAL 500
2			IXY DIGITAL 50
3			IXY DIGITAL 55
4			IXY DIGITAL 800IS
5			IXY DIGITAL 900IS
6			IXY DIGITAL L2
7			IXY DIGITAL 10
8			PowerShot A520
9			PowerShot S60
10			EOS Kiss DIGITAL N
11		ニコン	D70s
12			COOLPIX S1
13			D70　レンズキット
14		カシオ	EX-Z1000
15			EX-Z40
16			EX-S500
17			EX-Z57
18			EX-Z1050
19		コダック	EasyShare V570 デュアルレンズ
20		オリンパス	X-600
21		富士フィルム	FINEPIX F710
22			FINEPIX F10
23			FINEPIX F31fd
24			FINEPIX Z1
25		ソニー	DSC-T30 ※1
26			DSC-P9
27			DSC-T1
28			DSC-T100
29		パナソニック	FX-01
30			FZ5
31			DMC-FX30
32	メモリーカードリーダー	バッファロー	MCR-MST-LT/U2
33			MCR-SM-LT/U2
34			MCR-CF-LT/U2
35			MCR-C7/U2
36			MCR-C8/U2
37			MCR-C12/U2
38		アイ・オー・データ	USB2-2inRW
39			USB2-7inRW
40			USB2-8inRW
41		ロジテック	LMC-CAMINIIU
42			LMC-CA64U2
43	USB メモリ	東芝	U2A-128MT
44			U2A-256MT
45			U2B-256MT
46			U2B-512MT
47			U2B-001GT
48	USB キーボード	マイクロソフト	Basic Wireless Optical Desktop
49			Wireless Optical Desktop Elite
50		ロジクール	Cordless Mx Duo CK-87MX
51		バッファロー	BKBU-WJ109/SV
52		ダイヤテック（FILCO）	FKB108ML/NB

※1 デジタルカメラ側で「MassStorage」に接続設定変更が必要

お手入れについて

■ お手入れのときは、電源プラグをコンセントから抜く
感電の原因となることがあります。

■ ベンジン・アルコールなどは使わない
- ベンジン・アルコールなど揮発性のものは使わないでください。キャビネットが変質したり、塗料がはげたりすることがあります。

■ キャビネットや操作パネルのお手入れ
- 柔らかい布で軽くふき取ってください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

■ 画面（液晶パネル）は特殊な加工をしています
- 固い布でふいたり、強くこすったりすると表面が傷つきますので、ていねいに扱ってください。

■ 画面（液晶パネル）は水ぶきをしない
- 脱脂綿あるいはガーゼなどの乾いた柔らかい布（OA機器清掃用の布）で軽くふいてください。
- アセトンなどケトン類やキシレン、トルエンなどの溶剤、水は使用しないでください。

本機で対応しているHDMI入力/D-sub入力信号フォーマット

D-sub入力端子に接続する場合

- 本機の D-sub 入力は、下表に示した VESA 規格（VESA-DMT）に準拠する信号フォーマットにのみ対応しています。パソコンによっては下表に示した解像度や周波数と異なる信号が入力されるため、正しい表示やフォーマット判定ができなかったり、あるいは画面調整設定で表示位置のずれ、映像のぼやけ、画面の揺れなどを良好な状態に調整できなかったりすることがあります。その場合は下表に示した入力信号のどれかに合うようにパソコンの設定を変更してください。
- リフレッシュレートが 70/72/75Hz の信号は 120Hz に変換して表示しています。
- 下表すべての信号に対応していますが、60Hz の信号を推奨します。
- 本機の D-sub 入力は、Sync on Green/Composite Sync/Interlace 信号には対応しておりません。

フォーマット名	表示解像度	リフレッシュレート	水平周波数	ピクセルクロック	VESA 規格（VESA-DMT）
VGA	640 × 480	60Hz	31.469kHz	25.175MHz	○
		72Hz	37.861kHz	31.500MHz	○
		75Hz	37.500kHz	31.500MHz	○
SVGA	800 × 600	60Hz	37.879kHz	40.000MHz	○
		72Hz	48.077kHz	50.000MHz	○
		75Hz	46.875kHz	49.500MHz	○
XGA	1024 × 768	60Hz	48.363kHz	65.000MHz	○
		70Hz	56.476kHz	75.000MHz	○
		75Hz	60.023kHz	78.750MHz	○
WXGA	1280 × 768	60Hz	47.776kHz	79.500MHz	○
		75Hz	60.289kHz	102.250MHz	○
	1360 × 768	60Hz	47.712kHz	85.500MHz	○
SXGA	1280 × 1024	60Hz	63.981kHz	108.000MHz	○

HDMI入力端子に接続する場合

- 本機の HDMI 入力で、VESA 規格に「○」のついている信号フォーマットは VESA 規格に準拠する信号フォーマットにのみ対応しています。パソコンや映像機器によっては下表に示した解像度や周波数と異なる信号が入力されるため、正しい表示やフォーマット判定ができなかったり、映像が表示されない場合があります。その場合は下表に示した入力信号のどれかに合うようにパソコンや映像機器の設定を変更してください。
- リフレッシュレートが 24/70/72/75Hz の信号は 120Hz に変換して表示しています。
- 下表すべての信号に対応していますが、パソコンを接続する場合は 60Hz の信号を推奨します。

フォーマット名	表示解像度	リフレッシュレートまたは垂直周波数	水平周波数	ピクセルクロック	VESA 規格
525i（480i）	720 × 480	59.94 / 60Hz	15.734 / 15.750kHz	27.000 / 27.027MHz	
525p（480p）	720 × 480	59.94 / 60Hz	31.469 / 31.500kHz	27.000 / 27.027MHz	
1125i（1080i）	1920 × 1080	59.94 / 60Hz	33.716 / 33.750kHz	74.176 / 74.250MHz	
750p（720p）	1280 × 720	59.94 / 60Hz	44.955 / 45.000kHz	74.176 / 74.250MHz	
1125p（1080p）	1920 × 1080	59.94 / 60Hz	67.433 / 67.500kHz	148.352 / 148.500MHz	
		23.98 / 24Hz	26.973 / 27.000kHz	74.176 / 74.250MHz	
VGA	640 × 480	59.94 / 60Hz	31.469 / 31.500kHz	25.175 / 25.200MHz	○
		72Hz	37.861kHz	31.500MHz	○
		75Hz	37.500kHz	31.500MHz	○
SVGA	800 × 600	60Hz	37.879kHz	40.000MHz	○
		72Hz	48.077kHz	50.000MHz	○
		75Hz	46.875kHz	49.500MHz	○
XGA	1024 × 768	60Hz	48.363kHz	65.000MHz	○
		70Hz	56.476kHz	75.000MHz	○
		75Hz	60.023kHz	78.750MHz	○
WXGA	1280 × 768	60Hz	47.776kHz	79.500MHz	○
		75Hz	60.289kHz	102.250MHz	○
	1360 × 768	60Hz	47.712kHz	85.500MHz	○
SXGA	1280 × 1024	60Hz	63.981kHz	108.000MHz	○

さくいん

※ ページ番号の前の「準」は別冊の準備編に記載されていることを意味します。

● 数字・ABC順

1CH表示 17
4th MEDIA（フォースメディア） 65
4th MEDIA設定 準90
AVアンプ連動 準48
B-CAS（ビーキャス）カード 準22
B-CASカード番号表示 79
BS·110度CSアンテナ電源供給 準32
BS·110度CSアンテナレベル 準32
BS中継器切換/110度CS中継器切換 準72
D-sub ／ HDMI2音声入力 準49
D-sub ／ HDMI2アナログ音声入力端子 準18
D-sub入力端子 準18
D4映像入力端子 準18
Dot By Dot 19
D-VHSビデオ（i.LINK接続） 準69
DLNA認定サーバー 準66
DVDプレーヤー 準41
Eメールで録画予約 33
HDDビデオレコーダー（i.LINK接続） 準69
HDMI端子付の機器をつなぐ 準46
HDMI2音声入力設定 準49
HDMI入力拡張切換 54
HDMI連動機能 51
HDMI連動設定 準48
HDスーパーライブ 19
HDズーム 19
i.LINK機器 準69
i.LINK再生 48
i.LINK設定 準71
i.LINK機器の登録と解除 準71
LAN HDD 準61
LAN HDD再生 43
LAN HDD設定 準67
LAN HDD端子設定 準87
LAN HDDの登録と解除 準67
LAN端子（4th MEDIA専用） 準18
LAN端子（HDD専用） 準18
LAN端子（汎用） 準18
LAN端子設定 準85
MPEG NR 72
PCファイン（映像メニュー） 68
PCをつなぐ（→パソコンをつなぐ） 準54
PPV（→ペイ·パー·ビュー番組） 12
RDシリーズ（東芝製HDD＆DVDビデオレコーダー） 準42
S2映像入力端子 .... 準17、準18
SD 準99
USB HDDをつなぐ 準57
USB HDD再生 43
USB HDD設定 準58
USB端子 準17
USBキーボード 準56
USB機器（デジタルカメラ、メモリーカードリーダーなど） 準56
Vエンハンサー 69

● アイウエオ順

ア行 ページ

アイコン 104
明るさセンサー 75
アクトビラ 63
あざやか 68
暗証番号 準94
暗証番号（4th MEDIA専用） 準90
イコライザー 76
色あい 68
色温度 69
色空間 75
色の濃さ 68
インターネット 57
インターネット制限設定 準94
映画（映像メニュー／音声メニュー） .... 68、76
映画字幕 19
映画プロ（映像メニュー／音声メニュー） .... 68、76
映像メニュー 68
枝番 8
オーディオコントロール電源連動 準53
オートファインシネマ 73
お買い上げ時の状態 準96
お知らせ 25
追っかけ再生 42
オフタイマー 25
オンエアー無信号オフ 79
音多切換 23

カ行 ページ

外線発信番号 .... 準35、準82
外部機器からの制御 準71
外部入力スキップ設定 準55
外部入力表示設定 準55
外部入力無信号オフ 79
画面調整 74
画面サイズ切換 19
カラーイメージコントロールプロ 70
カラーパレットプロ調整 70
簡易確認テスト .... 準36、準91
ガンマ調整 69
キーボード（→USBキーボード） 準56
キーワード .... 14、準92
機器の情報 44
クイックメニュー 11
クロック位相 74
クロック周波数 74
黒レベル 68
ゲーム（映像メニュー） 68
ゲーム機をつなぐ 準54
降雨対応放送 24
個人情報 準13

さくいん つづき

サ行 ページ

再スキャン......準74
左右画面位置......74
左右振幅調整......74
サラウンド......77
シームレス表示......56
写真再生......55
視聴制限設定(4th MEDIA用)......準90
視聴年齢制限設定......準93
視聴予約......29
自動スキャン......準74
自動設定(チャンネル設定)......準72
自動ダウンロード......80
自動レベル補正(音声)......78
字幕放送......24
シャープネス......68
写真の回転......56
写真の並べ替え......56
ジャンル......14
ジャンル色分け設定......17
手動設定(チャンネル設定)......準75
省エネ設定......79
上下画面位置......74
上下振幅調整......74
詳細調整(映像調整)......69
消費電力......79
初期スキャン......準73
ショートカット削除......44
ショートカット作成......47
信号切換......24
スーパーライブ......19
ズーム......19
スキップチャンネル表示/非表示......17
スキャンサイズ切換......74
ステレオ/モノラルの設定......準80
ステレオにつなぐ......準52
静止画......23
設定の初期化......準95
走査線......準99
双方向サービス......10
ソフトウェアバージョン......81

タ行 ページ

ダイナミック(音声メニュー)......76
ダイナミックNR......72
ダイナミックガンマ......69
タイムサーチ(4th MEDIA)......66
ダイヤル方式......準36
ダウンロード......80
地上アナログ番組表設定......準92
地上デジタルアンテナレベル......準31
チャンネルスキップ設定......準79
チャンネル設定......準72
チャンネル設定を最初の状態に戻す......準80
通常表示(写真再生)......56
通信エラー履歴......準84
通信環境設定......準85
低音補正......77
データ放送......10、準99
データ放送用メモリーの割当て......準38
デジタルハイビジョン放送......準99
デジタル放送録画出力設定......準40
デジタル放送録画出力端子......準18
テレビdeナビ設定......準43
テレビサーフ......34
テレビプロ(映像メニュー/音声メニュー)......68、76
電話回線端子......準18
電話回線設定......準82
電話回線テスト......準83
登録モード設定......準68
独立データ放送......10
ドット・クロスカラーリダクション......75
トリミング機能(二画面)......22
ドルビーダイナミックレンジコントロール......78

ナ行 ページ

名前の変更......44
二画面......21
日時指定予約(日時指定録画)......35
入力切換......11
入力文字一覧表......26
任意ダウンロード......80
ノイズリダクション設定......72
ノーマル......19

ハ行 ページ

バックライト......68
はじめての設定......準33
バランス(音声調整)......78
番組記号一覧......17
番組検索......14
番組購入限度額......準93
番組購入情報の送信......12
番組購入履歴......12
番組指定予約......31
番組指定録画......30
番組情報......18
番組情報取得設定......79
番組情報の取得......16
番組説明......18
番組表......13
番組表モード......準92
番組連動データ放送......10
光デジタル音声出力......準53
ヒストグラムバックライト制御......72

ビデオ 準40
標準（映像メニュー／音声メニュー） .... 68、76
フォルダ作成 47
フル 19
プレビュー 12
ベースカラー調整 70
ペイ・パー・ビュー番組（有料番組） 12
ヘッドホーン端子 4
ヘッドホーンモード 22
ヘッドホーン音量 22
便利機能（4th MEDIA） 67
便利機能（アクトビラ） 64
便利機能（インターネット） 57
ボード 25
放送局からのお知らせ 25
本機に関するお知らせ 25

マ行　ページ

毎予約 31
マルチビューサービス 24
マルチ表示 17
ミニ番組表 16
無信号消音設定 準80
無操作自動電源オフ 79
メール設定 準88
メモリー（映像メニュー／音声メニュー） .... 68、76
モーションクリア 73
文字サイズ変更 17
文字スーパー表示設定 準81
文字入力 26

ヤ行　ページ

ユーザーカラー調整 71
郵便番号と地域の設定 準81
有料番組（ペイ・パー・ビュー番組） 12
ユニカラー 68
予約内容の確認 38
予約の取り消し 38
予約番組の優先順位 38
予約リスト 38

ラ行　ページ

ラジオ放送 .... 10、準99
リピート再生設定 47
リモコン .... 3、42、51
リモコンの準備 準20
ルート証明書番号 準81
レグザリンク 40
連ドラグループ名変更 47
連ドラ予約 32
録画 29
録画した番組の移動 45
録画した番組の検索 46
録画した番組のロック 45
録画した番組の削除 45
録画した番組の並べ替え 45
録画設定 36
録画・予約 28
録画リスト .... 43、48

ワ行　ページ

ワンタッチ（スキップ／リプレイ）操作設定 準59

仕様

種類		地上・BS・110度CSデジタルハイビジョン液晶テレビ				
形名		37Z3500	42Z3500	46Z3500	52Z3500	57Z3500
受信機型サイズ		37V	42V	46V	52V	57V
電源		AC 100V 50/60Hz共用				
消費電力	電源「入」時	250W	292W	344W	376W	518W
	電源「待機」時	0.6W	0.6W	0.5W	0.5W	0.4W
	機能動作時※1	30W	30W	42W	42W	40W
	電源「切」時	0.5W	0.5W	0.4W	0.4W	0.3W
年間消費電力量[標準時]		186kWh/年	253kWh/年	323kWh/年	310kWh/年	448kWh/年
区分名		BJJ	BJJ	BJJ	BJJ	BJJ
スタンドを含む外形寸法（ ）は本体のみ	幅	91.6cm（91.6cm）	102.0cm（102.0cm）	113.2cm（113.2cm）	128.0cm（128.0cm）	136.5cm（136.5cm）
	高さ	63.7cm（58.5cm）	69.9cm（64.6cm）	76.3cm（71.0cm）	84.7cm（79.2cm）	89.6cm（84.1cm）
	奥行	29.8cm（13.4cm）	35.2cm（13.4cm）	35.2cm（14.7cm）	39.0cm（14.7cm）	39.0cm（14.7cm）
スタンドを含む質量（ ）は本体のみ		23.3kg（21.1kg）	28.4kg（25.1kg）	36.0kg（32.7kg）	47.3kg（42.0kg）	57.8kg（52.5kg）
液晶画面	画面寸法	幅81.9cm×高さ46.1cm 対角94.0cm（37V型）	幅93.0cm×高さ52.3cm 対角106.7cm（42V型）	幅101.8cm×高さ57.3cm 対角116.8cm（46V型）	幅115.2cm×高さ64.8cm 対角132.2cm（52V型）	幅125.1cm×高さ70.4cm 対角143.6cm（57V型）
	駆動方式	TFT アクティブマトリクス				
	画素数	水平 1920 ×垂直 1080				
受信チャンネル		地上アナログ：VHF（1 ～ 12）、UHF（13 ～ 62）、CATV（C13 ～ C63） 地上デジタル：VHF（1 ～ 12）、UHF（13 ～ 62）、CATV（C13 ～ C63） BSデジタル：BS000 ～ BS999、110度CSデジタル：CS000 ～ CS999				
スピーカー		10cm 丸型 2 個				
音声出力		実用最大出力 10W＋10W（総合音声出力 20W）（JEITA）				
入・出力端子	ビデオ入力（入力1、2、3／ゲーム、4）	S2映像：Y入力：1V（p-p）、75Ω、同期負、C入力：0.286V（p-p）（バースト信号）、75Ω 映像：1V（p-p）、75Ω、同期負（ピンジャック）、音声：200mV（rms）、22kΩ以上（ピンジャック）				
	オーディオ出力（固定）	音声：200mV（rms）、2.2kΩ以下（ピンジャック）				
	デジタル放送録画出力	S1映像：Y出力：1V（p-p）、75Ω、同期負、C出力：0.286V（p-p）（バースト信号）、75Ω 映像：1V（p-p）、75Ω、同期負（ピンジャック）、音声：250mV（rms）、2.2kΩ以下（ピンジャック）				
	D4映像入力（ビデオ1、2）	14ピン、1.27mmピッチ Y:1V（p-p）、P_B/C_B、P_R/C_R：0.7V（p-p）				
	i.LINK（TS）	IEEE1394 4ピン、S400対応、MPEG-TS信号				
	D-sub入力	Mini D-sub 15ピン端子				
	HDMI端子1～3 ※2	HDMI（v.1.3a with DeepColor, "x.v.Color", Lip Sync） HDMIアナログ音声入力（HDMI端子2のみ搭載）：200mV（rms）、22kΩ以上（口径3.5mmステレオミニジャック）				
	HDD専用USB端子	USB2.0				
	汎用USB端子	USB1.1				
	光デジタル音声出力	トスリンク				
	RIオーディオコントロール端子	口径3.5mmミニジャック				
	電話回線接続端子	モジュラージャック方式				
	汎用LAN端子	RJ-45				
	HDD専用LAN端子	RJ-45				
	4thMEDIA専用LAN端子	RJ-45				
	ヘッドホーン端子	口径3.5mmステレオミニジャック、適合インピーダンス8Ω～ 32Ω				
使用条件		使用周囲温度：0℃～ 35℃、使用周囲湿度：20%～ 80%（結露のないこと）				
意匠	キャビネット材質	ポリスチレン樹脂（PS）				
角度調整範囲（テレビスタンド）		左右：それぞれ約15°（37Z3500、42Z3500、46Z3500のみ） 上下：不可				
主な付属品		取扱説明書 操作編（本書）、準備編（別冊） ×各1部 リモコン（CT-90286） ×1個 単四形乾電池（R03） ×2個 F型コネクター ×2組 クリップ ×1個 B-CASカード（IDラベル付き） ×1枚 BS･110度CSデジタル放送受信契約申込書 ×1式 「お客様登録のお願い」のハガキ ×1枚 簡単接続ガイド ×1枚 チャンネル設定ガイド ×1枚				

※1：「機能動作時」は、以下の設定や動作をしている場合の電源「待機」時の消費電力です。
- 「外部機器からの制御」を「あり」に設定しているとき／「メール録画予約機能」を「使用する」に設定しているとき
- 本機で受信したデジタル放送を外部機器で録画しているとき／番組情報などの取得中

※2：HDMIアナログ音声入力端子は、D-sub入力端子の音声入力と兼用。

インターネットブラウザの仕様

記述言語	HTML4.01, XHTML1.1, XHTML Basic
動作記述言語	ECMAScript（ECMA-262 3rd Edition）
DOM	DOM1.0, DOM2.0
Ajax	XMLHttpRequest
スタイルシート	CSS1.0, CSS2.0
セキュア通信	SSL2.0, SSL3.0, TLS1.0
プラグイン	なし

- 意匠・仕様・ソフトウェアは製品改良のため予告なく変更することがあります。
- テレビのＶ型（37Ｖ型など）は、有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。
- このテレビを使用できるのは日本国内だけで、外国では放送方式、電源電圧が異なるため使用できません。
  (This television set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)
- 本商品は、ご愛用終了時に再資源化の一助としておもなプラスチック部品に材質名表示をしています。
- 本商品の改造は感電、火災などのおそれがありますので行わないでください。
- イラスト、画面表示などは、見やすくするために誇張や省略などで実際とは多少異なります。
- 省エネルギーのため長時間テレビを見ないときは電源プラグを抜いてください。
- 年間消費電力量：年間消費電力量とは省エネルギー法に基づいて、型サイズや受信機の種類別の算出法により、一般家庭での平均視聴時間（4.5時間）を基準に算出した、一年間に使用する電力量です。
- 区分名：「エネルギーの使用の合理化に関する法律（省エネルギー法）」では、テレビに使用される表示素子、アスペクト比、画素数、受信可能な放送形態及び付加機能の有無等に基づいた区分を行っており、その区分名称を言います。
- 「JIS C 61000－3－2 適合品」 ― JIS C 61000－3－2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性―第3-2部：限度値―高調波電流発生限度値（1相当たりの入力電流が20A以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。
- 液晶画面は非常に精密度の高い技術で作られており、微細な画素の集合で表示しています。99.99%以上の有効画素があり、ごく一部（0.01%以下）に光らない画素や、常時点灯する画素などがありますが、故障ではありませんので、ご了承ください。
- 静止画をしばらく表示したあとで映像内容が変わった時に、前の静止画が残像として見えることがありますが、自然に回復します。（故障ではありません。）
- i.LINKとi.LINKロゴ「i」は、ソニー株式会社の商標です。
- 著作権保護に対応したi.LINK対応機器には、デジタルデータのコピー・プロテクション技術が採用されています。この技術は、DTLA (The Digital Transmission Licensing Administrator)というデジタル伝送における著作権保護技術の管理運用団体から許可を受けているものです。このDTLAのコピー・プロテクション技術を搭載している機器間では、コピーが制限されている映像、音声、データでは、i.LINKでのデジタルコピーができない場合があります。また、DTLAのコピー・プロテクション技術を搭載している機器と搭載していない機器との間では、映像、音声、データのやりとりができない場合があります。
- この製品はドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
  Dolby、ドルビー、及びダブルD記号はドルビーラボトリーズの商標です。
  DOLBY DIGITAL
- 本製品には株式会社ACCESSのNetFront Browserを搭載しています。
- ACCESS、NetFrontは、株式会社ACCESSの日本またはその他の国における商標または登録商標です。
- Copyright (c) ACCESS, 2007
- 本製品の一部分に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
  ACCESS NetFront

※ 本製品は、マクロヴィジョン社ならびに他の権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権で保護された著作権保護技術を採用しています。この著作権保護技術の使用は、マクロヴィジョン社の許可が必要で、また、マクロヴィジョン社の特別な許可がない限り家庭用およびその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。

※ この製品にはPPXP開発チームによって開発されたソフトウェアが含まれています。

※ この製品に含まれているソフトウェアをリバース・エンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル、分解またはその他の方法で解析、及び変更することは禁止されています。

※ 国外で本品を使用して有料放送サービスを享受することは有料放送契約上禁止されています。
(It is strictly prohibited, as outlined in the subscription contract, for any party to receive the services of scrambled broadcasting through use of this television set in any country other than Japan and its geographic territory as defined by international Law.)

詳細は下記URLをご覧ください。
http://www.toshiba.co.jp/dm_env/dm/label.htm#jmoss

B-CASカードID番号記入欄

● 下欄にB-CASカードのID番号をご記入ください。
  • お問い合わせの際に役立ちます。

テレビのネットワーク接続（LAN端子を使った接続）についてのご相談は

東芝テレビ　ネットワークご相談センター

フリーダイヤル 0120−97−9674（クナン クローナシ）
※携帯電話・PHSなど一部の電話ではご利用になれません。
FAX 03−3258−0470

携帯電話からのご利用は
ナビダイヤル（通話料有料） 0570−05−5100
※PHSなど一部の機種ではご利用になれません。

●受付時間（月曜日〜土曜日）10：00〜20：00　日曜・祝祭日および年末年始など当社休業日を除きます。

保証とアフターサービス

必ずお読みください

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびに、お取り扱い・お手入れに関するご不明な点は **お買い上げの販売店にご相談ください。**

販売店に修理のご相談ができない場合

東芝家電修理ご相談センター

フリーダイヤル 0120-1048-41

携帯電話・PHSからのご利用は
東日本地区（北海道、東北、関東、甲信越、東海、沖縄県）044-543-0220
西日本地区（上記以外）06-6440-4411

電話で 365日 24時間 お応えします

お買い物、お取り扱いのご相談

東芝家電ご相談センター

フリーダイヤル 0120-1048-86

携帯電話・PHSからのご利用は 03-3426-1048
FAX 03-3425-2101（365日受付）

- 「東芝家電修理ご相談センター」「東芝家電ご相談センター」は東芝テクノネットワーク株式会社が運営しております。
- お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- 利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社にお客様の個人情報を提供する場合があります。

※電話受付：365日・24時間受け付けます。

※フリーダイヤルは、携帯電話・PHSなど一部の電話ではご利用になれません。
※フリーダイヤル以外への通話やFAXには電話料金がかかります。

ホームページに最新の商品情報などを掲載しておりますので、ご参照ください。
http：//www.toshiba.co.jp/product/tv/
※上記のアドレスは予告なく変更される場合があります。このような場合は、お手数ですが、東芝総合ホームページ（http://www.toshiba.co.jp/）をご参照ください。

保証書（別添）

●保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みのあと、たいせつに保管してください。

保証期間……お買い上げの日から1年間です。
B-CASカードは、保証の対象から除きます。

補修用性能部品の保有期間

●液晶テレビの補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後8年です。
●補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

部品について

●修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は弊社で引き取らせていただきます。
●修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

修理を依頼されるときは～出張修理

●82ページに従って調べていただき、なお異常があるときは本体の電源を切り、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

■保証期間中は

修理に関しては保証書をご覧ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

■保証期間が過ぎているとき

修理すれば使用できる場合には、ご希望によって有料で修理させていただきます。

■修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。	
技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

■ご連絡いただきたい内容

品名	地上・BS・110度CSデジタルハイビジョン液晶テレビ
形名	37Z3500､42Z3500､46Z3500､52Z3500､57Z3500
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印等もあわせてお知らせください。
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	
便利メモ お買い上げ店名	おぼえのため、ご購入年月日、ご購入店名を記入されると便利です。 TEL（　）　―

廃棄時のお願い

●**一般の廃棄物といっしょにしないでください。**ごみ廃棄場で処分されるごみの中にテレビを捨てないでください。
本機の蛍光管の中には水銀が含まれています。廃棄の際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。

愛情点検

長年ご使用のテレビの点検をぜひ！

熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合いによって部品が劣化し、故障したり、ときには安全性を損なって事故につながることもあります。

ご使用の際このような症状はありませんか？

●電源を入れても映像や音が出ない。
●映像が時々、消えることがある。
●変なにおいがしたり、煙が出たりする。
●電源を切っても、映像や音が消えない。
●内部に水や異物がはいった。

ご使用中止

このような場合、故障や事故防止のため、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、必ずお買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。
ご自分での修理は危険ですので、絶対にしないでください。

●表紙は有機物質を含む廃液が少ない水なし印刷方式で作成しました。
●この印刷物は環境に配慮した植物性大豆油インキを使用しています。
●この印刷物は古紙配合率100%再生紙を使用しています。

株式会社 東芝
デジタルメディアネットワーク社
〒105-8001　東京都港区芝浦1-1-1
※所在地は変更になることがありますのでご了承ください。

TH/T4 VX1A00069900